Vol.73 通巻843号　平成4年6月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可　ISSN 0912-8182

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1992

6

特集

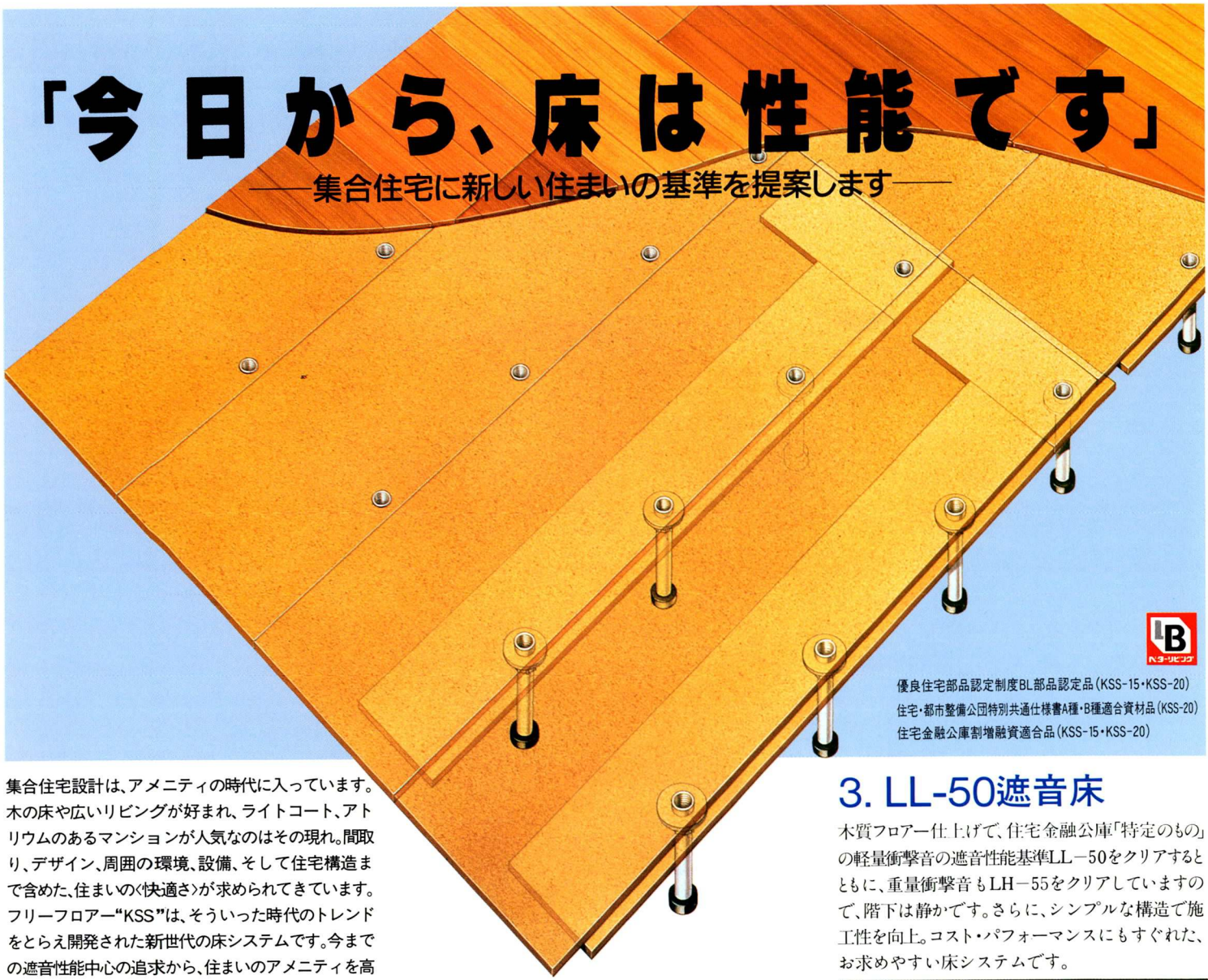
街創り、住まい創り―住宅・都市整備公団関西支社10周年―

日本建築協会



「今日から、床は性能です」

——集合住宅に新しい住まいの基準を提案します——



優良住宅部品認定制度BL部品認定品(KSS-15・KSS-20)
住宅・都市整備公団特別共通仕様書A種・B種適合資材品(KSS-20)
住宅金融公庫割増融資適合品(KSS-15・KSS-20)

集合住宅設計は、アメニティの時代に入っています。木の床や広いリビングが好まれ、ライトコート、アトリウムのあるマンションが人気なのはその現れ。間取り、デザイン、周囲の環境、設備、そして住宅構造まで含めた、住まいの〈快適さ〉が求められてきています。フリーフロアー"KSS"は、そういった時代のトレンドをとらえ開発された新世代の床システムです。今までの遮音性能中心の追求から、住まいのアメニティを高める床のトータル設計へ——。これからの集合住宅設計の基準となる3つの性能を、床から提案します。

1. 快適性能0.85~1.30

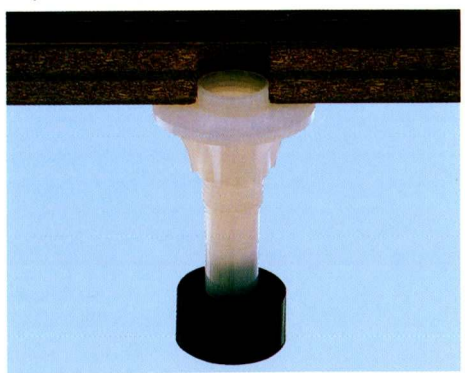
住宅の床には人間工学によって求められた、ちょうどよいかたさがあります。0.85～1.30は、歩く、立つ、座る、横たわるという日常の動作が快く行えて、しかも疲れないかたさの値——。住まいの質を高める、新しい床の基準です。フリーフロアー"KSS"は、木質フロアー仕上げ、クッションフロアー仕上げなど、あらゆる仕上げ材でこの理想のかたさ値を実現した画期的な床システムです。

2. 安全弾性57G

高齢化社会を迎え、老人が誤って転倒した場合の床の安全性が問題になってきています。安全な床のかたさの上限100Gに対し、木質フロアー仕上げで57Gという驚異的な性能を達成しました。これはコンクリートに緩衝材付木質フロアーを直貼りしたもの(108G)に比べて非常に安全性の高い床であり、老人にも遊び盛りの子供にもやさしい床システムです。

3. LL-50遮音床

木質フロアー仕上げで、住宅金融公庫「特定のもの」の軽量衝撃音の遮音性能基準LL－50をクリアするとともに、重量衝撃音もLH－55をクリアしていますので、階下は静かです。さらに、シンプルな構造で施工性を向上。コスト・パフォーマンスにもすぐれた、お求めやすい床システムです。



床のエルゴノミクスから生まれた、理想の集合住宅専用フロアーシステム

特許登録済　実用新案登録済　東レナイロン6使用

フクビ フリーフロアー"KSS"

フクビ化学工業株式会社
本社/福井市三十八社町33の66　☎(0776)38－8018㈹　〒910-37

●東　京 ☎(03)3375-1173　●名古屋 ☎(052)532-6662　●大　阪 ☎(06) 386-6951　●札　幌 ☎(011)873-4588
●仙　台 ☎(022)287-3471　●盛　岡 ☎(0196)54-7511　●新　潟 ☎(025)241-7832　●中　央 ☎(048)688-1030
●千　葉 ☎(043)247-3651　●宇都宮 ☎(0286)36-3521　●横　浜 ☎(045)201-4666　●西東京 ☎(0425)29-3911
●静　岡 ☎(054)247-8391　●北　陸 ☎(0776)38-8010　●長　野 ☎(0262)86-3689　●京　都 ☎(075)662-2315
●広　島 ☎(082)246-7211　●福　岡 ☎(092)471-5800　●高　松 ☎(0878)35-3721　●鹿児島 ☎(0992)59-0220

＊詳細な試験データを掲載したカタログを用意しています。最寄りの営業所・支店にご請求ください。

日本建築協会会告

「PLATFORM」から「再春館製薬女子寮」へ
—妹島和世氏講演会—

日　時　1992年7月31日 (金) 開場18:00 開会18:30—閉会20:30

会　場　イトーキ・クリスタルホール
（イトーキ大阪ニューオフィスギャラリー9階／大阪市中央区淡路町1-6-11）
＊地下鉄「堺筋本町駅」「北浜駅」から徒歩約5分

「くまもとアートポリス」の民間初参加プロジェクトである「再春館製薬女子寮」が、今、建築界で最も注目されている女性建築家の一人、妹島和世氏によって、1991年秋、発表されました。この作品は、熊本市内に本社をもつ再春館製薬の女子新入社員が1年間を過ごす寮として建設されたものです。設計において妹島氏は、空間のもつ機能を解析することから誘導されたプログラムを示し、それをダイレクトにプランに転写することで非常に斬新な建築を生み出しています。それは処女作である住宅「PLATFORM」シリーズで試みた「場」という連続した行為に同調するスペースと、それを実現するための連続可能な架構システムの提示というテーマから、新たな方向への展開を示した意欲作といえるでしょう。

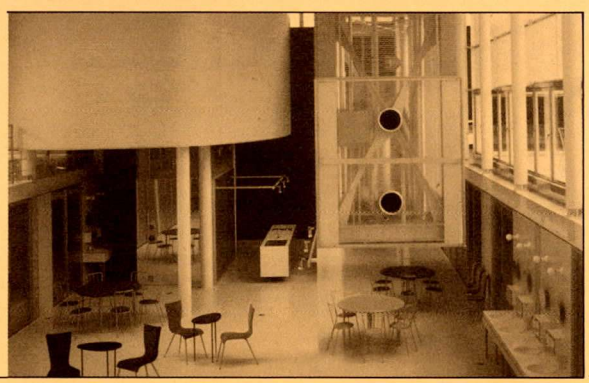
今回の“「PLATFORM」から「再春館製薬女子寮」へ”と題された企画は、これらの作品群を通じ、そのユニークな設計手法や発想の経緯と、これからの活動（那須野が原ハーモニーホールコンペ優秀賞受賞作、パチンコパーラー計画等）の展望などを、スライドやビデオを交えながら語っていただこうとするものです。

皆様の多数のご参加をお待ちしています。



●妹島和世（せじま　かずよ）
1956年生まれ
1981　日本女子大学大学院修了
　　伊東豊雄建築設計事務所入社
1987　伊東豊雄建築設計事務所退社
　　妹島和世建築設計事務所設立
○主な作品
1988　PLATFORM I
1990　PLATFORM II
　　PLATFORM III
1991　カステルバジャック・スポーツショップ
　　再春館製薬女子寮
　　大阪ガス千里ショウルーム生活誕生館デザイナーズハウス
○受賞
1988　ハウス・オブ・カップ入選
　　SD Review 1988 鹿島賞受賞
1989　東京都建築士会
　　住宅建築賞特別賞受賞
　　新建築社　吉岡賞受賞
　　BL国際デザインコンペティション優秀賞受賞
1990　日仏文化会館設計競技　佳作
　　SD Review 1990 SD賞受賞
1991　那須野が原ハーモニーホール・プロポーザル・デザイン・コンペティション優秀賞受賞

●再春館製薬女子寮建築概要
所在地　熊本市帯山4−323
設　計　妹島和世建築設計事務所
施　工　岩永組
敷地面積　1,223.47m²
建築面積　851.69m²
延床面積　1,254.66m²
構造規模　RC＋S、2F
設　計　1989年4月−1990年7月
施　工　1990年7月−1991年7月



定　員　100人（申込多数の場合は抽選）
参加費　会員800円、一般1,000円（含、消費税）
申　込　7月20日(月)までに、㈳日本建築協会事業課へお申込み下さい。
1)催し名（妹島和世氏講演会）、2)氏名、3)会員・一般の別、4)勤務先、5)参加証送付先、6)電話番号、をお知らせ願います。
㈳日本建築協会事業課　〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100
FAX 06-348-0634　TEL06-348-0633
＊参加証を7月21日(火)に発送します。
主　催　社団法人日本建築協会
事業委員会・若い会員の集い小委員会
松隈　章、内仲　毅、神崎健史、龍野豪利、松本　明、廻はるよ、米井　寛
協　賛　株式会社イトーキ
講演会会場はショールーム（オープンAM10:00—PM6:00）の最上階にあります。時間に余裕のある方は講演会前に御覧下さい。

日本建築協会会告(再録)

音楽と建築 VOL.2 森のホール・バロックコンサート

日時　1992年7月25日(土) 見学会 17:00-18:00 演奏会 18:00-20:00

会場　布引ハーブ園内「森のホール」 ※地下鉄・JR新幹線「新神戸駅」から新神戸ロープウェーで約10分

神戸の山腹に昨年の秋オープンした「布引ハーブ園」の諸施設の見学会と、園内にある「森のホール」でのバロック演奏会を企画しました。

今回は、スイスのバーゼル音楽院スコラ・カントゥルムで学ばれた3人の古楽器演奏者による国際的な「ムジカ・アンティカ・バジリエンシス」を迎えてのコンサートです。

コンサートが終わる頃には、布引ハーブ園からの素晴らしい神戸の夜景もお楽しみいただけることと思います。ふるってご参加ください。

内　容　1)布引ハーブ園、森のホール・展望レストラン等の見学会
講師：神戸市、浦辺設計
2)バロックコンサート
演奏：ムジカ・アンティカ・バジリエンシス
(3人の古楽器演奏者グループ)

定　員　150人（申込先着順）

参加費　会員2,000円、一般2,500円（含、消費税）

申　込　ハガキ、FAX、電話で、㈱日本建築協会事業課へお申込み下さい。
1)催し名（音楽と建築　森のホール・バロックコンサート）、2)氏名、3)会員・一般の別、4)勤務先、5)参加証送付先、6)電話番号、をお知らせ願います。
㈱日本建築協会事業課　〒530大阪市北区梅田1-1-3-2100
FAX06-348-0634　TEL06-348-0633

＊参加証を7月10日(金)に発送します。

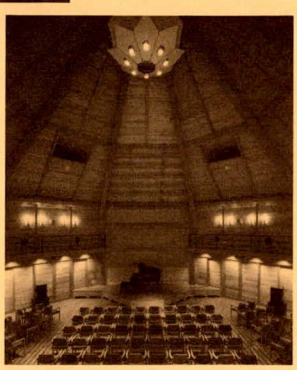
主　催　社団法人日本建築協会
事業委員会・若い会員の集い小委員会／杉本真一、佐々木晴子、田中　康、田畑重明、山口圭一、横田隆司

後　援　神戸市、アーキテクチュア・フェアKOBE
国際ロータリー第2640地区財団学友会



布引ハーブ園建築概要
設　計　神戸市住宅局営繕部、浦辺設計
施　工　青木建設
工　期　1989年12月―1991年 7月
(オープン10月)

●森のホール
延床面積　1,059㎡
規　模　2F（高さ20.8m）
●展望レストラン(ハーバルハウス)
延床面積　1,803㎡
規　模　3F、B1
●グラスハウス
延床面積　2,416㎡
規　模　2F



●ムジカ・アンティカ・バジリエンシス(Musica Antiqua Basiliensis)
スイスのバーゼル音楽院スコラ・カントゥルムにて共に学んだ3人の国際的なバロック演奏家グループで、幅広く演奏活動を行っている。

イムケ・ダヴィッド(Imke David)（ヴィオラ・ダ・ガンバ）



ドイツ人、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者。スイスのバーゼル音楽院スコラ・カントゥルムにてジョルディ・サヴァルに師事。アンサンブルエステ、フライブルグバロックゾリステン、トラギコメディア、エスペリオンXX、シャペルロワイヤル等のメンバーとして、ヨーロッパ各地等でコンサート、放送、録音を行っている。また、コンラート・シュタイマン、ミッシェル・ピゲ、パオロ・パンドルフォ、ジェスパー・クリスチャンセン、アンドレアス・シュタイアー、ルネ・ヤコブス達とのレコーディングにも加わる。今回はルネ・ヤコブス指揮のオペラの東京公演にも出演。

アート・クレイ(Art Clay)（トラヴェルソフルート）



アメリカ生まれ。フルート及びトラヴェルソフルートをジョン・ソラムに師事。作曲をアンナ・ロックウッドに師事。ニューヨークのヴァッサー大学を卒業。即興演奏をウッドストックのCMS(クリエイティブ・ミュージック・スタジオ)にてアンソニー・ブラクストン、カルラ・プレイ、カール・ハンスベルガー、ギャレット・リストのもとで学ぶ。現在は、ヴァサル大学より奨学金を受け、バーゼル音楽院スコラ・カントゥルムに在籍。ラジオ放送やレコーディングも多い。

松本静江（チェンバロ）



神戸女学院大学ピアノ専攻卒業。ピアノを尾崎文子、井沢利、チェンバロを井岡みほの各氏に師事。ロータリー財団奨学生としてスイスのバーゼル音楽院スコラ・カントゥルムに留学。チェンバロ、通奏低音をR・ユングハウス、E・ピヒト・アクセンフェルト、室内楽をJ・ゾンライトナーに師事。バーゼル、南ドイツを中心に様々な演奏会に出演。ベルギー国際音楽アカデミー終了。チェンバロをJ・V・インマゼール氏、アンサンブルをS・クイケン氏に師事。パイプ・オルガンを鈴木雅明氏に師事。幅広い演奏活動を行っている。

アーキテクチュア・フェアKOBE事務局だより

・神戸では＜アーバンリゾートフェア神戸'93＞の一環として、建築をテーマにかかげた「アーキテクチュア・フェアKOBE」を来年(平成5年)に開催します。
・来年の本番に向けて今年から様々なプレイベントを実施していきます。また建築関係団体とも協力・共同しながら、神戸のまちを建築の話題でいっぱいにしていきます。
・特にソフト面のイベントとして、市民グループ＜ケンチックKOBE探検隊＞を結成し、グルメ、レトロ、ファッションなど様々な切り口から神戸の建築とまちを探検してまわり、フェア本番へ向けた盛り上がりをつくっていきます。

また、これをサポートし、自らも楽しむ建築人の会「神戸建築ネットワーク（愛称:KAN・CLUB）もすでに活動を開始しています。
参加希望者は気楽にお申し出ください。

ケンチックKOBE探検隊

アーキテクチュア・フェアKOBE事務局(神戸市住宅局内)
〒650 神戸市中央区東町113-1 大神ビル3F ☎078-334-1755 FAX078-334-1756

平成 4 年度

◀日本建築協会役員会務分掌（敬称略）

名誉会長　東畑謙三（東畑建築事務所）
〃　塚本猛次
会長　佐野正一（安井建築設計事務所）
副会長　金多潔（京都大学）
〃　薬袋公明（日建設計）　総務・会計・編集担当
〃　市川宏（東畑建築事務所）
〃　鴻池藤一（鴻池組）　会勢・事業・研修担当

理事（○印常任理事）

（総務）6名
伊藤良彦（三晃空調）
大林芳郎（大林組）
栗原信英（栗原工業）
中西孝（マンテン）
松村雄吾（松村組）
○村上秀夫（村上総合事務所）

（会計）5名
奥村俊夫（奥村組）
菅谷節（ダイダン）
銭高善雄（銭高組）
堀亀久治（三機工業）
○前野慶太郎（あめりか屋）

（編集）10名
井上豊（大阪大学）
金井弘次（阪急電鉄）
川島繁三（住宅・都市整備公団）
○小島雄（鹿島建設）
○須賀好富（近畿大学）
竹中錬一（竹中工務店）
○深江実（アスワン）
○松村慶三（浦辺設計）
○溝神宏至朗（安井建築設計事務所）
若山繁（きんでん）

（会勢）12名
淺沼禎夫（淺沼組）
○大岡昇（大林組）
○岡本行善（昭和設計）
○小林四郎（住友電設）
鴻池一季（鴻池組）
○城口庸平（大阪城口研究所）
○辰巳興一（フジタ）
○田村真二（竹中工務店）
中島一（愛知工業大学）
西川秀信（戸田建設）
原田孝太郎（原田セメント化工）
森井哲也（清水建設）

（事業）7名
今村祐三郎（大阪建設業協会）
臼井真三（熊谷組）
○多井幸男（多井建築研究所）
伴昭秀（西原衛生工業所）
藤木鐵三（藤木工務店）
本郷聰
○三品哲夫（大阪市建築技術協会）

（研修）6名
市川正美（大成建設）
○片倉健雄（近畿大学）
立野一郎（ユニオン）
○久徳敏治（日本建築構造技術者協会）
藤川和孝
○和田克朗（日本建築総合試験所）

（監事）　尾亀清四郎（三晃空調）・牧田顯治（安井建築設計事務所）

平成 4 年度

◀日本建築協会評議員（敬称略）

議長　高橋保夫（銭高組）
副議長　鶴田昭一（大林組）

本部所属評議員

（技術部門）
片田俊彦（大阪府建設監理協会）
鶴田昭一（大林組）
山形政昭（大阪芸術大学）
荒川治徳（清水建設）
下笠晃右（大阪市都市整備局）
下村健治（修成建設専門学校）
玉井龍男（近畿地建）
名手宏彦（ミサワホーム）
山尾弘子（インタープラン）

（総合部門）
伊藤俊夫（松村組）
内村俊一（大日本土木）
白石静二（鴻池組）
宗澤修郎（西松建設）
杉山慎一（三井建設）
中川公善（鉄建建設）
野田耕三（栗本建設工業）
松丸哲也（豊國建設）
大塚日出夫（淺沼組）
上出秀雄（藤木工務店）
楠正世（戸田建設）
柴田邦彦（間組）
高橋保夫（銭高組）
飛岡宏佳（安藤建設）
三木敏男（奥村組）
原精一（コーナン建設）
和田眞一（東和組）

（電気部門）
荒巻恭士（きんでん）
岩橋貞雄（八千代電設工業）
高岸宗吾（近畿工業）
今村騰（中央電気工業）
山本永造（ヤマト電気）

（管工部門）
臼井弘（須賀工業）
川瀬甲子雄（扶桑管工業）
福谷守弘（朝日工業社）
清水義一郎（清水工業所）
田崎至成（日比谷総合設備）

（建材部門）
恩庄二郎（大阪化工）
永原義夫（王建工業）
江藤正昭（万年スレート）
小山年光

支部所属評議員

東海支部
林金之（愛知工業大学）
盛田輝勇（丸善深見建装）
小宮三辰（安井建築設計事務所）
森口雅文（伊藤建築設計事務所）

京都支部
秋山明孝（清水建設）
神谷治（神治屋）
山口明（伏見工業高校）
山田昌次（花豊造園）

和歌山支部
雑賀幹夫（雑賀設計）
永長博（永長建設）

中国支部
井上弘美（アオケン）
福永敏男（福永建設）
稲葉登（大之木建設）
清田剛一（清田工務店）

◀日本建築協会支部長（敬称略）

東海　中島一（愛知工業大学）
京都　井手正己（清和建築設計事務所）
和歌山　北山俊（日新建設工業）
中国　平本俊秋（日興）

平成 4 年度

◀日本建築協会特別委員会委員（敬称略）

■企画委員会

協会の今後の運営を検討、審議する。

委員長　三品哲夫（大阪市建築技術協会）
委員　片倉健雄（近畿大学）
松村慶三（浦辺設計）
三木敏男（奥村組）
村上秀夫（村上総合事務所）
山形政昭（大阪芸術大学）
和田克朗（日本建築総合試験所）

平成４年度

◀日本建築協会常設委員会委員

平成４年４月22日開催の定例理事会において、下記のとおり各常設委員会委員を委嘱いたしました。(敬称略　◎印委員長　○印副委員長　●印副委員長代行　△印幹事　▲印幹事代行　＊印顧問　職場名は略称を用いました)

■編集委員会

会誌「建築と社会」の企画・編集

＊東　孝光(大阪大学)
◎溝神宏至朗(安井建築設計事務所)

■特集小委員会

計画系分科会

(計画系)

梅村宏尚(大阪市計画局)
河端秀直(日建設計)
小浦久子(大阪大学)
鈴木克彦(京都工芸繊維大学)
田中直人(神戸芸術工科大学)
林輝行(三井不動産)
松川敏正(竹中工務店)
山尾弘子(インタープラン)
横関真紀(積水ハウス)
△吉村英祐(大阪大学)

(建築計画系)

石山道男(安井建築設計事務所)
磯村千恵子(大成建設)
上杉秀隆(浦辺設計)
江副敏史(日建設計)
菅野忠司(鹿島建設)
△北村潤(東畑建築事務所)
黒川明彦(清水建設)
▲佐藤不二男(大阪大学)
塚本史郎(鴻池組)
刃金国男(大林組)
山本匡(竹中工務店)
吉羽逸郎(アイ・エフ建築設計研究所)

(インテリア・住宅系)

大森智子(武庫川女子大学)
大橋眞由美(大林組)
加藤力(京都工芸繊維大学)
角方利幸(住宅・都市整備公団)
▲神谷剛(竹中工務店)
△北浦かほる(大阪市立大学)
駒田哲男(A D & A)
中村孝之(積水ハウス)
西川純一(昭和設計)
福田由利(アトリエ・ドゥー)

構造分科会

和泉一義(東畑建築事務所)
笠井精二(大阪府建築部)
黒木安男(鴻池組)
角彰(竹中工務店)
竹野富夫(馬瀬構造設計事務所)
築谷朋也(安井建築設計事務所)
二宮利治(日建設計)
西邦弘(キンキ構造設計)
西村泰志(大阪工業大学)
△野村多喜夫(大林組)
馬場研介(大阪大学)

設備分科会

石沢重治(新菱冷熱工業)
遠藤進(きんでん)
大田克彦(総合設備コンサルタント)
△梶井宏修(近畿大学)
河津隆之(河津隆之事務所)
伊達正雄(大阪市都市整備局)
田ノ畑好幸(竹中工務店)
村上幸三郎(東芝ライテック)

施工材料分科会

有光利治(鹿島建設)
△植田実(清水建設)
加藤眞(大阪府営繕室)
小椎八重猛(積水ハウス)
志水史典(大林組)
村上信直(竹中工務店)

法令分科会

乾康雄(京都府土木建築部)
△岩田純一(大阪府建築部)
樫田攻(京都市住宅局)
熊田典彦(神戸市住宅局建築部)
高見成志(兵庫県都市住宅部)
中島弘志(大阪市計画局)

■作品作風小委員会

遠藤公介(竹中工務店)
小笠原絵理(間工作舎)
尾崎久純(東畑建築事務所)
岡本隆(日建設計)
川上比奈子(夙川学院短期大学)
桜井俊郎(清水建設)
田中均一(兵庫県都市住宅部)
富田昌義(大林組)
藤城義丈(徳岡昌克建築設計事務所)
●前川治彦(前川治彦建築研究所)
前田幸宏(大建設計)
○松田善弘(昭和設計)
松村衛(大阪府建築部)
水川尚彦(住友信託銀行)
宮地雄一郎(安井建築設計事務所)

■会員企画小委員会

伊藤郁郎(日建設計)
●稲木裕子(松野八郎総合建築設計事務所)
大沢智弘(清水建設)
グレッグ・ホール(竹中工務店)
小板橋鉄雄(長谷工コーポレーション)
●佐野洋(日本設計)
佐伯由紀子(安井建築設計事務所)
坂田耕一(近畿地方建設局)
高田光雄(京都大学)
○高橋麗子(デザイン・オフィスレイ)
塚口明洋(塚口明洋建築研究室)
増渕昌利(神戸市交通局)
松石千秋(大建設計)
森本幸治(近畿日本鉄道)
山嵜章子(神戸市住宅局)

■広告企画小委員会

●池渕俊男(タジマ)
上井善一(東洋シヤッター)
尾崎英直(竹中工務店)
衣川徳好(清水建設)
佐野寛志(松村組)
○山東晃(大林組)
原田常介(クリヤマ)
藤田孝吉(鹿島建設)
山下修司(安井建築設計事務所)

■支部担当

中島一(愛知工業大学)　東海
井手正己(清和建築設計事務所)　京都
黒田征四郎(黒田一級建築設計事務所)　和歌山
平本俊秋(日興)　中国

■事業委員会

見学・講演・説明・展示・映画・懇親会・若い会員の集いなどの企画および実施

◎多井幸男(多井建築研究所)
○三好曠(竹中工務店)

■見学会小委員会

○南次郎(淺沼組)
△伊東史郎(大林組)
△中川滋(竹中工務店)
△福家敬(大阪府住宅供給公社)
△森田芳次(安井建築設計事務所)
池澤安夫(鴻池組)
伊藤博(松村組)
太田正三(藤木工務店)
岡田聿之(東畑建築事務所)
久保田秀男(日建設計)
田中進三(大阪市都市整備局)
西牧恵吉(清水建設)
福島靖夫(鹿島建設)
薮本文彦(大成建設)

■広報小委員会

○原見昌志(安井建築設計事務所)
△奥村進(東畑建築事務所)
△門川清行(竹中工務店)
△川村眞次(住宅・都市整備公団)
△酒井重治(野村建設工業)
△宮内宏(三五商事)
伊藤武夫(大林組)
小笹光彦(ランテック計画事務所)
紙西孝彦(昭和設計)
掃部彌(住宅・都市整備公団)
木場公典(大阪府建築部)
坂本哲郎(関西電力)
佐藤稔(東畑建築事務所)
下村健治(修成建設専門学校)
高橋武史(フジタ)
谷本敏和(きんでん)
田村美喜男(旭硝子)
中西稔(西日本旅客鉄道)
三上不二夫(錢高組)

■若い会員の集い小委員会

○杉本真一(大阪芸術大学)
△内仲毅(PPI)
△大川和彦(大阪府建築部)
△松隈章(竹中工務店)
△横田隆司(大阪大学)
有田吉弘(阪急電鉄)
小田修一(大林組)
大森智子(武庫川女子大学)
神崎健史(井上守建築事務所)
佐々木晴子(大阪市都市整備局)
島隆男(安藤忠雄建築研究所)
瀬藤良雄(西日本旅客鉄道)
田中滋典(大林組)
田中康(ヘッズ)
田畑重明(坂倉建築研究所)
竹内利明(淺沼組)
龍野豪利(大阪市都市整備局)
土井正(大阪市立大学)
長嶌史明(清水建設)
藤記真(日建設計)
増田昌彦(大阪府建築部)
松本明(浅井謙建築研究所)
宮崎ひろ志(兵庫県立人と自然の博物館)
村松一彦(大建設計)
廻はるよ(東畑建築事務所)
山口圭一(浦辺設計)
山田和弘(東建コンサルタンツ)
山本勝彦(安井建築設計事務所)
米井寛(東畑建築事務所)

■教育委員会

建築教育についての調査、研究、講座ならびに工高生デザインコンクールなどの企画および実施

◎片倉健雄(近畿大学)

■講習会小委員会

○金田宏(大林組)
△上田昇(鹿島建設)
△高橋憲昭(松村組)
佐藤隆幸(竹中工務店)
武田健(奥村組)
蔦谷政寛(錢高組)
中川徹(清水建設)
羽生永紀(大成建設)
服部勝興(鴻池組)
森啓亮(淺沼組)

■工高生教育小委員会

○和田康由(大阪市立工芸高校)
△植松清志(西野田工業高校定時制)
△三宅育男(布施工業高校)
大西正宜(今宮工業高校定時制)
景山公三(西野田工業高校)
小山将史(堺市立工業高校)
武田雄二(愛知産業大学)
辰己幸司(東畑建築事務所)
出雄隆(都島工業高校)
永島敏郎(安井建築設計事務所)
水嶋勇郎(日建設計)

■建材委員会

建材コンサルタント・新建材の紹介

阿部修(松村組)
井上享(藤木工務店)
猪野達雄(竹中工務店)
岩口勝(大建設計)
岡山信(奥村組)
小幡義明(鹿島建設)
柿本正和(錢高組)
○近藤達夫(大日本土木)
小谷陽次郎(日建設計)
阪本重信(大成建設)
鈴木悟(住宅・都市整備公団)
田中均(大阪セメント)
田中宏(大阪府建築部)
竹田三夫(鴻池組)
近澤一弘(日本建築総合試験所)
轟泰輔(熊谷組)
西川純一(昭和設計)
広瀬清豪(大林組)
伯耆紳(安井建築設計事務所)
＊堀内三郎(京都大学)
松原義美(戸田建設)
松村勝実(清水建設)
松本章(東畑建築事務所)
○元木貞次(東洋紡エンジニアリング)
保田幸昭(近畿地方建設局)
山田幸一(関西大学)
米川清水(NTT関西建築総合センター)
渡辺博(新日本製鐵)
◎和田克朗(日本建築総合試験所)

■出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行「建築技術選書」特装版および〈プロのノウハウ〉の企画・刊行

◎須賀好富(近畿大学)
○山田修(修建築事務所)
青柳英之(青柳構造設計)
荒川治徳(清水建設)
上原正行(竹中工務店)
川崎公雄(鹿島建設)
川道麟太郎(関西大学)
北山悟(松村組)
志賀咲穂(姫路短期大学)
谷川康信(大阪工業技術専門学校)
西村操一(大阪府建築部)
増田仁(大林組)
松本克暉(大成建設)
安田孝(摂南大学)

1917創刊
1992
73集

建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

「建築と社会」6月号表紙

デザイン・白子正人
（グラフィックデザイナー 日本タイポグラフィ協会会員）

6月号のモチーフにしたのは、高見フローラルタウン。

幾何学的でリズミカルな造形美。そしてカラーリングは、フランスの伝統色チャートより、APRICOT杏の色である。

梅雨のころ熟するこの果実は、方丈の沓かりてもぐる杏かな（吉岡禅寺洞）などと詠まれている。

この「杏」、または「杏子」は夏の季語で、「杏子の花」と書けば春の季語になるとのことである。

■特集予告

7月号／木構造を使ってみませんか
—集成材による構造—
8月号／接着工法
9月号／住宅特集

会　長　佐野正一
副会長　金多　潔・薬袋公明
編集委員会（平成4年度）
■編集理事
井上　豊
金井　弘次
川島　繁三
小島　雄
須賀　好富
竹中　錬一
深江　實
松村　慶三
⊙溝神宏至朗
若山　繁
■編集顧問
東　孝光
■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
梅村　宏尚
河端　秀直
小浦　久子
鈴木　克彦
田中　直人
林　輝行
松川　敏正
山尾　弘子
横関　真紀
○吉村　英祐
☆建築計画系
石山　道男
磯村千恵子
上杉　秀隆
江副　敏史
菅野　忠司
○北村　潤
黒川　明彦
※佐藤不二男
塚本　史郎
刃金　国男
山本　匡
吉羽　逸郎
☆インテリア・住宅系
大森　智子
大橋眞由美
加藤　力
角方　利幸
※神谷　剛
○北浦かほる
駒田　哲男
中村　孝之
西川　純一
福田　由利
★構造分科会
和泉　一義
笠井　精二
黒木　安男
角　彰
竹野　富夫
築谷　明也
二宮　利治
西　邦弘
西村　泰志
○野村外喜夫
馬場　研介
★設備分科会
石沢　重治
遠藤　進
大田　克彦
○梶井　宏修
河津　隆之
伊達　正雄
田ノ畑好幸
村上幸三郎
★施工材料分科会
有光　利治
○植田　実
加藤　眞
小椎八重猛
志水　史典
村上　信直
★法令分科会
乾　康雄
○岩田　純一
樫田　攻
熊田　典彦
高見　成志
中島　弘志
■作品作風小委員会
遠藤　公介
小笠原絵理
尾崎　久純
岡本　隆
川上比奈子
桜井　俊郎
田中　均一
富田　昌義
藤城　義丈
※前川　治彦
前田　幸宏
○松田　善弘
松村　衛
水川　尚彦
宮地雄一郎
■会員企画小委員会
伊藤　郁郎
※稲木　裕子
大沢　智弘
グレッグ・ホール
小板橋鉄雄
※佐伯由紀子
佐野　洋
坂田　耕一
高田　光雄
○高橋　麗子
塚口　明洋
増渕　昌利
松石　千秋
森本　幸治
山嵜　章子
■広告企画小委員会
池渕　俊男
上井　善一
尾崎　英直
衣川　徳好
佐野　寛志
○山東　晃
原田　常介
藤田　孝吉
山下　修司
■支部担当編集委員
（京都）井手　正己
（中国）平本　俊秋
（東海）中島　一
（福岡）黒田征四郎
⊙印 委員長　○印 副委員長と幹事
※印 同代行

印　刷　平成4年6月20日
発　行　平成4年6月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06－348－0635
振替口座　大阪1-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
電　06－351－5428(代)
日本電植株式会社
電　06－357－1803(代)
定　価　980円（本体価格951円・送料共 消費税29円）

6 通巻 **843**

会告
作品作風
SKETCH BOOK
W
ブックステーション
GBRCニュース
法令コーナー
新建材紹介コーナー
建築の眼
特集
グラビア
座談会
構造の頁205
設備の頁206
月報
INFORMATION

特集●街創り、住まい創り—住宅・都市整備公団関西支社10周年—

SPECIAL FEATURE ON THE 10th ANNIVERSARY OF HOUSING AND URBAN DEVELOPMENT CORPORATION.

「PLATFORM」から「再春館製薬女子寮」へ—妹島和世氏講演会—．音楽と建築vol.2．森のホール・バロックコンサート（再録）．平成4年度日本建築協会役員会務分掌・評議員・支部長・特別委員会委員・常設委員会委員．大阪都市景観建築賞推薦募集と併設行事 ——— *1、101*

旅亭　半水盧 ——— 設計監理：吉村建築事務所 —— *6*
施行：佐藤工業九州支店

エリモセンタービル ——— 設計監理：小河建築設計事務所 —— *10*
施工：大林組・新日本土木共同企業体

CFB北浜ビル ——— 設計施工：大林組 —— *12*

SS BUILD HAKATAEKIMAE ——— 設計監理：小松義博建築都市設計事務所 —— *14*
施工：竹中工務店九州支店

最近竣工した新建築作品11点（No.2376～No.2386） ——— *16*

waching 都市の風景—WATER BACK— ——— *18*

短評8冊／伊藤郁郎・稲木裕子・増渕昌利 ——— *20*

お知らせと平成4年度の事業計画 ——— *22*

「川西市遊技場及びホテルの建築の規制に関する条例」の制定／杢田　功 ——— *23*

大型セラミック外装材・大型セラミックパネル／米川清水 ——— *25*

契約と信頼関係／北浦かほる．生長と寿命／島崎　勉．自然の恵み／中川洋一．建築と外構の調和／小林志朗 ——— *28*

街創り、住まい創り—住宅・都市整備公団関西支社10周年— ——

淀川リバーサイドタウン／リバーサイドさぎす／シティハイツ逆瀬川／武庫川、武庫川第2／高見フローラルタウン／森之宮スカイガーデン／ユーコート／桜宮リバーシティ・ウエスト／リビエール関目／ムアナ88／ろじこおと／ガーデンハウス高槻・阿武山／ガーデンハウス箕面おのはら／アミティ学園西町／アクティ学園西町／高槻・阿武山一番街／千里緑丘／泉北城山台2丁／ガーデンハウス西神狩場台／ガーデンハウスいぶき野／シテ・エスポアール宇治黄檗台／グラディーナ学園前／コンフォール学園緑が丘／高の原駅西第2／奈良青山／ルミナス箕面の森／シェラビア東山台． ——— *30*

「街創り、住まい創り、コミュニティ創り」
——— 延藤安弘／川村眞次／伊東　公／増田直隆／（司会）宇治原邦浩 —— *61*

アメリカの建築構造視察／瀬川輝夫 ——— *97*

緊急離着陸場と照明／小浜孝司 ——— *98*

平成4年4月分 ——— *100*

JIAの第1回関西建築家大賞は出江寛氏．「都市環境デザインフォーラム・関西」開催．「第5回国際デザインキャンプ'92-松本」を8月に．第4回「タキロン・国際デザインコンペティション」、テーマは「風」．「土屋壽満さんの二十五周年を祝う会」．ディラー＋スコフィディオ建築講演会＆作品展—GALLERY・MA運営委員会．「病院建築のルネッサンス展—聖路加国際病院のこころみ—」．平成4年度「大阪市ハウジングデザイン賞」推薦募集．「環境の色彩」—京都の都市景観の在り方を探るパネル展とトーク—．AQUA-HUMANIA'92． —— *26、101*



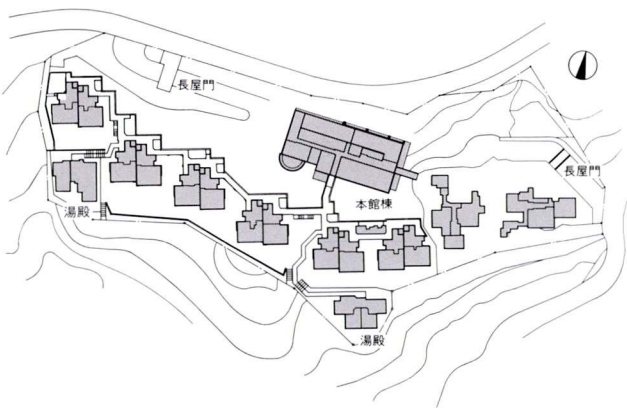
本館棟 玄関アプローチ

旅亭 半水盧

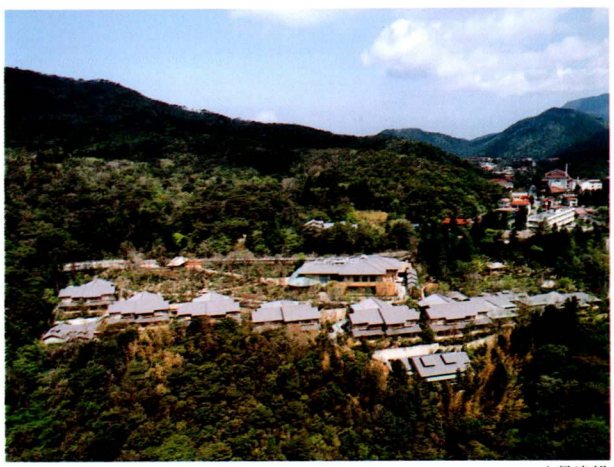
設計監理　吉村建築事務所
施　　工　佐藤工業九州支店



長屋門 アプローチ



配置図　1:3,000



全景遠望



客室外観



客室縁及び前庭



本館棟ロビー



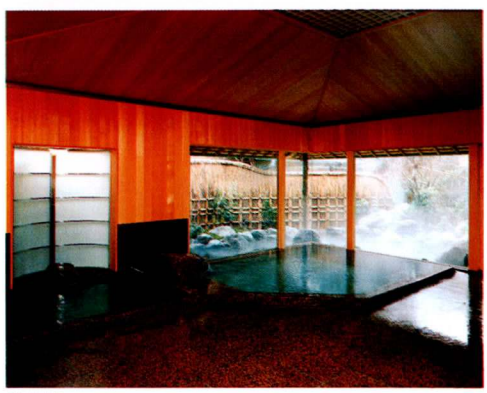
本館棟会議室



客室棟洋間



客室二十四帖の間



浴室棟

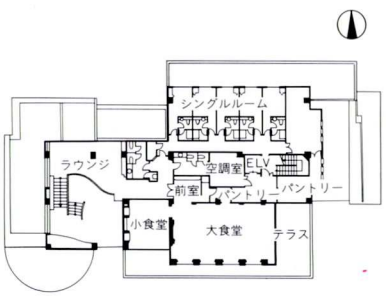
所 在 地　長崎県南高来郡小浜町雲仙
敷地面積　16,136㎡
建築面積　4,336㎡
延床面積　7,653㎡
構造規模　本館棟RC、B1F、2F　客室棟木造2F
工　　期　平成元年7月～平成4年4月
最 寄 駅　長崎県営バス雲仙行白雲の池前下車

撮　　影　㈱ホワイトルーム

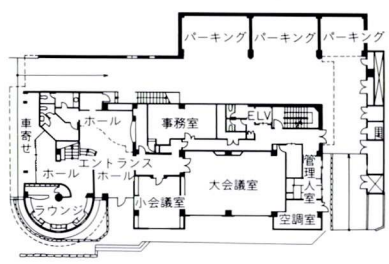
元亀二年の開港以来、異国文化が交流し、魅惑に満ちた異国情緒を香らせる街、長崎。その長崎の奥座敷とも西の軽井沢とも讃えられ、際立つ四季折々の自然美に恵まれたまた名湯の場でもあるここ雲仙の地に「人の心を解き、その出会いをまろやかに結ぶ」その様な"心のよりどころの館"を、というオーナーサイドのコンセプトのもと、この旅亭"半水廬"のプロジェクトは進められた。

敷地は雲仙天草国立公園のほぼ中心部、雲仙温泉街の小浜側入口に有り、環境及び美観保護のための様々なきびしい規制がなされている。それ等条件の中、開発行為を含め、前述のコンセプトによる選りすぐられたメンバーのための非日常的な高級指向に対応すべく、プラン的には客層を考慮し、充分なるプライバシーを確保させるため、サービス専用動線を別に設け、各棟各室を離れ家的に構成し、棟間は和の心で結実させた庭園を配置しその目的をはたしている。また形態の表現は今も京の地で営々と受け継がれている数寄屋の手法を駆使し、京都の職方の協力のもとに各棟各々個性的に納められ、あたかも昔日よりこの場所に鎮座していたかの如く、自然にとけ込んでいると自負している。

（上田　修／吉村建築事務所）



本館棟2階平面図　1:1,000



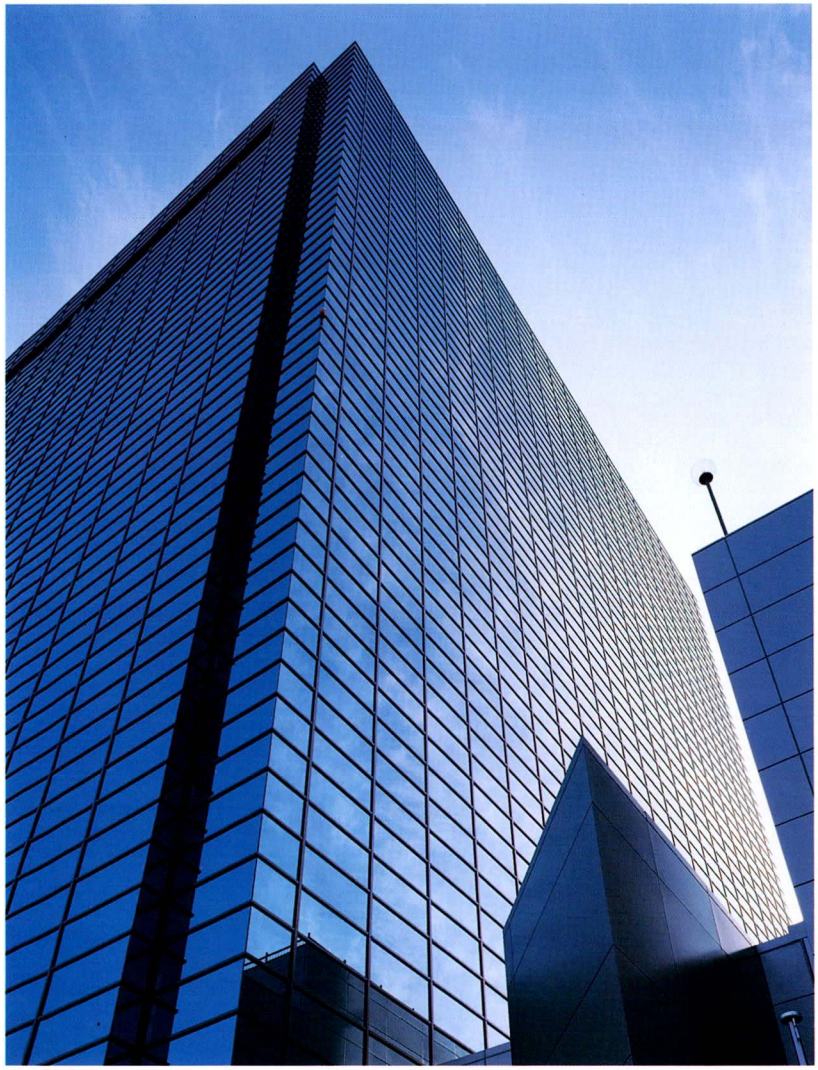
本館棟1階平面図　1:1,000


客室十二帖半の間

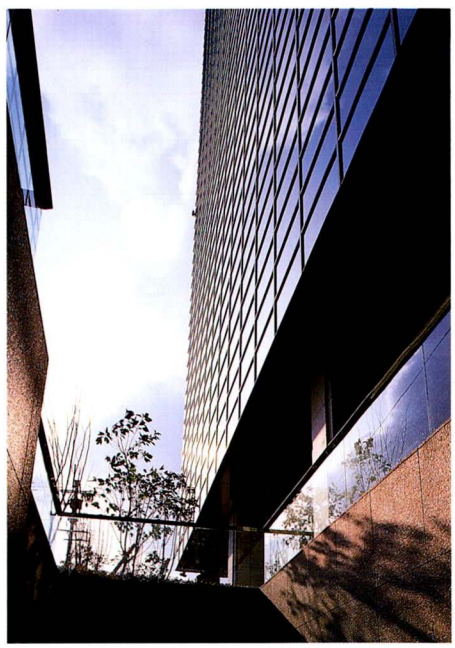

客室十五帖の間

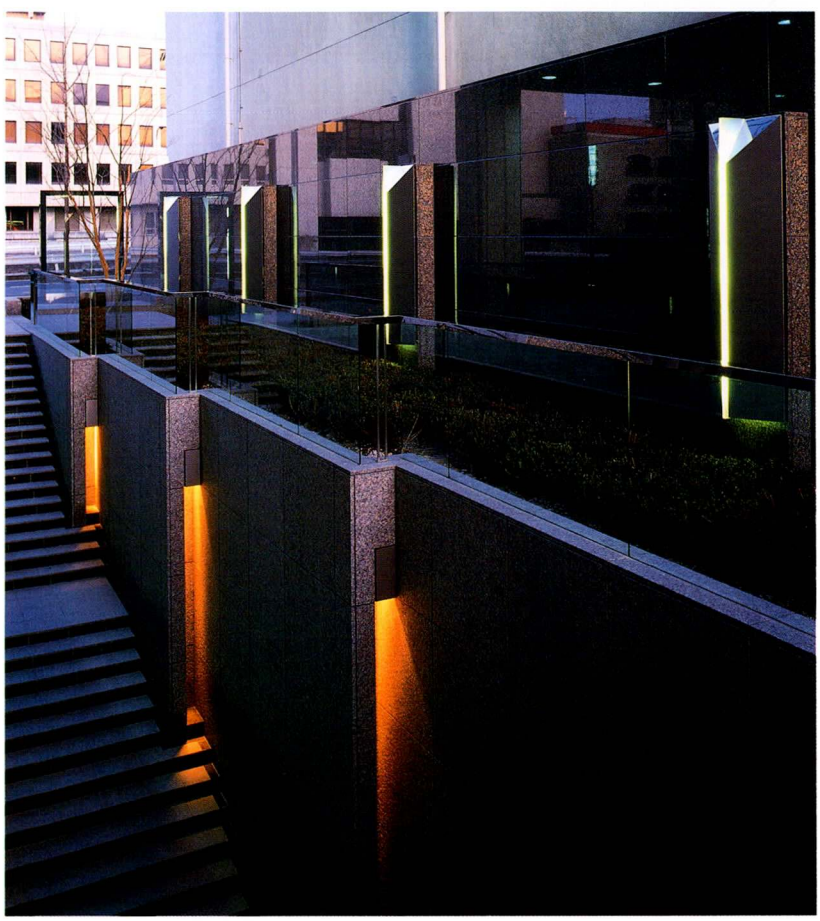
エリモセンタービル

設計監理　小河建築設計事務所
施　　工　大林組・新日本土木共同企業体



外観見上げ





(ライティングデザイン：岡幸男)



エントランス廻り(モニュメント：青木秀憲)

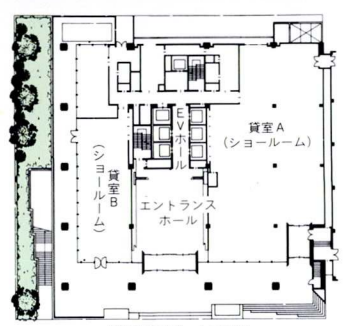
所 在 地　箕面市船場西2-1-1 他
敷地面積　7,124.43㎡
建築面積　1,753.73㎡
延床面積　22,870.46㎡
構造規模　S、一部RC、B1F、14F、PI
工　　期　平成2年7月～平成4年2月
最 寄 駅　北大阪急行線千里中央線

撮　　影　喜多　章

正面全景

エリモセンタービルはコムアートヒルの中心に完成した。この地は大阪船場繊維卸商団地として建設が進められ物流の拠点として発展してきたが、新大阪、大阪空港に近接するという立地条件にも恵まれ、21世紀にかけて情報、感性の発信という新しいビジネス基地として新たに生まれ変わろうとしている。こうした期待をになってプロジェクトが進められ、ここにハイポテンシャルなインテリジェントビルが竣工した。物流を中心とした街並みの中に出現したこの新しいガラスのビルは、近未来的な風貌をのぞかせている。このビルを中心に既存のエリモスタジオ＋流通倉庫、パーキング（400台）をトータルに活用する時、真の能力が発揮されるであろう。

（西出忠弘・柳川陽文／小河建築設計事務所）



1階平面図　1:1200

CFB北浜ビル

設計施工　大林組

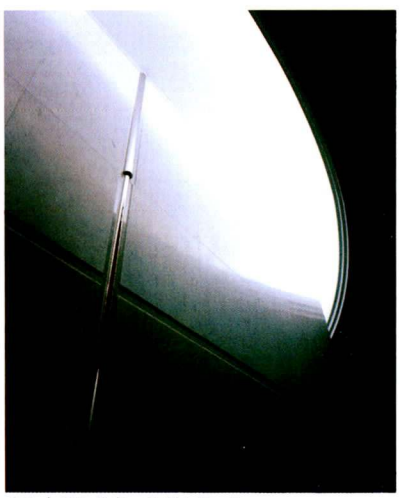


ここ伏見町界隈は道修町と並び古くから製薬会社が軒を連ね、近代的なビル群の中に古い佇まいの民家が点在するなど、大阪の歴史を感じさせる街である。
この街並みにしっくりと馴染みながらも新しい時代の息吹きも感じさせる、そんな漠然としたイメージを大切にしながらこのオフィスのファサードの構想をすすめた。
粗面仕上げの花崗石を使って格子状に組みあげた柱梁のフレームの中を2本の反射ガラスのボックスが貫入し、頂部ではそのガラスのボックスが天空に突き抜ける、というイメージがデザインモチーフである。
また周囲に威圧感を与えない様にセットバックして建物を配し、この伏見町筋のヒューマンスケールに見合うボリュームとした。

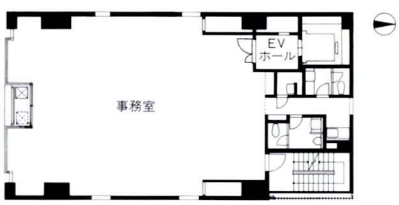
（本間利雄・桜本敏樹／大林組）



エントランスホール



エントランスホールディテール



基準階平面図　1：400

所在地　大阪市中央区伏見町2－8－1
敷地面積　221.60㎡
建築面積　167.16㎡
延床面積　1,578.36㎡
構造規模　SRC、B2F、9F、PI
工　期　1990年6月～1992年2月
最寄駅　地下鉄御堂筋線淀屋橋駅

撮　影　島　修一、花城 辰男





正面見上げ

SS BUILD HAKATAEKIMAE

設計監理　小松義博建築都市設計事務所
施　　工　竹中工務店九州支店

所 在 地　福岡市博多区博多駅前3丁目553
敷地面積　194.10㎡
建築面積　127.05㎡
延床面積　1,010.27㎡
構造規模　S、9F、PI
工　　期　1991年3月～1991年12月
最 寄 駅　JR博多駅

撮　　影　川元　斉



エントランスホール



正面(昼景)



正面(夜景)

透明のファサード

SSビル博多駅前は、JR博多駅から徒歩圏に建つインテリジェント化されたオフィスビルである。1フロア1テナントを想定した構成で、24時間フルに稼働出来る先端の設備を内蔵している。このビルのファサードは全面が執務スペースと外部とが連続している透明性と、メンテナンスのためのキャットウォークとが形態的な特徴である。間口が狭く、奥行きが長い、日本の街並に多く見掛ける敷地であるので正面側は全面開放して奥深く採光が出来、内部と外部を連続させている。この透明感あるファサードのメンテナンスのためのグレーチングで作られたキャットウオークは、西日をさえぎる庇としての装置でもある。

(小松義博／小松義博建築都市設計事務所)



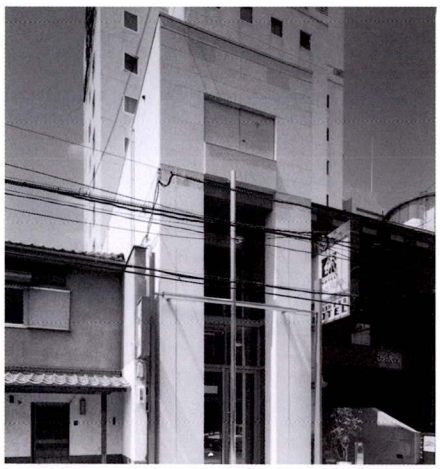
基準階平面図　1:300



○△□は東洋の宇宙観を表わす

エントランス

SKETCH BOOK


2376

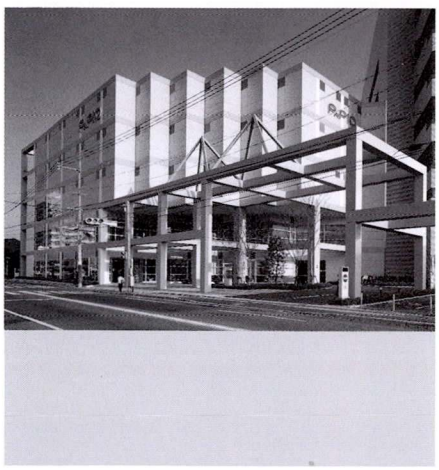

2377

2376 西心斎橋ニューズビル

設　計：大林組
施　工：大林組
a．大阪市中央区西心斎2-47-1
b．83.50m²
c．58.12m²
d．164.15m²
e．RC、3F
f．平成2年9月～平成3年4月

2377 日生ニュータウンサウンズヒル(第4期)

設　計：大林組
施　工：大林組・青木建設J.V
a．兵庫県川辺郡猪名川町松尾台2-1
b．K棟 2,458.68m²　L棟 2,875.35m²
c．1,373.46m²　1,428.33m²
d．4,978.04m²　5,506.85m²
e．RC、6F
f．平成2年4月～平成3年5月


2378



2379

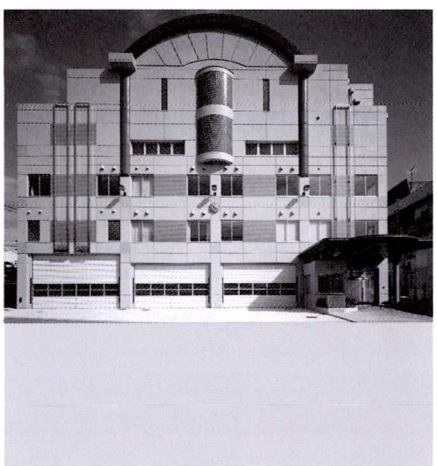
2378 千代文化スポーツセンター(愛称:パピオ)

設　計：環境開発研究所九州事務所
施　工：竹中工務店・大成建設J.V.
a．福岡市博多区千代1-15-30
b．7,180m²
c．3,200m²
d．13,860m²
e．RC及びS、B2F、5F
f．平成2年3月～平成3年9月

2379 大同生命那覇ビル

設　計：大林組九州支店
施　工：大林組九州支店
a．那覇市前島3-1-15
b．885.02m²
c．691.56m²
d．6,301.77m²
e．SRC、B1F、9F、P1
f．平成2年6月～平成3年9月


2380

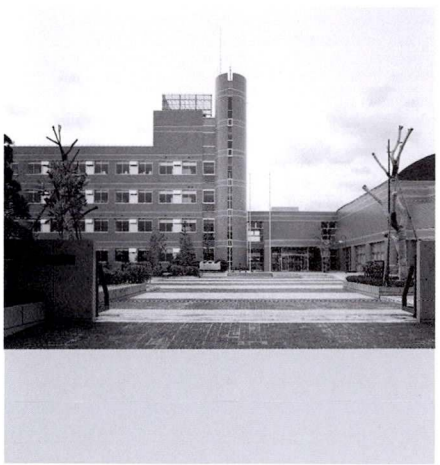

2381

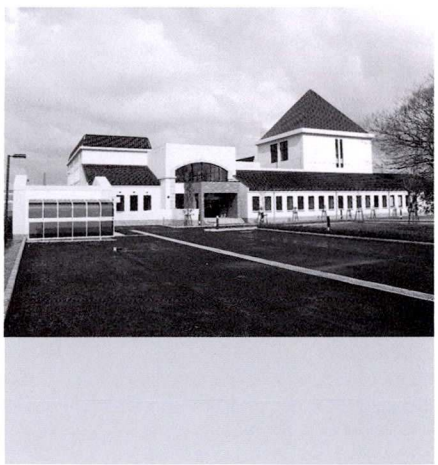
2380 福岡市民防災センター

設　計：ユニオン設計
施　工：広田・若尾J.V.
a．福岡市早良区百道浜1-901-9
b．5,042.7m²
c．1,185.13m²
d．2,373.24m²
e．SRC、3F
f．平成2年9月～平成3年10月

2381 摂津市消防本部・消防署

設　計：髙橋上田設計事務所
施　工：大木建設大阪支店
a．摂津市三島1-1-1
b．1,150.45m²
c．595.46m²
d．2,265.48m²
e．RC、5F
f．平成3年1月～平成3年10月


2382


2383

2382 兵庫県立水産試験場

設　計：兵庫県都市住宅部営繕課
施　工：飛島・明石土建J.V.　松本組
a．明石市二見町南二見
b．14,482m²
c．2,497.23m²
d．6,164.24m²
e．RC、4F
f．平成2年7月～平成4年1月

2383 中央児童相談所

設　計：兵庫県都市住宅部営繕課、設備課
施　工：明石建設
a．明石市北王子町356
b．5,961.06m²
c．1,612.23m²
d．2,545.44m²
e．RC、2F、一部S屋根
f．平成2年12月～平成4年3月

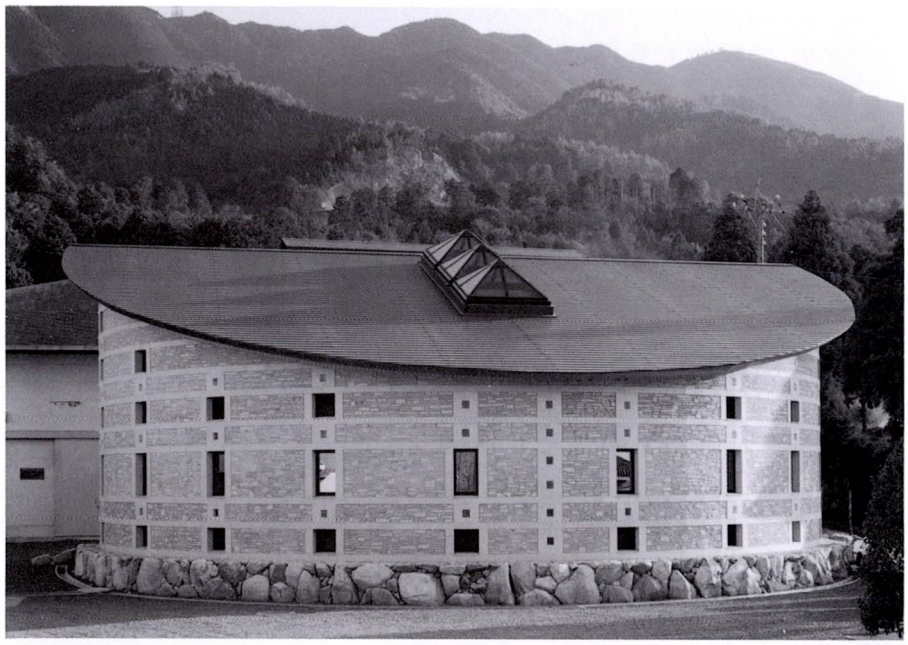
■写真と概要を本会編集部宛お送り下さい。

凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期

2384 紅乙女酒造リキュール工場

設　計：大林組九州支店
施　工：大林組九州支店
a．福岡県浮羽郡田主丸町大字益生田
b．18,000㎡
c．　208㎡
d．　204㎡
e．RC、1F
f．平成2年6月～平成3年2月

この建物は九州の景勝の地、耳納連山を背に、清流とフルーツの里、田主丸に眠る、焼酎工場の一施設であり、独自の形態と素材の選択により徐々に集積された建築群の一つである。外観は、インド砂岩の割肌と磨きを対比させ、伝統的な塗り込めで仕上げされ、剝離に対しても各ボーダー部分が荷重を吸収するよう考慮されている。この手法は職人の手造りの温かみや性格までも伝え、時の経過をうつしとるとともに、訪れる人々に対し、自然と人との息吹きを与える存在感の強い建築となった。



2384

2385 学校法人山田学園有瀬幼稚園

設　計：光安建築設計事務所
施　工：四ツ橋組
a．神戸市西区伊川谷町有瀬854－1
b．2,747.71㎡
c．　499.63㎡
d．　980.71㎡
e．RC、2F
f．平成2年3月～平成3年7月

1階が保育室、2階が遊戯室からなる幼稚園の増築建物である。〝園児は土に近く、遊戯室は天井を高く開放的に〟という事で、この配列となった。1階も将来は広く使いたいという山田理事長の希望により、この柱割りが生まれた。この柱割りと西日を遮えぎるルーバーが建物に変化を与え、バルコニーを設け色を変える事により、この変化が、より印象深くなる様に考えた。また、各所にRを付け、建物の堅さをなくす様に配慮をした。



2385

2386 博多三井ビルディング2号館

設　計：清水建設
施　工：清水建設
a．福岡市博多区店屋町1－35
b．　2,867.73㎡
c．　1,993.60㎡
d．21,939.28㎡
e．SRC、B1F、10F、P2
f．平成元年12月～平成3年9月

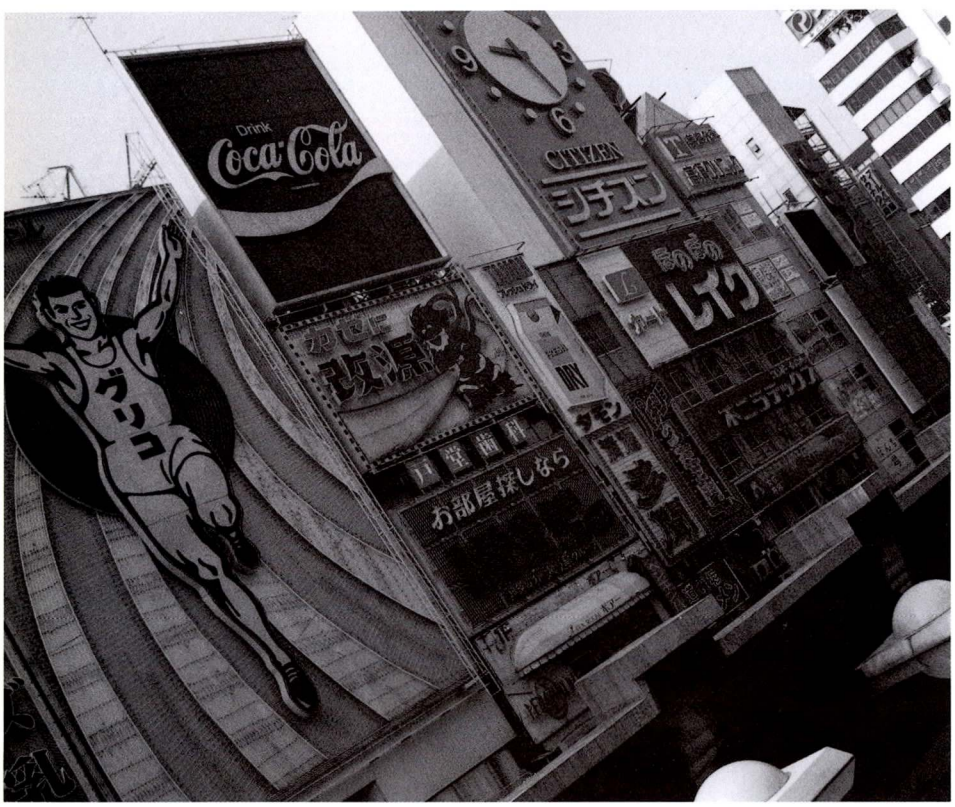
この建物は「大博通りシンボルロード」と呼ばれる福岡市の目抜き通りに面している。
計画に当っては、この立地特性を考慮して外部環境の整備を第一に考えた。総合設計制度の採用により大博通りに面して幅5mの公開空地を提供している。
福岡を代表するオフィスビルとして、24時間稼働可能なオフィスビル、フレキシビィリティの高いオフィスビルの実現をめざした。
また、建物の外観は、ハイテク感と現代的な感性を合わせもつデザインとした。



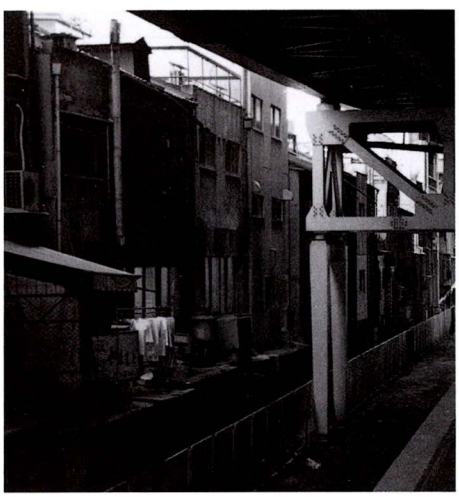
2386

Watching —都市の風景—

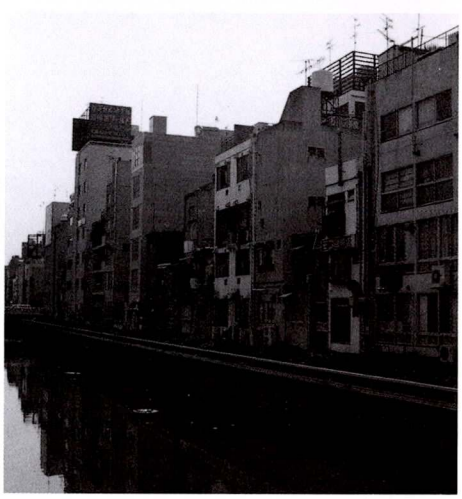




WATER
BACK









企　画　　会員企画小委員会
Director　　T. REIKO
Photgrapher　K. KOBAYASHI

大阪の空間文化
商都のコスモロジー

鳴海邦碩・橋爪紳也 編著

TBSブリタニカ　1990.4.10刊
A5判　312頁　2,200円

大阪に住んでいるものの、各自テリトリーが決まっていて、買い物ならキタかミナミ、あとはオフィスの近辺あたりしか知らないという人が多いのではないだろうか。本書は大阪という街を、その空間構造、都市形成の歴史、人々が見落としている古い場所や空間、そして商業空間として捉え、解説・分析している。単なるガイドブック的な記録書ではなく、「大阪の空間文化の研究」としてまとめられたものである。道頓堀のカニやエビも登場し、「あ、知ってる知ってる」の中に、何かしら新しい大阪の街＝空間文化を体験できそうである。　（Y.I）

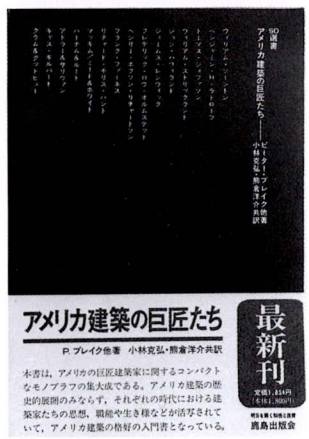


SD選書214
アメリカ建築の巨匠たち

ピーター・ブレイク他 著
小林克弘・熊倉洋介 共訳

鹿島出版会　1991.10.9刊
B6判　256頁　1,854円

19世紀後半から現代に至るアメリカの建築家40人をとりあげ、それぞれに対し最適と思われる40人の筆者が適切な解説を加えた書。アメリカ建築の歴史的展開が、それぞれの時代において一流といわれた建築家達の生きざまを通して紹介されている。ここに登場する建築家の多くは恐らくこれまで耳にされることがなかったのではなかろうか。第二次世界大戦以降世界の現代建築のリーダーといわれるようになったアメリカ建築において、ヨーロッパからもちこんだ種々の様式の葛藤をへたその黎明期から独自の方向を見い出していく第一次世界大戦頃までのその経過は実はあまり知られておらず、興味深いところである。写真・図版も充実し楽しく読める本になっている。　（I.I）



ゴシックということ

前川道郎 著

学芸出版社　1992.1.25刊
B5変判　208頁　3,811円

森田慶一・増田友也両先生の教えにより建築論の世界に足をふみいれた著者は、「建築の本質は空間にある」――建築とは、人間が空間において身体的に行動し心的に生きる、そのような空間である――との考えのもとに、建築空間を語る具体的な材料をゴシック建築の空間に求め研究を重ねてきた。この本は学位論文で1978年度建築学会賞受賞作である「ゴシック建築の空間論的研究」に結実した研究の成果を中心に、これまでの多くの論文をふりかえり、ゴシック建築の空間について集大成的にわかりやすくまとめたもの。「森田慶一先生に捧ぐ」と銘うたれたこの書は、著者の還暦を記念して出版された。図版・写真とも美しく肩をはらずに楽しく読める。　（I.I）



住まいの衣裳学

吉野正治 著

学芸出版社　1992.2.25刊
A5W判　240頁　2,884円

多種多様に氾濫する住宅の外観を「住まいの衣裳」とよび、調査・分類・解説した本。伝統と現在が確固として混在する京都が、このテーマにふさわしい代表的なフィールドであるとしてとりあげ考現している。数多くの写真による実例を見ると、本来住み手の自己表現そのものであるはずの「住まい」が、現実には個々人のアイデンティティーの欠落のためからか、住宅産業におけるお仕着せ或いは人まかせの自己主張を装う建物に席巻されている感がある。この本では結論めいたことは多くは語っていないが、「ひとりひとりが住まいにたいする良識ある自覚と見識をもつことが魅力ある住みやすい街・生活空間をつくっていく」との主張は少なくとも確かであろう。　（I.I）



まちをつくり まちをはぐくむ
写真でみる公団の都市開発

住宅・都市整備公団都市開発事業部 監修
公団まちづくり研究会 編著

鹿島出版会　1992.3.25刊
B5判　180頁　5,768円

旧住宅公団が住宅・都市整備公団として発足して10年。「写真でみる公団の都市開発」10年史である。「Ⅰ　まちづくりはいま」では、神戸三田国際公園都市・神戸ハーバーランド・関西文化学術研究都市・香里団地ほかの代表的な開発事例が取り上げられている。「Ⅱ　まちを演出する」では、ふれあいの場・まちなみ・公園緑地・みち・橋・新しい都市施設（駅・大学・地域冷暖房など）・まちのシンボル・学ぶ場・働く場・交通施設という都市設計手法ごとに住宅・住宅整備公団の豊かな実践が記録されている。団地設計のみならず都市設計にたずさわる設計者にも薦めたい。(M・M)



月刊 太陽 4月号
特集：建築の近未来

平凡社　1992.4.12刊
A4変判　184頁　1,000円

ちょっと月遅れの紹介で申し訳ないのだが、知る人は知っている雑誌「太陽」の建築特集の紹介をしたい。「知的刺激の溢れるテーマ」を特集するこの雑誌は、以前も（1990年８月号）「現代建築の冒険」という特集を組んでいる。建築専門雑誌でないだけに、建築家の手のアップ写真や身長・体重・特技まで載っていたりと笑わせてくれる。（ちなみに磯崎新氏の特技は「緻密な議論」）しかし、内容（今回は、６人の建築家に発想と展開を語らせている）は決して容易ではなく、かと言って小難しくなく、一般角度からの建築が楽しめる。たまには、別角度から建築の知的刺激のシャワーを浴びるのもよいでしょう。　（Y.I）



商空間のための 数寄屋デザイン

二村和幸 著
写真 相原 功

学芸出版社　1992.4.25刊
A4判　128頁　4,944円

今職場では、和風別荘を設計しているが、若き担当者は和風の納まりや、装飾・演出にふぅふぅ言っている。何せ、洋式の空間に慣れてしまっており、和風、とくに数寄屋建築となると、歴史の本か、本格的和風旅館にでも行かないとそのエスプリに浸れない。若い者がその納まりや材料を知るはずがないのである。仰々しい図鑑や資料をひっくり返してみたところ、そこには寸法も材質も記入されてはいない。ただ写真のみである。そんなとき、鮮やかな写真と、詳細に寸法の入ったスケッチと、ポイントをついた解説が記載されている本書は、ぜひその担当者にプレゼントしたい本である。　（Y.I）

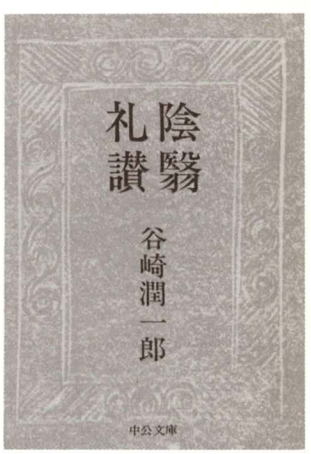


陰翳礼讃

谷崎潤一郎 著

中公文庫　1975.10.10刊　169頁　340円

周知のとおり、谷崎潤一郎の名随筆である。この「陰翳礼讃」を、TBSが数年前映像化し国際的な賞を取り、その映像が、建築の仲間内で話題になったそうである。その話題の原作は単純に言ってしまえば、日本の美意識を鋭い洞察と、珠玉の文章で綴ってあるのが特徴である。(単純に言うのがおこがましいのだが。)日本建築についても言及してあり、その物の見方の意外性に驚かされたり、何となく感じていたことがズバリ文章化された箇所では、再確認させられもする。たまには、日本の名作を、建築的視点からの読むのも乙なものです。　（Y.I）



担当：会員企画小委員会／伊藤郁郎・稲木裕子・増渕昌利

GBRCニュース

GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION OF JAPAN

お知らせと平成4年度の事業計画

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391 FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：15
土曜：休業

■営業時間変更のお知らせ

最近、各方面で週休2日制が行われるようになり、社会的にも定着してまいりました。つきましては、当試験所におきましても、下記のとおり毎週の土曜日を休業とする週休2日制の実施と、平日の業務時間の変更（終業時間の15分間延長）をさせていただくこととしましたのでお知らせ致します。

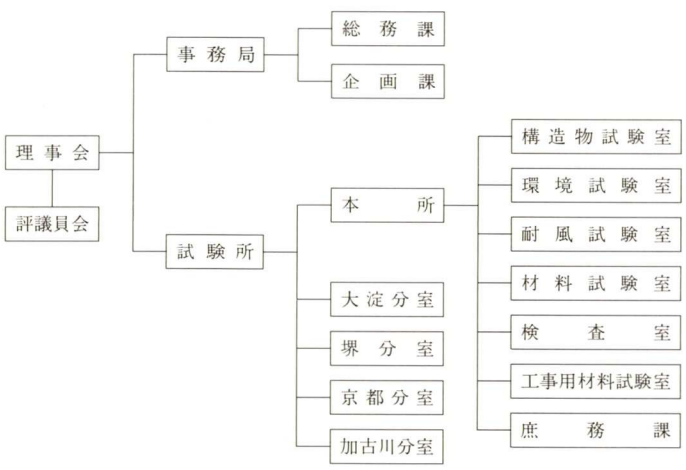
なお、この実施に当たりましては、関係各位に何かと御不便をおかけすることとは存じますが、今後とも一層業務の効率的な運営に努めてまいりますので、何卒御理解賜りますようお願いします。

実施時期　　平成4年6月1日
業務時間　　午前9時～午後5時15分

なお、本所及び各分室一斉に実施いたします。

■組織変更のお知らせ

複雑化、多様化する受託業務等により迅速に対応し、効率的な処理とソフト面の充実を図るため、試験室を5室4分室から6室4分室に再編し、試験所に庶務課を新設するとともに、事務局の事務室、企画室の名称をそれぞれ総務課、企画課に変更しました。



組織図

■平成4年度の事業計画

最近の厳しい経済情勢下にあって、建設活動も減少の傾向が見られますが、当試験所では、建築全般にわたる各種試験の一層の充実を図るため、本年4月より空港島内にも試験室出張所を開設し、試験・検査を実施しております。併せて、新たな局面に対応すべく、計画、環境調査などの受託業務の拡大を検討してまいります。このため、本年度も、試験精度と能率の向上、試験業務の自動化・省力化を更に進めるほか、新たな需要に応えるための試験設備・機器の整備を行います。また、本年度においては、これに加え、上にご案内しましたように試験所の組織及び執行体制の整備を行い、試験所業務処理の迅速化と効率化及びソフト面の充実を図ります。その他、自主調査研究及び関係機関との技術交流を推進し、職員の技術水準の向上に努めます。

本年度の事業費は、総額16億円余を予定しております。

1．施設整備

堺、加古川、京都分室につづいて、大淀分室への全自動コンクリート圧縮試験装置を設置するほか、本所熱実験室温度調整設備の改造、コンクリート実験室恒温恒湿装置の改修など、試験精度の向上、測定範囲の拡大、作業の迅速化のための施設整備を行います。

2．調査研究事業

本年度における、当試験所が独自に行ったり、他機関と共同して行う自主調査研究計画の主なものは次のとおりです。

構造：RC部材の変形性能の評価、制振（震）構造物の最適制御、ゆるい砂地盤における浅い基礎の動的・静的支持力に関する研究。

環境：直貼り木質床の短期集中荷重に対する沈み量と床衝撃遮音性能、音響インテンシティー計測法の建築音響測定への実用的適用、床暖房システムの評価方法、吸放湿材の性能試験方法、火災を受けたコンクリートの受熱温度推定に関する研究。

耐風：変動を考慮した基本形建物の圧力分布に関する研究
——その1、ベランダ付きの高層建築物——

材料：コンクリート中鋼材の非破壊腐食探査、骨材のアルカリシリカ炭酸塩反応性早期判定試験方法の開発、砕石粉使用コンクリートの開発、高靱性高強度コンクリートに関する研究。

このほか、関係行政機関又は建設関連企業からの依頼に応じ、随時必要な委員会を設置して、受託調査研究事業を行います。また、本年度も、㈳日本建築材料協会と共催して、建材研究会事業も行います。

3．審査・研修事業

建築主事の諮問に応じて、当所内に常設されている「建築技術安全審査委員会」に諮り、高さが45mを超え60m以下の高層建物等の安全性の審査事業、大阪府や兵庫県が定めた「コンクリート工法に関する指導要綱」に基づくコンクリート工法研修事業などを、本年度もひきつづき実施します。

以上のほか、骨材の巡回採取と試験、生コン工場などでの品質管理の監査、JIS表示許可工場での公示検査、緊急災害調査活動の連絡調整など、幅広い活動を行います。

当試験所は、建築に関する工法・材料等についての公的試験・研究機関です。建築に関するどのような試験・調査・研究でも、お気軽にご相談下さい。

法令コーナー

編集委員会法令分科会

268

「川西市遊技場及びホテルの建築の規制に関する条例」の制定

兵庫県・川西市は、「川西市ホテル等に関する指導要綱」を昭和57年10月1日から、「川西市ぱちんこ屋等及びゲームセンターに関する指導要綱」を昭和59年4月1日から施行し、ホテル、ぱちんこ店、ゲームセンターの進出について抑制指導等の徹底を図ってきた。

しかし、指導要綱は、工事の中止を勧告することなどができるにとどまるものであるため、これら遊技場・ホテルに関し、行政上の強制力をもった規制が望まれていた。

そこで、遊技場及びホテルの具体的な規制のあり方について、川西市環境保全審議会に諮問し、平成4年2月に「川西市遊技場及びホテルの建築の規制に関する条例」(案)の答申を得た。同年3月には、答申どおりの条例案を市議会に上程して、平成4年4月1日から施行している。

条例は、住民の良好な生活環境を保全するため、遊技場またはホテルの建築について必要な規制を行うことにより、健全で文化的なまちづくりに寄与することを目的とする。

条例における建築物の定義

(1) 遊技場：「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」(以下「法」という。)第2条第1項第7号に規定するぱちんこ屋等(まあじゃん屋を除く)および同項第8号に規定するスロットマシン、テレビゲーム機その他の遊技設備を備える店舗等のゲームセンター。

(2) ホテル：法第2条第4項第3号に規定する専ら異性を同伴する客の宿泊の用に供する施設。

(3) 建築：建築基準法に規定する建築、大規模の修繕および大規模の模様替え並びに遊技場またはホテルへの用途の変更。

(4) 建築主：遊技場およびホテルの建築または営業をしようとする者。

条例の特色

条例では、建築確認申請を提出する前に市長の同意を得なければならないものとし、遊技場については住居系の区域を、ホテルについては商業地域を除くすべての区域を全面禁止区域とするほか、指定文化財や文化施設などからの距離制限を設けている。禁止区域でない区域では、構造、設備等の基準を設けている。また、市長の同意を得ずに建築確認申請を提出した者などに対し、建築の中止を命ずることができるなどとしている。

■市長の同意

ア．建築主は、遊技場またはホテルを建築するに当たっては、建築確認の申請書を提出する前まで、または遊技場もしくはホテルへの用途の変更をする前までに、市長の同意を得なければならない。

イ．市長は、建築主が建築物の禁止区域において建築をしようとする場合、または建築物が構造、設備等の基準に適合しない場合には、同意をしない。

■建築物の禁止区域

□遊技場の場合

(1) 都市計画法に規定する第1種住居専用地域、第2種住居専用地域および住居地域。

(2) 都市計画法に規定する近隣商業地域のうち、第1種住居専用地域または第2種住居専用地域に接している区域であって、当該第1種住居専用地域または第2種住居専用地域から50m以内の区域。

(3) 都市計画法に規定する市街化調整区域(規則で定める指定道路から30m以内において、都市計画法第43条第1項第6号イおよびロに該当する土地を除く)。

(4) 次に掲げる施設の敷地(これらの用に供するものと決定した土地を含む。以下同じ)の周囲から100m以内の区域。

(ア)学校
(イ)図書館
(ウ)保育所
(エ)病院または有床診療所

ただし、商業地域では、ぱちんこ屋等にあっては、(ア)、(イ)、(ウ)に掲げる施設の敷地の周囲から70m以内、(エ)に掲げる施設の敷地の周囲から50m以内とし、ゲームセンターにあっては(ア)、(イ)、(ウ)に掲げる施設の敷地の周囲から50m以内、(エ)に掲げる施設の敷地の周囲から30m以内の区域。

(5) 次に掲げる施設の敷地の周囲から50m以内の区域(商業地域は除く)。

(ア)指定文化財
(イ)博物館
(ウ)公民館
(エ)都市計画公園
(オ)児童福祉施設(保育所を除く)
(カ)その他、規則で定める文化施設(別表第1参照)

別表第1

施設の名称
川西市文化会館
川西市郷土館
川西市総合センター
川西市女性センター

□ホテルの場合

(1) 商業地域を除くすべての区域。

(2) 次に掲げる施設の敷地の周囲から200m以内の区域。

(ア)一団地の官公庁施設
(イ)学校
(ウ)図書館
(エ)児童福祉施設
(オ)病院または有床診療所
(カ)博物館または博物館に相当する施設
(キ)公民館
(ク)スポーツ施設またはこれに類する施設で、国または地方公共団体が設置するスポーツ施設
(ケ)その他、規則で定める施設

(3) 次に掲げる施設の敷地の周囲から50m以内の区域。

(ア)指定文化財
(イ)都市計画公園
(ウ)その他、規則で定める文化施設(別表第1参照)

■構造、設備等の基準

□遊技場の場合

建築主は、遊技場の構造、設備等を次に掲げる基準に適合させなければならない。

(1) 地域周辺の環境を阻害することのない意匠、形態および屋外照明であること。

(2) 来客用出入口は、特に防音に配慮した構造とすること。

(3) 規則で定める植樹をすること。

(4) 規則で定める規模の来客用自動車および自転車等の駐車場を設けること(別表第2参照)。

別表第2

1．ぱちんこ屋等に係る駐車場の規模

用途地域等	自動車駐車場	自転車等駐車場
準工業地域および工業地域	ぱちんこ等台数の4割以上の駐車台数	ぱちんこ等台数の3割以上の駐車台数
市街化調整区域	ぱちんこ等台数の6割以上の駐車台数	ぱちんこ等台数の3割以上の駐車台数

2．ゲームセンターに係る駐車場の規模

用途地域等	自動車駐車場	自転車等駐車場
準工業地域および工業地域	ゲーム機台数の1割以上の駐車台数	ゲーム機台数の6割以上の駐車台数
市街化調整区域	ゲーム機台数の2割以上の駐車台数	ゲーム機台数の6割以上の駐車台数

□ホテルの場合

地域周辺の環境を阻害することのない意匠、形態および屋外照明であること。

■建築工事完了の承認

同意を得た建築主は、建築の工事が完了したときは、速やかに工事完了の届けを市長に提出し、承認を得なければならない。

■中止命令等

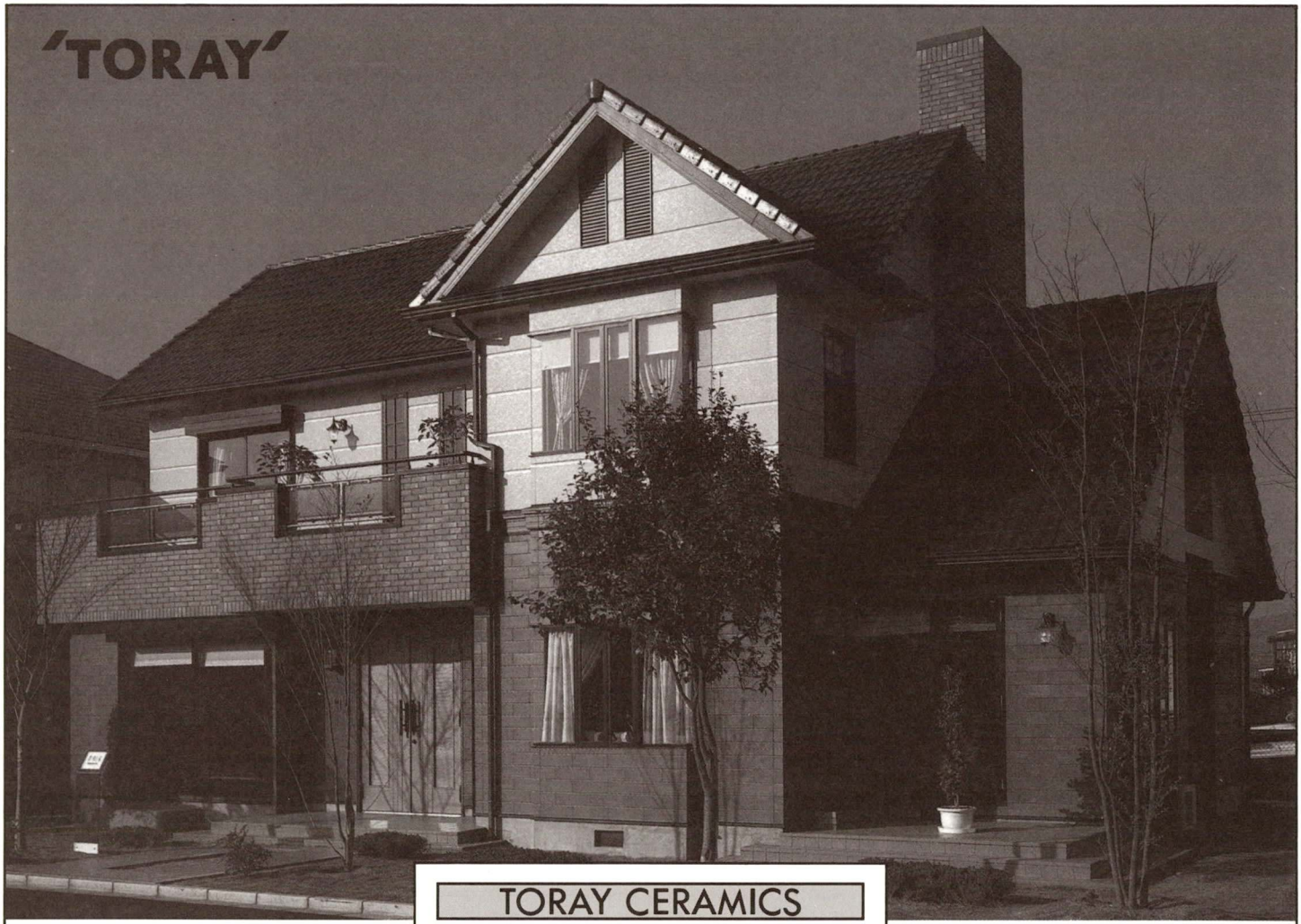
ア．市長は、市長の同意を得ずに、建築確認申請書を提出した者または遊技場もしくはホテルへの用途の変更をする者に対し、建築の中止を命ずることができる。

イ．市長は、建築物がこの条例およびこの条例に基づく規則の規定に違反していると認める場合においては、建築主に対し、原状回復その他の是正措置を命ずることができる。

■公表

市長は、前条の規定による命令を受けた建築主がその命令に従わない場合において、必要があると認めるときは、その旨を公表することができる。

(川西市都市住宅部環境保全課主査　杢田　功)



協力：井関建設㈱ 鴨川展示場モデルハウス(愛媛県松山市)

TORAY CERAMICS

大型セラミック外装材 パリオット

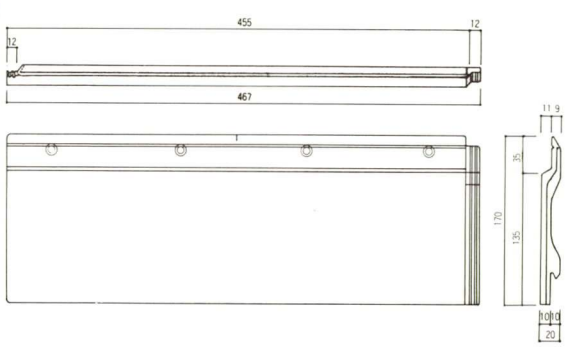
様々なディテールを美しく演出する。大型セラミック外装材「パリオット」。

特長
- ◉高温で焼成した軽量・大型の高級感あふれる住宅用タイルです。
- ◉乾式工法で、下地モルタル不要のノーシーリング工法です。木造住宅に簡単に施工できます。
- ◉パリオット施釉タイプ6色。イメージにあわせた色彩演出が可能です。

規格 製品寸法 467×170㎜／働き寸法 456×142㎜／重量 約1600g/枚

お問い合わせ先 **東レ株式会社 ACE企画推進部**
ACE製品グループ
〒103 東京都中央区日本橋室町2-2-1 TEL 03-3245-5897 FAX 03-3245-5935

■寸法図



■東レ「パリオット」



大型セラミック外装材　ニューセラミックス新建材

パリオット・Gセラミック

東レ株式会社
ACE企画推進部
東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 〒103
TEL：03－3245－5897(直通)　FAX：03－3245－5935

東レは45二丁タイルの生産販売に始まり、外装・内装・床タイルの販売を幅広くしている。一方、タイルそのものの素材、形状、焼成方法に新技術を加味したり、釉薬の研究により現代に適合した表面意匠、色彩を持つタイルの開発をしている。特に、タイルの中でもユニークな特性のあるものに注目し、低層木造住宅には大型セラミック外装材「パリオット」、中高層ビル住宅には大型の「Gセラミック」を開発し販売している。東レは時代の要請にもとづき、多種多様のタイルを手がけている。

大型セラミック外装材「パリオット」

外装材には、風雨や火災から建物を守り、その美しさを保つ高性能が求められる。「パリオット」は、最新鋭の成型マシーンと高温焼成技術を駆使して生まれた、軽量大型セラミック外装材です。

1．商品の特徴

(1)高温で焼成した軽量で大型セラミックス

清潔感があり、色褪せをしない高性能セラミックス外装材。耐久性・耐候性・耐汚染性に優れる。

(2)乾式工法

セメント、砂、水等を使用せず、施工中に周囲を汚さない。

(3)パッキング付ビス止め工法

下地にビスで止めるだけで簡単に早い施工ができる。ひび割れ、剥離のおそれのある下地モルタル不要。専門的・熟練的技能も不要。養生期間も要らず。

(4)工期の短縮と施工の省力化

軽量で寸法精度が高く、現場での切断加工、穴開け加工が容易。

(5)シーリング不要

上下、左右の合決りをもつ特殊形状により「パリオット」目地部は雨水が入らず。そのためシーリングは不要。

(6)防火構造対応

防火構造が必要な場所には、当社選定の防火サイディングの下地材の使用で対応。

2．施工計画上の留意事項

(1)下地版を千鳥張りで横張りし、不陸を2㎜以内にする。

(2)柱・間柱・胴縁の外側面の凹凸をなくす。

(3)トルク調整（約10～15kg･cm）したドリルドライバーでビス止めする。

(4)壁面寸法やサッシ位置に対して割り付けを検討し、切物やロスがないよう軒天部、笠木部、土台、水切り、サッシ等の位置、寸法、納まりを配慮。

3．今後の取り組み

(1)カラーバリエーションとして釉薬（うわぐすり）を施し、艶を出した施釉タイプの6種類が標準色。自然な質感と優美な色調をもつ無釉練込タイプの6種類も近日発売予定。

(2)木造から鉄骨造、RC造対応の工法の開発。

ニュー･セラミックス新建材「Gセラミック」

「Gセラミック」は、従来の陶磁器の結合組織と全く異なる結晶構造をもち、薄厚で、大型、しかも靱性と機械加工性を合わせもつニューセラミックである。

また、「Gセラミック」は、他素材と複合化、大型化することで目地部を少なくし、中高層ビル向けに開発販売している。

1．商品特徴

(1)不燃・無煙性・1200℃の高温で焼結された完全無機質の不燃材。

(2)耐熱性、1000℃の高温で変形せず、さらに曲げ強度300kg/㎠という高級耐火物なみの強度を維持。

(3)非帯電性、静電気の発生がなく、汚れのつきにくい高いメンテナンスフリー性を有している。

(4)耐汚染性・耐薬品性に秀れる。

2．取付工法

(1)単板接着工法

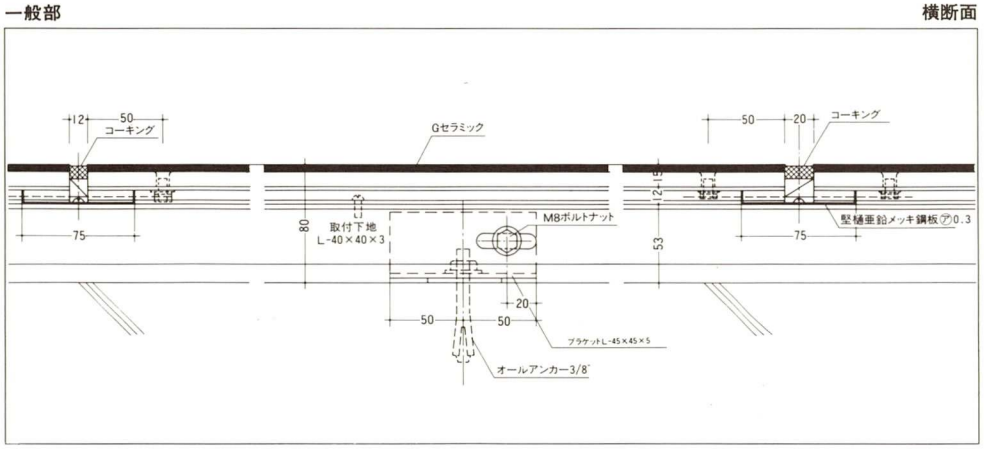
(2)パネル工法

(3)カーテンウォールはめ込み工法

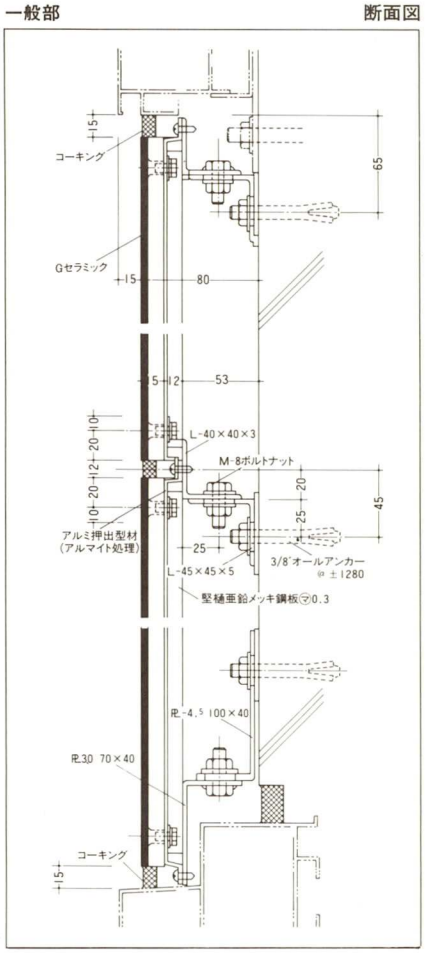
(4)PC打込み工法

あらゆる建築物の外壁・内装に使える工法を用意している。

一般部　横断面



一般部　断面図



（米川清水／建材委員）

JIAの第1回関西建築家大賞は出江寛氏

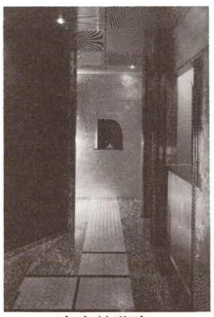
㈳新日本建築家協会（略称JIA）近畿支部の第1回関西建築家大賞は、出江寛氏が受賞した。

JIA近畿支部地域内に一定期間に完成した建物3点を対象に、その一連の力量を顕彰しようとする関西建築家大賞は、今年2月28日に応募を締め切り、28人の応募者の中から審査（審査員：川崎清京都大学教授）の結果、東京竹葉亭、基督兄弟団西宮教会、逆瀬台の家に見られる「現代的建築材料と構法を用いて伝統的な精神と現代的造形感覚の融合を共通の主題とし、格調高い完成の域に達した」（川崎審査員）出江寛氏に決定した。

表彰式は、6月5日午後3時から綿業会館で行われた。



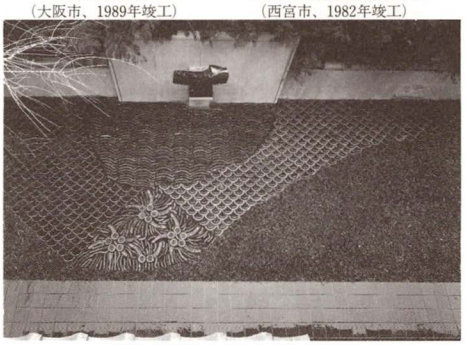
出江寛氏
1931年生まれ。
出江寛建築事務所主宰。



東京竹葉亭
（大阪市、1989年竣工）



基督兄弟団西宮教会
（西宮市、1982年竣工）



逆瀬台の家（宝塚市、1982年竣工）

「都市環境デザインフォーラム・関西」開催

都市環境デザインに携わる人々のネットワークにより自らの都市環境形成に関する資質を向上させ、総合的な社会システムの構築を進めることを目的に、都市環境デザイン会議が昨年5月に結成されたが、その1周年を記念して同関西ブロックでは、「都市環境デザインフォーラム・関西」を開催する。

会　期　1992年 **7** 月 **10** 日㈮～**12** 日㈰
場　所　大阪ビジネスパーク・NEC—C&Cプラザ（大阪市中央区城見）

■プロジェクト展示（NEC—C＆Cプラザ内）

都市環境デザイン会議・会員のプロジェクトおよび調査計画の内容を表現したパネル、模型、ヴィデオ、報告書を展示する。—入場無料—

■都市環境デザインセミナー（NEC—C＆Cプラザ）

●記念講演　石原正氏（鳥瞰図絵師）
●基調レクチャー　榊原和彦氏（大阪産業大学）
●セミナーI：調査・理論編
中瀬勲氏（兵庫県）、山崎正史氏（京都大学）、丸茂弘幸氏（関西大学）
●セミナーII：プロジェクト編
田畑修氏（大阪芸術大学）、加藤春樹氏（神戸市）、加藤晃規氏（大阪大学）
●全体講評　材野博司氏（京都工芸繊維大学）

日　時　1992年 **7** 月 **10** 日（金）10：00～17：30
定　員　100名（先着順）
参加費　15,000円（ただし当会議会員は無料）
申込先　都市環境デザイン会議・関西ブロック（大阪市北区菅原町2—5㈱ヘッズ・永井）TEL06—364—9369

「第5回国際デザイン・キャンプ'92—松本」を8月に

「まち・文化・デザイン＝いま都市が光るとき＝」をメインテーマに、一極集中と多極分散、地方都市の開発と自然環境の保全、街づくりにおける個性化と普遍性のバランスなど多くの課題を抱える今、「国際デザイン・キャンプ'92」が開かれる。

参加規定　本会議500名、一般参加料12,000円
申込方法　申込締切1992年7月10日（先着順）。申込先は主催の㈱国際デザイン交流協会または松本デザイン交流会議へ。

■8月1日（土） 13時～20時　ホテル・ブエナビスタ
基調講演「世界に学ぶ都市と文化」黒川紀章氏
事例発表「小布施のまちづくり」長野県小布施町
市村次夫氏（小布施堂社長）
「悠木の里づくり」熊本県小国町
宮崎暢俊氏（小国町長）
「世界の音楽のまち」イタリア
ニコロシ・サルバトーレ氏（作曲家・イタリア）
「自然と対峙する北国の家具のまち」旭川市
渋谷邦雄氏（北海道東海大学教授）

■8月2日（日） 8時～15時30分
●フィールドワーク（定員100名）
松本の文化遺産を探訪。アドバイザー：池田三四郎氏（松本民芸生活館長）、降幡廣信氏（建築家）
●分科会I（鼎談）「江戸の文化に学ぶ」
榎本了壱氏（クリエイティブ・ディレクター）、神田陽子氏（講談師）、杉浦日向子氏（漫画家）
●分科会II（鼎談）「文明開化から平成ロマンへ」
村松貞次郎氏（東大名誉教授）、宮本忠長氏（建築家）、佐藤玲子氏（松本市史編集委員）
●記念講演「伝統文化と生活」千宗守氏（茶道家）

第4回「タキロン・国際デザインコンペティション'92」公募

今回のテーマは「風の道・水の道」で、設計事務所や建設会社の設計部、建築系の学生などを対象に、海外からも公募する。

主　催　タキロン㈱
課　題　「風の道・水の道」
審査員　毛綱毅曠氏（建築家）
賞　金　1等1名100万円、2等1名50万円、3等5名各10万円、入選10名各5万円
応　募　A1ケント紙あるいはそれに類するもの1枚。写真、説明文、表現方法は自由。
締　切　1992年 **10** 月 **30** 日（金）
問合先　タキロン㈱タキロンデザインコンペティション事務局（TEL03—3278—5520）

「第6回国際デザイン・コンペティション」、テーマは「風」

㈱国際デザイン交流協会（佐治敬三会長）は、標記コンペへの応募作品の受け付けを開始した。

1983年に「集」をテーマにスタートしたこのコンペティションは隔年に開催され、世界のあらゆる分野のデザイナーが同一テーマで競ってきた。

今回のテーマは「風」。“美しき環境”を求めて、新しい“風のデザイン”を求めるものである。

日　程　1992年 **7** 月 **31** 日　質問締切
〃　**12** 月 **25** 日　応募作品受付締切
（第1次審査は3月1～3日、最終審査は7月26日～28日、10月表彰・展示）
応募資格　全世界のあらゆる分野のデザイナー、技術者、学生など。グループの応募可。
応募作品　未発表作品に限る。1人あるいは1グループの複数応募可。使用言語は日本語と英語。
賞　大賞・内閣総理大臣賞（賞金35,000米ドル）1点をはじめ入賞は計8点。
審査員　第1次審査（喜多俊之ほか国内3名＋Angelo Cortesi）、最終審査（喜多俊之＋Cortesi, Philippe Gentil, Richard Linington＋日本の建築家）
資料請求　250円分の切手を同封して、下記事務局へ応募要項を請求すること。
㈱国際デザイン交流協会（大阪市北区梅田1-3-1-800　〒530　TEL06—346—2611）

「土屋壽満さんの二十五周年を祝う会」

光のアーチストして日本万国博覧会をはじめ、施設の空間映像絵画を制作し続けている土屋壽満（スマ・ブライト・アート研究所主宰）さんの、事務所設立25周年を祝う会が芦原義信氏らを発起人代表に、大阪のホテルニューオータニ大阪・鳳凰の間で、7月7日（火）午後6時から開かれる。

祝賀会会場には、土屋さんの創作の軌跡を示すような光のアート作品と200インチのハイビジョンによる「虹の王国」なども展示される。

ディラー＋スコフィディオ建築講演会＆作品展

――GALLERY・MA 運営委員会

このほど、大阪の朝日生命ホール（大阪市中央区）で、「ディラー＋スコフィディオ建築講演会 Flesh」（主催・GALLERY・MA 運営委員会）と東京で同講演会と作品展がそれぞれ開催された。

この建築講演会は、エリザベス・ディラー氏（プリンストン大学助教授）とリカルド・スコフィディオ（クーパー・ユニオン教授）の2人が共同で、建築、パーフォーマンス、インスタレーション、ビジュアルアートといった分野において活躍している内容を講演とパーフォーマンスによって表現しようとする試みである。

彼らは、とくにニューヨークという厳しい建築風土の中で、創作活動を行い、建築を〝プログラム〟、〝スペース〟、〝フォーム〟の3つの間の複雑な関係を探る手段としてとらえ、影響を受けたマルセル・デュシャンを彷彿とさせるラジカルなインスターレションで表現し、注目を集めている。

これらの実験的な試みは、バケーションハウスとしてつくられた個人住宅「スローハウス」において実践化された。これは、今日の視覚による情報の捉え方を提起したもので、ディラー氏は講演でも、ここに至る過程をさまざまなスライドを使い、あたかも詩を朗読するような語り口調で説明した。その間、照明を消したステージでスコフィディオ氏が螢光チョークでスケッチを描きユニークな雰囲気を醸しだしていた。



ディラー＋スコフィディオ作品展会場

大阪では、東京に先がけて講演会が催されたが、東京では、講演会と GALLERY・MA（港区南青山）で、2人の作品展が5月20日から6月17日まで開催された。

ディラー＋スコフィディオ両氏の主なプロジェクト、作品展

1986年　都会・田園・田舎風の窓：ミラノ・トリエンナーレに出展

1987年　The Rotary Notary and His Hot Plate：マルセル・デュシャン生誕百年祭としてパフォーマンスの舞台装置と衣装を担当（ニューヨーク）
The withDrawing room：住宅インテリアにおけるインスタレーション（サンフランシスコ）

1989年　パラサイト：ニューヨーク近代美術館

建築技術◉5月増刊号

新刊 好評発売中

建物の
リニューアル
手法のすべて

◆A4判・248頁
◆定価3,800円(税込)

1. 歴史的建造物の保存と再利用
計画・設計手法／事例～リニューアル10年を振り返って
2. リニューアルのソフト
ー建物用途別にー
オフィス／集合住宅／商業施設／ホテル／用途変更・転用
3. リニューアルのハード
ーその要素技術ー
遮音・音響調整／暖冷房・空調設備／内装・設備／バリアフリー化／OA化・情報化対応／外装のリニューアル／屋上のリニューアル

月刊 建築技術 7月号
6月18日全国書店一斉発売
税込定価1,350円

●特集●
都市型中小ビルの計画とデザイン

都市型中小ビルの現状と動向を建物用途別に、①設計コンセプト②立地条件③平面計画④構造・設備計画⑤ディテール・意匠などのポイントをまとめながら現況を再検証します。

フレックス住宅の開発研究
【連載】
現代建築紀行 フォーシーズンズホテル椿山荘
●構造計算の実務④
～知っておきたい根拠と常識～
●地下水のはなし⑭
地下水の水質と注意点

建築技術の単行本
新シリーズがデビュー
エレメントブックス
技術の勉強が
いつの間にか楽しくなる
ユニークな工夫と凝らした
入門シリーズ

新刊 好評発売中
幅広い観点から
テーマごとに
基礎知識を解説する
実力養成講座

建築基礎 plus
土を掘る技術と固める技術
田中修身 監修
A5判・312頁　定価3,500円(税込)
1. まず最初に知ってもらいたいこと
2. 地盤(土)―その性質を決める成長の過程
3. 地盤性状―どのように知ることができるのか
4. 直接基礎―直接よい地盤にどっしりと座る
5. 杭基礎―地中に足を伸ばしてしっかり建つ
6. 根切り・山留め―基礎のための掘る技術
7. 地盤改良―軟弱地盤の体質改善

㈱建築技術　販売直通☎03(5371)3811
〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2 福西ビル

建築の眼



コモンシティ星田Ａ２ゾーン住宅
設計　坂本一成

きたうら
北浦かほる
大阪市立大学生活科学部
生活環境学科助教授

しまざき　つとむ
島崎　勉
愛知県建築部長

なかがわよういち
中川洋一
安井建築設計事務所
設計部長

こばやししろう
小林志朗
フジタ大阪支店近畿圏
設計部長

契約と信頼関係

バブルがはじけたせいか建築工事にかかわる紛争が多くなったように思う。ここ何年か建築紛争の調停のお手伝いをしているが、紛争の原因で最も多いのが「請負代金未払い」と、「粗雑工事による瑕疵」の２つに代表される。いずれも具体的にはほとんどが設計変更や追加工事、遅滞工事、クレーム工事などにからむトラブルが引き金になっている。建築紛争が起こりやすい請負契約は補修や改装工事で、もともと契約内容を把握できる様な設計図書がなかったり、あっても不備で積算の根拠が数量的に明示されておらず一式の見積りで契約されている場合が多い。最も厄介なのが現場での度重なる設計変更を繰り返したもので、直接金銭に絡んでくるため記録確認のない変更が後になって双方に大きな思惑の違いを生んでいる。それを客観的に調停の場で確認するのはさらに難しい作業となってくる。また瑕庇の問題としてはずさんな工事や施工ミスによる瑕疵と、設計・デザイン面でのレベルの低さによる瑕疵があり、工事費や業者のレベルなどを含めて考えれば、どこまでを瑕疵と言えるのかの公正な判断も難しくその根拠もあいまいになってくる。公正な判断の求められる場での調停の責任の重大さを感じる。
日本における建築請負契約はまだまだ暗黙の信頼関係に頼り過ぎている状況が多いことが災いしていると言えるのではないだろうか。　（K.K）

生長と寿命

公園やゴルフ場等で見られる芝生。丹念に手入れされた一面の緑は美しく感じる。我家もと思うが、取っても取っても出てくる雑草に負けてしまう。管理された美しい状態になるためには、それに到る時間とエネルギーは勿論だが、植物の生長という生命そのものが持っている力があるからだと思う。
ところが、一般の製品は生長することがない。自動車も家電も、ただ古びるだけである。建物もそうだろうか。竣工してからは老化するだけと割り切ってしまうのは残念である。生長する建物はないものか。例えば増築。よく家族が少ない時は最小限のスペースを確保し、その後、建て増したら、旅館などでは廊下で結ばれた新館の例が考えられる。しかし、生命のように目から生長し、時が経る程美しくなるものではない。これに対して、老化の方は明白である。要するに時間とともに、機能が落ちてくるのである。その保持には、芝生の管理以上の大変な苦労がいる。
時間が過ぎ、耐えられなくなって建替ということになるが、その時を出発点と考えたらどうだろうか。建物の竣工までが生長だとすれば、その過程を楽しめるのが、建築界だけに限られるのは、もったいないことである。　（T.S）

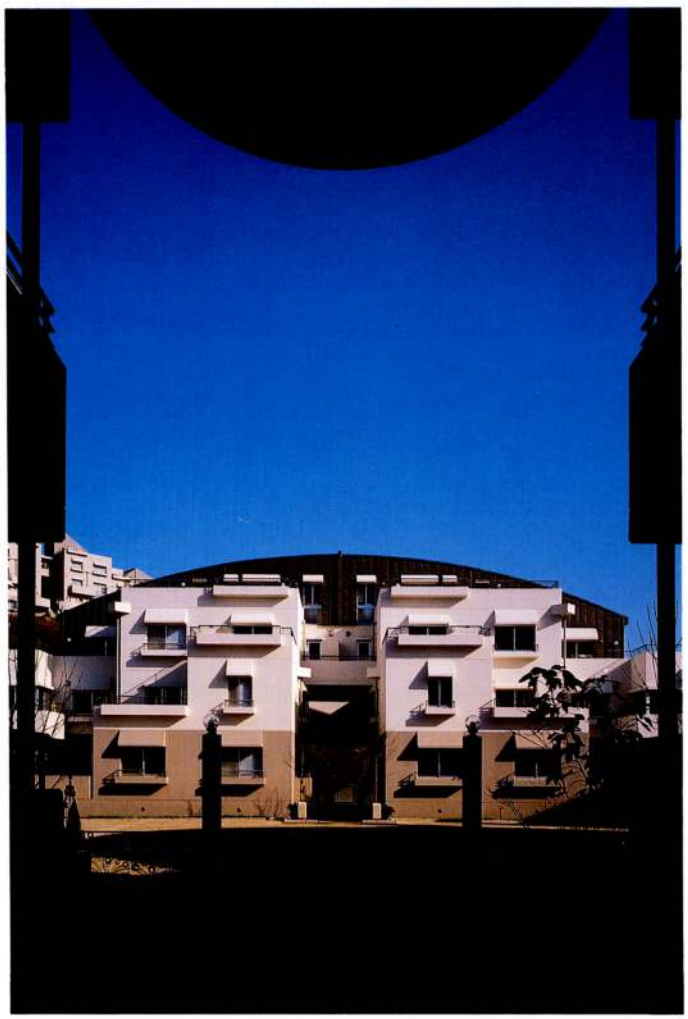
自然の恵み

はからずも返還20周年記念日に同級生と沖縄を訪れた。
美しい海底を見ようと期待して、足ヒレやシュノーケルを持参したが、実際には潜水船で35mまで潜り、珊瑚礁の墓場を見ることとなった。沖縄本島の海岸線の99%の珊瑚礁が軍事演習や返還以後の開発等によって死滅したとのことである。自然保護運動に参加している友人は、25年前に海面から30m下の美しい海底を泳ぐ魚の口元に釣糸を垂らして釣りを楽しんだことを懐かしみ、現状を嘆いた。
建設行為が自然破壊につながるケースは多い。自然の恵みを大切にする配慮が建設行為に優先されるべきであろう。
自然保護についての教育が建築教育の前段で必要であることを改めて思う。
そしてその教育のありようは、日常的に自然の恵みにふれ、それを感じる感性を育むことから始まる。建築家教育は、長い時間のかかるものであり、学校や職場での教育に先行して、親が子に与える影響と同じ時間と手間をかけて自然になされることが理想であろう。
とはいっても、我々は今、職場にあって、建築をつくると同時にいい建築家の育つ環境づくりにいっそうの努力を続けねばならないと思う。　（Y.N）

建築と外構の調和

関西に住むようになって数年だが、その間にあちらこちらと神社仏閣を見て回っている。他の地方でもチャンスはあるが、特に関西では近くにあって楽しみが多い。いつも感心するのが、建築と庭園の調和のとれた雰囲気である。そこには長い歴史と文化を育んで来たまさしく日本の美を感じさせるものがある。
これだけのすばらしい教材が手近にあって、さて都会の建築を見ると、外構デザインがどうもうなづけないことが多い。建築にはずいぶんと力が入っているものが多いのだが、その周辺との調和・外構・緑化などにもう少し力を入れて欲しい気がする。いわゆる日本庭園の良さを引き出しているゆえんは加工された自然だと思う。自然は放置すれば少しも美しくない。やはり加工し、維持する努力が必要であって、都会の中でこれを実現していけばと思う。幸い最近は総合設計など建築物の周囲を加工できるスペースも増えて来ている。建築家がそこに努力をすることによって、都会の中にも加工された自然ができるのではないか。そしてオーナーの方々には維持する努力をお願いしたい。　（S.K）

街創り、住まい創り



住宅・都市整備公団関西支社10周年



街・オアシス

淀川リバーサイドタウン　（大阪まちなみ賞・特定住宅市街地総合整備促進事業）





アートフルヴィレッジ

リバーサイドさぎす



ヨーロピアンストリート

シティハイツ逆瀬川　（都市再開発事業）



海架ける虹

武庫川、武庫川第2



汀の歌

高見フローラルタウン　（特定住宅市街地総合整備促進事業）



アーバン・ユニット

森之宮スカイガーデン　（民賃・大阪まちなみ賞・大阪市ハウジングデザイン賞）



ディベロプメント

ユーコート　（グループ分譲）



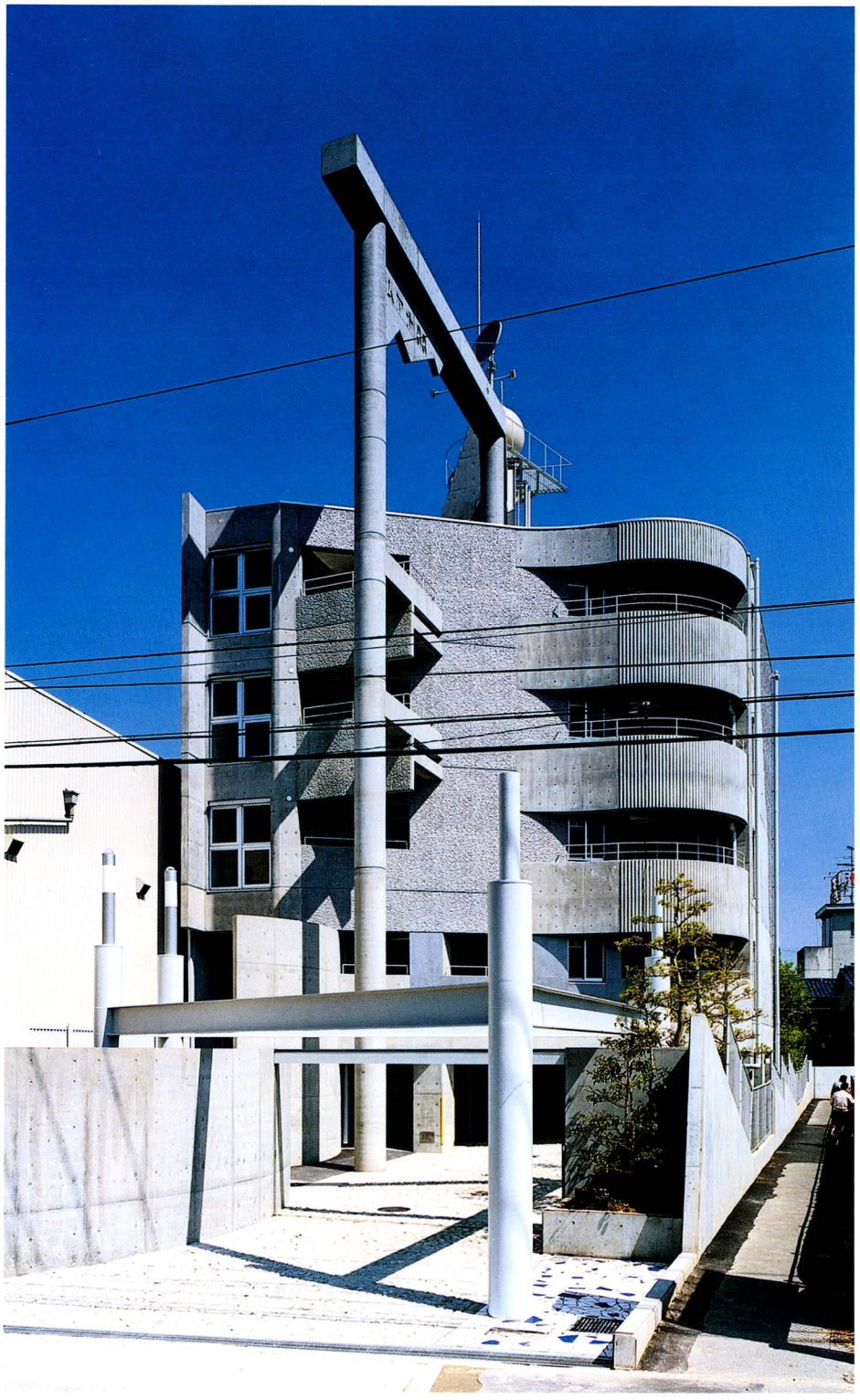
オベリスク

桜宮リバーシティ・ウエスト　（特定住宅市街地総合整備促進事業）



夏待つ水音

リビエール関目　（建て替え事業）



オブジェ

ムアナ88　（民賃・大阪市ハウジングデザイン賞）



光・露路

ろじこおと　（グループ分譲）



和

ガーデンハウス高槻・阿武山



暖・団・らん

ガーデンハウス箕面おのはら



まる

アミティ学園西町



さんかく

アクティ学園西町



メルヘン通り

高槻・阿武山一番街　（大阪まちなみ賞）







春の坂

千里緑丘　（大阪まちなみ賞・緑の景観賞）



緑のシンフォニー

泉北城山台2丁



風・輪・緑

ガーデンハウス西神狩場台



街・ヴィジョン

ガーデンハウスいぶき野



みちひろば

シテ・エスポアール宇治黄檗台　（ホープ計画モデル地区）



天空ラビリンス

グラディーナ学園前　（奈良市建築文化賞）



イントロダクション

コンフォール学園緑が丘



遊子・日だまり

高の原駅西第2



青丹よし

奈良青山　（奈良市建築文化賞）



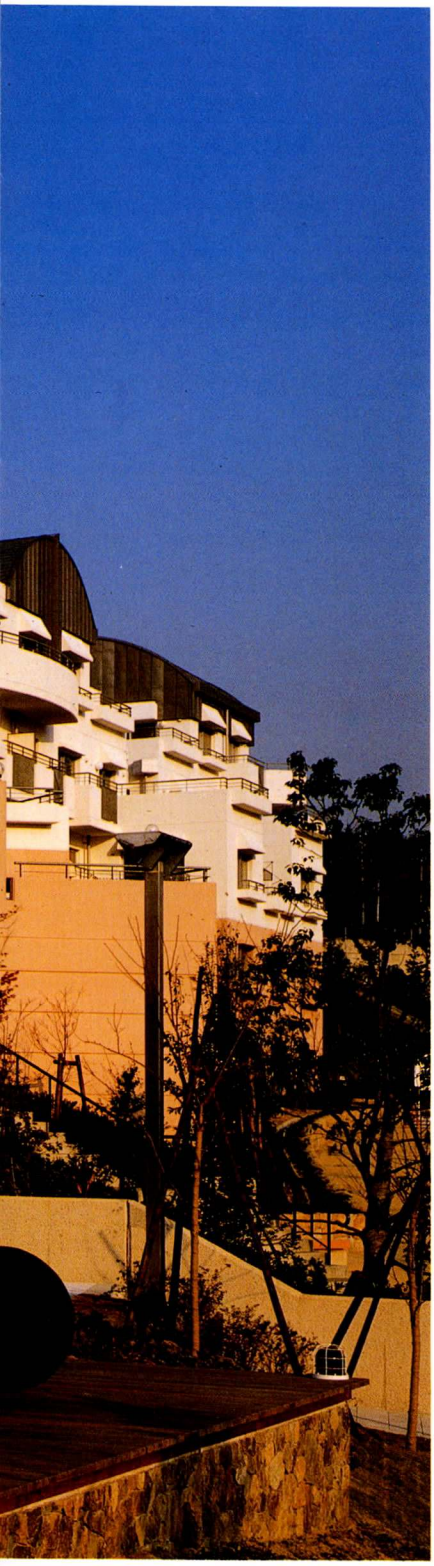
こどもの領域

ルミナス箕面の森



丘・イマージュ

シェラビア東山台





掲載団地一覧　　掲載順

団地名	住所	最寄駅
淀川リバーサイドタウン	大阪市北区長柄東、国分寺	地下鉄天神橋筋六丁目駅
リバーサイドさぎす	大阪市福島区鷺洲６－１	阪神野田駅よりバス
シティハイツ逆瀬川	宝塚市逆瀬川１	阪急逆瀬川駅
武庫川、武庫川第２	西宮市高須町１	阪神甲子園駅よりバス
高見フローラルタウン	大阪市此花区高見１	阪神淀川駅
森之宮スカイガーデン	大阪市東成区中道	地下鉄森之宮駅
ユーコート	京都市西京区大枝福西町４－１－４	阪急桂駅よりバス
桜宮リバーシティ・ウエスト	大阪市都島区中野町5-13	ＪＲ桜宮駅
リビエール関目	大阪市城東区古市２－１	京阪関目駅
ムアナ88	大阪市平野区長吉出戸	地下鉄出戸駅
ろじこおと	大阪市阿倍野区阪南町１-20	地下鉄阿倍野駅
ガーデンハウス高槻・阿武山	高槻市上土室３、奈佐原１	ＪＲ摂津富田駅よりバス
ガーデンハウス箕面おのはら	箕面市小野原６	北大阪急行千里中央駅よりバス
アミティ学園西町	神戸市西区学園西町７－３	神戸市地下鉄学園都市駅
アクティ学園西町	神戸市西区学園西町７－１	神戸市地下鉄学園都市駅
高槻・阿武山一番街	高槻市上土室３-15	ＪＲ摂津富田駅よりバス
千里緑丘	豊中市緑丘５	北大阪急行千里中央駅よりバス
泉北城山台２丁	堺市城山台２、３	泉北高速光明池駅
ガーデンハウス西神狩場台	神戸市西区狩場台１	神戸市地下鉄学園都市駅よりバス
ガーデンハウスいぶき野	和泉市いぶき野１-15	泉北高速光明池駅よりバス
シテ・エスポアール宇治黄檗台	宇治市羽戸山２～４	京阪三室戸駅よりバス
グラディーナ学園前	奈良市学園北２-12	近鉄学園前駅
コンフォール学園緑が丘	神戸市垂水区小束山１	神戸市地下鉄学園都市駅よりバス
高の原駅西第２	京都府相楽郡木津町大字相楽	近鉄高の原駅
奈良青山	奈良市青山３－１	近鉄奈良駅よりバス
ルミナス箕面の森	箕面市如意谷４－６	北大阪急行千里中央駅よりバス
シェラビア東山台	西宮市東山台１、２	ＪＲ西宮名塩駅

撮　影　　50音順

織田　　努（織田努写真事務所）
河合　止揚
島　　修一（スタジオＡ・Ｔ）
名執　一雄（ナトリ光房）
野田　克昌（住宅問題研究会）
畑本　　卓（カメラの畑本）
松村　芳治

座談会

街創り、住まい創り、コミュニティ創り

出席者



延藤安弘
熊本大学工学部建築学科教授・工学博士



伊東　公
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第一部建築課長



増田直隆
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第二部建築課長



川村眞次
住宅・都市整備公団関西支社
都市再開発部市街地設計課長

司会



宇治原邦浩
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第一部事業開発課長
（現・都市再開発部長）

と　き　平成4年3月13日（金）17：00〜19：00
ところ　日本建築協会　会議室

公団の住宅建設の歴史をふりかえる

宇治原　住宅・都市整備公団が昭和56年10月1日に設立されまして、ちょうど10年ということで、これを記念して、これまでの公団の集合住宅の歴史を振り返って、これからの公団の集合住宅はどうあるべきか、お話を伺っていきたいと考えています。

延藤先生には、大変お忙しいところをおいでいただきまして、どうも有り難うございます。

まず、公団の住宅建設の歴史ですが、これは大きく4つの時期に分かれると思います。最初の第1期、昭和30年代はまだ我が国のRC造の集合住宅というのが非常になじみの薄い時期でございまして、言ってみれば公団がパイオニア的に集合住宅の建設を行ってきた時期と言えるだろう思います。

食寝分離という住生活を実現させたダイニングキッチンとか、あるいはステンレス流し台、洋式トイレなどが導入され、我が国の住生活に洋式の合理的なスタイルを普及させたという上で大変大きな影響があったのではないかと思います。

第2期、昭和40年代は昭和30年代後半からの高度経済成長により人口の急激な大都市集中が起こった時期ですが、大都市地域での住宅不足は、より一層深刻な状態になって、公団の住宅建設も、大規模な団地開発によって大量に行うという時期でした。

このため公団では住宅の大量建設を効率的に進めるということから、昭和30年代後半から実施してきた標準設計とか、あるいは工業化を一層進めるとともに、面開発市街地住宅制度による高層の大規模団地をこの昭和40年代は次々と建設していったわけです。年間の発注戸数が、ピーク時には8万戸に達するという時期でもありました。

しかし、昭和40年代の終わりになりますと、これは昭和48年の住宅統計調査がよく引き合いに出されますが、住宅戸数が世帯数を上回るということになり、30年代、40年代と続いてきた住宅の量的不足が解消されて、国民の住要求は、質を求める方向へ転換するということになったわけです。

この住宅の需給動向の変化により公団では大量の空き家住宅を抱えることになり、いかにして需要を的確に把握して、これに対応した住宅を供給するのかが40年代の後半から50年代にかけて大変大きな公団の課題となったわけです。

第3期、昭和50年代は、それまでの20年間とは異なって、様々な事業手法とか建設手法を導入して、バラエティに富んだ住宅建設を行った時期でした。

そして昭和60年以降になりますと、高・遠・狭と言われた未入居問題が一応解決いたしまして、きょうの話のなかで一つの大きなテーマになろうかと思いますが、国民生活の新しいライフスタイルに対応した公団住宅建設をいま進めているわけですが、これを第4期と考えます。

きょうは、第3期、昭和50年代以降の住宅建設の内容を振り返りながら話を進めていきたいと考えます。

その辺の内容について、最初に伊東さんから若干のコメントをいただきたいと思います。

伊　東　50年代からという話ですが、振り返って考えてみますと、40年代までは市街地住宅とか、団地のモニュメントとしての高層住宅を除けばほとんどが中層住宅を建設してきたわけです。

50年代からは多様な形態の住棟・配置手法と種々の制度による住宅の建設をするようになってきました。

例えば、設計手法ではタウンハウスとか計画的戸建とか歩車共存のボンエルフによる空間構成手法などです。

建物の形態では3階を1.5層ずつ使う準接地型の住棟。また、タウンハウスの構成要素としての2階建のテラスハウス、そして戸建まで、バリエーションが増えてきました。今や戸建から超高層までの建築形態がある訳です。計画的戸建というのは、コミュニティーの形成を考えて5～6戸で1つのコモンスペースを持つ、戸建住宅によるクラスターのことです。

制度面では、公団のコーポラティブハウスである「グループ分譲制度」とか、地主さんの土地に公団が住棟を建てて地主さんに分譲し、同時にそれを公団が一括して借り受ける「借受制度」。また、地主さんの土地を公団がお借りしてその上に公団の賃貸住宅を建設する「特借制度」がデビューしました。

住宅の供給方式としては、躯体だけを賃貸して内装は入居された方が自由に行うフリープラン賃貸。数種類の住戸プランの中からプランが選択できる、「ハウスプラン選択方式」また、ある程度の仕上げ・設備のグレードとか仕様のメニューが選択できる「メニュー方式」も考えました。

ともかく、これはどうか、あれはどうかと様々な需要に応えるべくいろいろと考えた時代でした。まあ40年代までを「量」の時代としますと、50年代は「質」の時代の第一歩という感じだったと思います

60年代に入りますと、「味」の時代に一歩踏み入れたという感じですけれども、いわゆる「ライフスタイルに対応する設計手法」の提案を始めたのです。本来は各人の希望をいれた注文住宅をつくるのが一番喜ばれるわけですが、公団のような事業主体の場合、それだけでは十分需要に応えきれないということもあって、そういう各人バラバラのライフスタイルをどのように集約化し、タイプ分けしてものをつくっていくかを研究した訳です。

また、設計上もそういうものに関連してフリースペースというような考え方の住宅とかプラスワン、フレックス住宅などをつくってきた。これがまさに60年代、「味」の時代始まりの状況だと思います。

延　藤　この30～40年住の質と環境の質という両面にわたって公団は一貫した都市集住のあり方を市民に向かって提起してきた。都市住宅づくりのハード、ソフトの成果というのは、それ相応のものがあると思うんですけれども、ちょっと気になったのは、先程からいわれているライフスタイルとか質とかいうのが、なんか住戸側に偏ったとらえられ方がされてるのではないか。

確かに昭和30年代初めの住戸の質というのは、あの時代の圧倒的住宅難を背景にして、2DKとか、ある標準的な定式化された間取り、それを時代とともに除々に面積を広げ、内部の間取りの質も高めていった。それをさらに今日居住者のニーズの多様化ということを背景にして、ライフスタイルに対応した住宅づくりを迎えているけれど、一方評価すべきポイントは、公団住宅は、住宅に住むという意義だけではなくて、環境に住むという意義も開いてきた歴史も持っているのではないかと思うんですね。

公団の団地計画のレイアウトでも公団技術者達の求める都市集住とは、家の中は狭いけれども、むしろそれを補って余りある共同の空間、住戸周り、住棟と住棟の隙間の空間、いわば住環境の質を高めることが、都市住宅の重要な要件ではないかと、そういう視点から関西発のコミュニティづくりの公団レイアウトって幾つかあると思うんです。

例えばNSペア（注1）なんかは、その最たるものではないかと思う。関西特有の長屋コミュニティの伝統を団地計画の中に適用した、日照条件とかいろんな理由でなくなっていきましたが、人と人との関係を空間の側から高めるという仕掛けとしては、関西支社は非常に独特の伝統を持っているのではないか。

具体例を挙げると、出来島団地のように全住棟がNSペアで全住棟間が緑化されてしまったという、面白い団地が生まれましたが、住棟周りのだれのものでもない、ややあいまいな空間を住み手たちが、何気なく、かつ、あるルールのもとに使いあえるコモン・スペースとして使いこなしてきた、初期のころから公団の関西支社は優れたプロジェクトを、その都度その都度打ってきていると思うんです。

そういうレイアウトの技法のある流れの中で見ると、近年すこし気掛かりなのは、質の時代と言ってるけれども、ほんとに質の時代なのかと、住戸内部の面積増あるいは間取りの工夫、設備系の技術の発達により水準が上がっている一方、地価が高くなり、密度が上がり、車が多くなって、環境を痛めつけながら団地をつくらざるを得ないという状態の中で、環境の質を引き上げるための努力も行われているが、環境に対してちょっと目を向けるのがおろそかになっているようなプロジェクトもないではない。と言えば、言い過ぎかもわからないけれど、公団の30年～40年間の歴史を、住戸の質と環境の質の両面を正当に評価する視点が、ライフスタイルというときに、住戸内ライフスタイルと、集まって住まうライフスタイルという、両面をまんべんなく見据えるような議論が要るんじゃないかという気がするんですね。

住戸内及び環境、両面にわたってバランスを持ったライフスタイルを構築するという点でグループ分譲、コーポラティブ住宅というのは非常に有効な手法であるというのが、この10年間検証されてきているんじゃないかと思います。

コーポラティブハウスに学ぶ

宇治原　私どもの経験としまして、市民の新しい住要求は、どういうものを求めるかということについて、いま公団ではライフスタイルのいろんな調査研究をやっていますが、そのベースになったのはやはりコーポラティブ、グループ分譲ということになろうかと思います。

例えば京都のユーコートは、公団の住宅計画の上では非常にショッキングなことだったろうと思うのです。

公団のこれからの新しい住宅供給のあり方として、また住宅計画



ユーコート（グループ分譲）1985年11月竣工

注1）NSペア：中層団地の配置計画手法のひとつで、アプローチが北入りと南入りの住棟をグルーピングした計画

論として、その辺のお話を伺えたらと思うんですが。

延　藤　公団の中でグループ分譲というのは、全国、特に関東圏に多いけれども、質的には関西のグループ分譲がやはり誇るべきものがあるんじゃないか。

類型化すると順番はともかく、郊外低層型の「あじろぎ横町」、街づくりの仕掛けとしてグループ分譲を活用しようという「名谷コープタウン」、郊外の非常に密度の高い中層としての「ユーコート」、あるいは市街地の中の再開発や長屋建て替えにモデル的提起をした「ろじこおと」、いずれにしても戸建てから市街地高密度ハウジングに至るまで、住宅のスタイルとしては一通りコーポラティブで、面白いプロジェクトを開いてきていると思うのです。

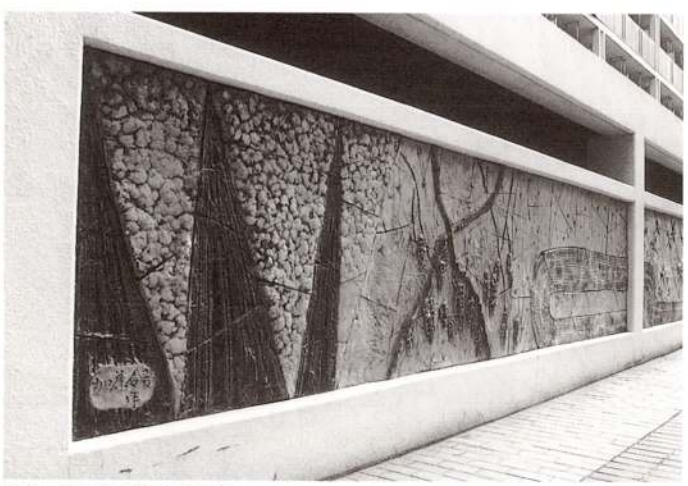
それぞれが固有のデザイン特性とか、あるいはプランニングの面白さがあるというハード面とあわせて、やはりコープだからソフトの面白さが当然つきまとっている。

その中で、私自身がとりわけ強くかかわったユーコートについて触れたい。ある意味ではいわば戦後住宅史というのは、人々のプライバシーを獲得する戦いの成果であったという面と、それからやはり共同して住まうということに目をひらかせるという、両面が時には拮抗し、ときにはバランスよく保ってきたんじゃないかと思う。全体にやはり住戸内プライバシーという個人の城、我が城を獲得し、我が家の質を高めるということに価値観が向かっている中で、コーポラティブというのは、スマートな個人主義は尊重しながらも同時に共同性ということについて、集まって住むということに対しても豊かさを求めるという、都市居住において、一見両立しにくいと思われていることを、バランスよく達成しつつある。いずれにしても、ライフスタイルというときに、結論めくけれど、スマートな個人主義と豊かな共同性を精妙に結び合うハードづくりとソフトなプロセスを、どのように公団側、プランナー側が仕掛けることができるかということが、大きなポイントになるんじゃないかと思いますね。

住宅の質について

宇治原　先生のお話の中で住戸の質と環境の質両面で公団は市民にずっと住宅供給を行ってきたが、現在どちらかといえば、質といえば住戸のことに公団の目が向いているんじゃないだろうかというご指摘がありましたが？

その点については、確かにライフスタイルのいろんな調査研究のなかでは、環境の問題も大事だよという話は出ているわけなんですが、ややもすれば現在の仕事の中でちょっと重点の置き方が違ってるなというところは、あるのかもしれません。



リバーサイドさぎすの陶壁

川　村　住宅づくりについては、公団が新しく提案したライフスタイル対応設計という手法によるトレンディーな住宅が人気を博しているため、住宅のことばかりに目がむいているように見られるのですが、私たちは従来から住環境に重点を置いて設計しているということを、説明しておきたいと思います。

私自身は「公団の住宅づくりは街づくりである」と思っています。街づくりという観点から住環境を見つめれば、屋外空間は重要で、いろいろな要素により構成する必要があります。例えば広場ですが、コミュニティの場として、お祭りの場として、また遊びの場や運動の場として是非設けたい空間です。広場以外には車が進入しない、人に安心な歩行者専用路やコミュニティ道路。それに緑の空間。なおかつ、そんな機能的空間の他に、感性に訴えるような空間も必要で、これらはできる限り設けるようにしています。

具体的にいえば、団地の入口にはアイストップやサインとなるゲートを設け、中に入れば、快適な屋外空間が、ストーリーを持って展開するようにしています。樹木も多く植え、四季折々の花が咲き・香り、色合いが楽しめる空間を造ります。団地によっては人の心を和ませる親水設計を取入れ、小川や池を、また大陶壁や彫刻も設置し、アメニティーやアイデンティティーの向上を図る仕掛けをたくさん造り、気持ちの良い空間を連続させる設計をします。

また建物についても、マッチ箱だとか、画一的だとかいわれた今までの住宅建設手法の反省を踏まえ、住宅回りが大事だということで、一定戸数ですが、戸建ての良さも取り入れて、玄関ポーチや門扉・勝手口等を設けています。それに住棟の雁行・階段室分離等の手法も駆使、住宅の外気に接する面をたくさん取り、居住性の向上と、住棟デザインの向上を同時に図っています。特に最近設計している屋外空間は団地毎に設計コンセプトを設定、それぞれ建物の外観も含めアイデンティティーを持たせるようデザインしています。私の担当する市街地設計課では、このような設計手法を「ピクチャーレスクビレッジ（絵になる街）の創造」というキャッチフレーズで説明、可能な限り実施するようにしています。

もう一つ加えれば、住環境を語る上ではコミュニティも重要です。コミュニティの単位が大きいと共同生活のルールを守らない人々が時々出現します。私自身、集合住宅のコミュニティは10戸程度を単位とした２戸１エレベータ付き階段室型で、１棟30戸程度の住棟にし、それらでもって広場を中心にしてグルーピングするような、長い間、先輩がやってきたヒューマンな手法が、今でも基本であると思っています。しかし現況ではエレベータの効率や経済性から片廊下型住棟になってしまうことが多いのですが、できるだけコミュニティ単位の分節を考慮した設計をするよう心がけたいと思っています。前から先生がよくお話しされているＮＳペアは正にこのような配置設計に最適で、コミュニティ形成上、特に有効な設計手法だと思います。

つくり手とすまい手の関係

宇治原　いまの話で、コミュニティーといっても、そこに住む人の特性によって随分違うと思うんですね。そこで集合住宅を不特定多数に供給しようとするときの考え方としては、どう考えたらいいんでしょうか。

延　藤　確かに言われるように、設計者としては計画設計段階で住戸、住棟周り空間に様々な知恵、工夫を振りつけてると思います。

問題は空間そのものが持っている“力”であって、例えばＮＳペアなどでは、毎日嫌でも対面せんといかん、これによって嫌な人同士はそれなりに工夫するでしょうし、好きなもの同士は出会いを生かすでしょうしね。

このような対面性の強いあるいは囲み型ような、人と人の出会いを育むという性質の持つ空間の力というのは大きいと思いますね。

でも、空間そのものが、人々の日々の行動や気持ちに直接訴える性格のレイアウトの仕掛けと、つくる側が住み手側に言ってあげないとわからないという性格の空間と、両方あると思うんですね。例えば、パッと見たときに、並行配置でみんな北入りのレイアウト、標準設計で面白くないなと思っているにもかかわらず、実はプランナーはレイアウトするときに、微妙に折れ曲がりをつくって、ある道を行くと、折れ曲がりのところに来て視線がポッととまって、領域意識を感じさせてくれる、ここに来ると何となく落ち着くなという気持ちをかき立たせるような、領域意識を呼びさますためのさりげない仕掛けをやることが多いでしょう。ところがユーザーは、そういう技法の持っている意味に無意識には気づいているけれども、これが団地に住む喜びとか、心地好い感覚を味わわせてくれている理由なんだとはあまり考えてない。ところが古い団地なんかで住民と一緒に歩いたときに、ある場所にくるとフッと目線がとまるような大きな木があるとか、建物も妻側が見えるようになっているのはこれは公団用語で言うアイ・ストップというんです。何となく気持ちが安定した気分になるでしょう、ここで微妙に屏風のように建物が折れ曲がっているのは、こういう意味があるんですよ、などと言うと、ふーんと言って凄いッ……、わたし達は日頃そういうことに気づかなかったけれど言われるとその通りだと言うんですね。団地の持っている力が、公団側が言わなくとも人々の暮らしの中に溶け込んでいる場合と、団地計画の技法というものが住み手の側に意味として伝えられていないがゆえに、使いこなされていないか、あるいは団地に住み、環境に住む魅力というものを自覚していない。ところが参加の仕掛けをすると、つくる過程で、メゾネットとかフラットとか、囲み型とか、階段室を路地にしようとか、バルコニーでプール遊びもできるようにしようとか、計画段階で住み手がいろんなつぶやきをし、その言葉に対応する空間とはこういうものですといって設計者は技を提起し、住み手が、イメージと技術とを共有しあう関係が生まれるわけです。ですからコーポラティブには自然に団地づくりの学習をするような仕掛けがあるけれども、一般供給の場合にはそういう団地に住む喜びを感じさせる仕掛けが全くない。

たとえばパンフレットにしても売買する関係についての必要な情報はいっぱいあるけれど、団地に落ち着いて住みこなす、環境を愛でる、あるいは一見つまらない均質な空間にも実は様々な個性を振りつけているという設計者の思いがユーザーに届いていない。

そういう意味では、ハードを仕掛けるときには必ずソフトもつけてハードづくりをする、そんな仕掛けのひとつとしてコーポラティブという、直接参加による手法として獲得したけれど、そこで生みだされた住み手の意識の高まりは、一度意識が高まると、住み手がどんどん住まい環境を自分達のものとして手なずけて自主管理しはじめ、自主管理の中でさらに空間の価値を高めていってくれるというハードとソフトの融合化の仕掛けを意味している。そういう意味で、参加の方式あるいは居住者主体の原理というものを一般供給の中にもどのように仕組むことができるか、そのソフトの開発が待たれているという気がしますね。

個別の事例になるかもしれないけれど、真美ケ丘などでやられた住戸と住戸とか住棟間のコモンの空間、これを戸建てで開発したのも公団が最初でしたね。

あれは２戸１だけど向こう三軒両隣り的コモン・スペースを郊外の戸建てゾーンで開発した。

でも、あれを設計し、供給するときの公団側の思い、ここでバーベキュー・パーティをやるんじゃないかとか、枯れ葉を集めて焼き芋でもするんじゃないかとか、そんな思いが必ずしも住み手に伝わらない。一部の住み手たちは自然発生的にやっているだろうけれど、公団から居住者に、プロジェクトが手渡された段階で、私たちはこんな思いで戸建てにもかかわらず、個人の領域だけを充実させただけでなく、道のデザイン、共同の広場というものもこんな思いで充実させたんですよ！．――これは設計者自身がそれぞれに出向いて伝えるのは無理だけど（笑）。

計画部門から管理・販売部門まで、風通しをよくして設計技術者たちの思いが、一般供給方式においても住み手に届くような、逆に住み手からの感動とか、あるいは問題とかがビンビンと生に設計者・プランナーに戻ってくるという、公団と居住者、仕掛ける側と住む側の良質なチャネルをどううまくつなげるかが、これからの課題になるかもしれない。

川　村　その辺の兆しは若干出てきています。私たちが設計した団地では、区役所に行き敷地周辺の名所・旧跡や歴史を調べ、シンフォニーホールや芭蕉の句碑・寺等の周辺情報をタウンマップパネルにして、ピロティーに張りましたし、元浄水場であったことを伝承するために、実際使っていた大型ポンプを彫刻の変わりに設置、謂れを明記して、歴史的な継承を、設計者からの情報として入居者に伝えるようにしました。

また現在進めている建て替え団地では、建て替え前の配置や住戸プラン、それに建て替え前の団地名板も記念碑にして残します。これらは設計者から、入居していただく方々への、情報発信・間接的な対話だと考えています。それに先生にも以前書いていただいた関西支社の賃貸住宅向け新聞である「まど」に連載中の「まち・すまい　住まい方の工夫」欄で、設計の考え方や楽しい住まい方の提案等を設計者からの情報発信として今でも続けています。

宇治原　先日、高槻・阿武山団地一番街が、大阪まちなみ賞の知事賞を戴いたのを記念して絵葉書と年賀状をつくり、現地で住民の方たちに集まっていただき記念碑の披露パーティもやりました。

この絵葉書と年賀状はきれいな写真入りですが、ここに住んでいることに誇りを持ってもらい、また、子供さんたちが全国に出した年賀状で、わたしたちはこんな素晴らしい街に住んでるんですよと友達へ伝わっていけばいいなという願いで作成しました。



「まど」公団住宅入居者への情報紙（隔月発行）

伊　東　あのときは、住んでおられる方々の代表の方にご挨拶をいただいたんですが、まさにそういうことをおっしゃっていました、「我々はここに住むことに誇りを持つてます」と設計者としたら非常にありがたいというか、設計者冥利――――私ではなかったんですが（笑）．前々任者でしたが。

それから先ほどの屋外空間の話は、駐車場・遊び場・緑との団地全体の「バランスとメリハリ」を考えながら設計しています。例えば泉北御池台第３は団地の中央に「コミュニティ通り」という歩行者優先の道をつくり、集会所の部分には池をつくったり、「セパレートハウス」という離れみたいなアルファールームを配置したふれあいの空間を演出して、「コミュニティ通り」とはこういうものですよという“絵”をパンフレットに載せて、住み手に我々の設計意図を提示しています。

増　田　シテ・エスポアール宇治黄檗台では団地の中央に広いコミュニティ道路があって、公団ではボンエルフの先駆け的な所ですが、井戸端会議のできるポケットパークや、植栽帯などのつくり方など色々な工夫をしています。

これは団地のシンボルでもあり、入居者のみなさんの自慢の道路になっています。

とにかく、そういう特徴をもった設計の工夫が非常に大切だと思います。

建て替え団地の教訓

伊　東　特に最近考えているんですが建て替え団地では、メリハリをつけないと土地の高度利用がなかなかできない。私は「歴史の継承」といってるんですが、もともとの団地が持っている特徴的な空間例えば、スター型の住宅ですが、これは建物が結構ゆったりと入っているわけですね、そこで建て替えたあともそういう空間としてつくろう、だからボックス型とかスター型とか、若干高層化はしますが屋外空間を少しでも広く取ってもとの空間を継承していきたいと思っています。

それから当然建て替え事業の場合には屋外の空間構成も大切で、記念すべき樹木など残せるものは残したい。しかし残すとかえってお金だけかかって、あとで枯れてしまうということもあるわけですそのような場合は残すけれども、一旦伐採したあと同じような樹木をまた植え直してもとの空間にもどすということ考えている訳です。

増　田　そういう意味ではコーポラティブですと、住む人があらかじめ想定されているんですが、建て替えの場合は、その団地の住まい手のおおむね半分、あるいは半分以上は従前からからそこに住んでいた人が帰ってくるわけですから、建て替えの目的が、土地の有効利用ということですので、皆さんの注文をすべて盛りこむことはむずかしいとは思いますが、ただ従前に住んでいた人はそこの団地のよさを、先ほど先生がおっしゃってた公団の仕掛けをそれなりに感じてくれているわけですから、その団地のよさのある部分を残すことによって、戻ってきた人たちがそのまま引き継いで住み始めてくれることで、はじめて継承ということにもつながるのかなと思っています。これから建て替えが増えるわけですから、そういう意味でも手法としては大変重要なポイントだという気がしますね。

延　藤　そういう意味では建て替えは、これからの公団の重要な課題だと思いますね、その際継承すべき宝物には二通りあって、建物の形状とか樹木とか、あるいはオープンスペースとか、目に見える宝物と、目に見えない人間関係という宝物。僕は「居住資源」という言葉を使っているんですが、二重の居住資源という宝物をどう建て替えに当たって継承するか、その際、コーポラティブの経験に学ぶならば、事業主体の持っている様々な制約とか条件があるので、一概にグループ分譲と同じようなフル参加型はむずかしいとは思うけれど、可能な限り公団と住民が対話するという、“住民のつぶやき”を許す計画論とか、計画の仕掛けというのがあり得ないだろうかと思います

その際、公団と住民がいわば話し合い方式で計画を練り上げていくには、すべての団地でかなうとは思えない。それなりに団地側、自治会側、住民側の条件が必要で、公団と住民がパートナーシップ方式で建て替えを行っていけるかどうかには、二、三の重要な条件があると思うんですが。

一つは、住民側がそういうことを願うかどうか、嫌というのに巻き込むのは無理なんで、その場合はやはり公団がいままで通りやればいいと思うんですが、仮にやりたいという場合、要求突きつけ型みたいな古いタイプの運動論では、建て替え計画に住民が応ずるというのはなかなかできないことで、住民側も計画づくりに意見を差し挟んで公団側とやりとりする、これにはバランス感覚というか―“３分の我慢７分の豊かさ”という言い方をしているんですが(笑)。

いままででしたら居住者は、これが欲しいというと、要求を突きつけて、他は何も見ないというやり方だったけど、計画というのはそれこそ車は何台置くのか、緑はどこまで残すのかとか、そういうせめぎあいの中で建て替え計画は行われるわけだし、それから前提として家賃はどこまで払えるのか、あるいは減額できるのかという家賃問題のなまなましい条件など、かなりシビアな面まであると思います。

したがって、そんなに容易に公団と住民が“なあなあ”とうまく



千鳥団地―建て替え前



ルミエール千鳥（前千鳥団地）―建て替え後

やっていこうというスタイルにはなりにくいことは重々承知ですが。かといって、新規建設と同じやり方ではなく宝物を生かしながらの団地計画という、いわば団地計画 Part-2という、第二世代の団地計画論というか、何らかの形で住民との対話チャネルをうまくつくっていくことが求められているんじゃないかと思うんですがね。

そういう意味でも、居住者・自治会側に、団地更新計画についての合意形成を取りつけられる当事者能力があること、そして緑、車、ほか様々な対立する要求をバランスよく解きほぐせるような柔らかな発想ができること、公団と住民側の間で対話をしながら信頼関係を深めていくスタイルが団地計画に新しいソフトな手法としてどう活かされていけるかも大変重要なことです。

伊　東　関西の場合だけみても、いままで建て替えてきたのは、わりあい小さな団地だったんです。

だんだん大きな団地になってくると、事業手法としての地域リロケーション制度だとか、公営併設などのコマもだんだん増えてきたことも含めて、地方自治体いわゆる行政にも積極的に入ってきてもらって、いっしょに建て替えを進めていくべき時代に徐々に入ってきたという感じがしますね。

延　藤　公団が団地開発をするとき行う、公団法33条による自治体との調整あれはどちらかというと公共施設整備に関するハードと費用負担の問題についての調整だったと思いますが、建て替えとなるとハードの問題だけじゃなく、当初公団の政策としては、中堅層向け供給でしたが、30年住んだらほとんどの人は年金生活者になってて、単純な中堅層対策というスタンスでは、放り出すことになるので、福祉とか公営住宅対策とかいう自治体のもっている手だても必要となってきた。

それから、団地という区切られた環境の再開発ではなくて、その機会に周辺の環境整備に手を貸すとか、あるいは周辺地域の人々も使える施設づくりを、高齢者用とか子供用とか、地域のニーズに合わせて、街づくりの文脈として団地建て替えの際やらないといけないということになると、これはまさに街づくりとしての団地更新であって、自治体の街づくり政策と公団の建て替えと、既存居住者たちの生活再建という、この三者がどううまくリンケージし、結び合うかということが求められると思うんですね。

それには、33条協議の新しい時代の拡大解釈が必要だ（笑）。

建て替えに係わる自治体・公団・住民のトライアングル方式がどのように生み出されるかと注目して見守りたいと思っているんです。

川　村　今年度、私たちの都市再開発部では、かなり大きな規模の建て替え団地を３団地、新たに設計しています。これらの設計に当たり、私たちが最初に取り組んだのは、「地域を読むこと」と「建て替え団地の現地事務所に出向き、間接的でも、できるだけ多くの情報収集をすること」でした。現地には桜の樹を残したいというような、いろんな希望が寄せられています。私たちはこのような希望も、可能なものや設計の手掛かりになるものは、取り入れて設計しています。そんな意味においては、建て替え団地の設計は、かなり現地密着型であるといえます。

一例を申し上げますと、昔からの催しである盆踊りやビール祭り等もでき、かつ地域の人々も憩えるような大きな広場を設けた設計。地域動線として以前から使われているような動線を新しい配置設計に組み込んだ設計。既成街区で歩道のない危険な道路に歩道を設けた設計。また道路に沿った敷地に桜が立派に育っていた団地は、それらを歩行者専用道路の中に積極的に取り込み、桜の並木として、地域に開放、地域と団地の融合を図った設計をしています。

つまり、建て替え設計に当たっては建て替え前と現在の状況を良く「読み」その変化に柔軟に対応しているのです。このような設計手法は公団のような公的な機関でしかできない特色のある設計であるといえます。

延　藤　そういうやり方は望ましいですね。ともすると、団地住民に対して建て替えるということを宣言した段階で提起される図面は何戸入れるかとか、土地の有効利用という前提のもとに、わりにラフなレイアウトでしょう。でも、実はそれが最後までずーっと、モノづくりに引きずってしまう、そういうやり方が、――言葉が適切かどうかわかりませんが――経営計画方式という言い方をすれば、いま川村さんがおっしゃったように、住民たちに提案をするときに、まず設計者が地元に出向いて住民の“つぶやき”に耳を傾けるというやり方をすれば、単なる戸数と家賃と密度という兼ね合いの中での経営計算でできた図面ではなく、団地のソフト、ハード、両面の宝物を生かした団地計画になり、設計手法にも、団地再生の新しい手法になりうるのではないか。

経営計画優先型のアプローチに対して、設計計画優先型というか、居住者の声を反映して設計計画を進めるという、新しい方式が公団に生まれつつある。

川　村　実際現地に行けば、残してほしい樹木にテープを巻いている団地もありますから、その意向は汲み取れますし、子供達の通学時間等に合わせて行きますと、どこを通って団地にアプローチさせれば良いか、実際動線がよく分かりますから、想定してプランニングするより確かな配置設計ができます。また戻り住戸（注２）のプランにしても私たちが日常的に供給しているプランと異なるようなプランを設計する場合があります。例えば40数平米の２ＤＫ、私たちにはその生活が想定しずらいのですが、片方の和室を３帖にして欲しいというお年寄りの希望を取り入れて設計しています。公団の現在の基準からすれば、多少問題かもしれませんが、食事室と全面つながるように工夫を凝らすなど公団としての提案も取り入れて設計しています。

増　田　そういう場合は、将来の対応も考えているんでしょう。

川　村　そうですね。市街地に多い１ＤＫ等の小型住宅を将来は２戸を１戸に改造、大型にできるよう戸境に予め開口が開けられるような対策を講じています。

私の所属する都市再開発部は都心の街づくりを担当しています。今までに手掛けられた都心に位置する団地の屋外は、近代的で、わりあいシャレた都会的なものが多いように思えます。ペーブメントで覆われた硬いヨーロッパ的なものや日本の造園手法を取り入れた土の広場を主体にしたもの、それに樹木で覆われたものなど、いろいろ工夫してアメニティーの高いものにしていますが、これらは平面的な捉え方をしているような気がします。現在ではもう少し捉え方を変えて、屋外を空間として捉えるようにしています。

つまり、住区毎にいろんな明快なコンセプトによる建物と屋外でもって一体的に構成された屋外空間、いわば街空間として捉えるようにしているのです。その訳は、多様なニーズに対応するための多様な住宅づくりの時代から、多様なニーズに対応する街づくりの時代に変わり、いろんなデザインの街、いろんなソフトを有する好みの街を選んでもらう時代が到来しているように思えるからです。

その兆候の特に現れている事例が神戸市の西神ニュータウンにおける街づくりです。私どもが手掛けた異人館風の街だとか、切妻のナウイ現代感覚の街、神戸市公社の武家屋敷風の街や最近のワシントン村やシアトル村など個性的な街が隣接して実際に建っています。住宅のインテリアを好みに出来るとすれば、これらの街の、どれを選ぶかは、十人十色、それぞれの居住者の好みによって異なる筈で

注２）戻り住戸：建て替え事業における住宅の種別で、その団地に建て替え前から居住していた人のための住宅

す。その選択要因は居住者の感性や価値観や生活意識等によって決まるものだとすれば、住宅が充足した将来、居住者のそれらにより、言い換えれば「ライフスタイル」により街が選ばれるということだと思います。従って今後は街のデザインやソフトが非常に重要な要素として展開されると思われますので、私たちはいろいろ個性的なコンセプトの街を積極的につくりたいと思っています。

伊　東　公団で配置を考える時、気をつけてますのは、まだ幼稚園にも行かない、親の目が必要な子供たちのために、各建物のすぐ近くで、私は“日だまりコーナー”と言ってるんですが、そんなスペースを必ずつくる。それは少々駐車場を我慢――なかなか我慢してくれないない人も多いですけど（笑）。そうしないと100メーターも行かないとそんな場所がないというのは問題ですから。

だから、そういうミニマムなことは、レベルとして必ず守りながら設計しています。

宇治原　いまライフスタイルの10のクラスター分析に関連して屋外とか共用施設とかについての研究は進んでるんですか。

伊　東　延藤先生の話にもありましたように団地は住宅だけでなくて、屋外も含めた総合評価である訳です。ライフスタイルのクラスター分析の研究と並行して「住み手ニーズによる新しい屋外共用空間の設計企画」ということで屋外空間構成のキーワードと施設設計キーワードを2本の軸にした研究をやっています。現在はその成果を積極的にきめ細かく設計に活かしています。

いま一番ポイントになっているのは駐車場ですね。駐車場を確保しながら、目立たぬように修景し、駐車場の中も雑多な雰囲気にならないように植樹するとかの工夫をやっている訳です。

団環からの教訓

延　藤　これからの団地計画では、車か、緑かを二者択一的にとらえるのじゃなくて、車も、緑もという、両方うまくレイアウトできる団地計画って、むずかしいことだけれどこれも一つの課題ですよね。

そういう点で僕が最近経験したことで興味深いのは、関東支社でのことですが、神奈川県茅ヶ崎の鶴が台団地で、そこの住民から研究室に電話がかかってきて、公団が総合団地環境整備計画、公団用語で言う「団環」をやるんだけれども、自治会発の団環計画をつくりたい、ついてはちょっと手伝ってくれないかということで、そこで時々東京に行った機会に寄りましょうといって係わりだしました。

その団地は昭和43年管理開始の2200戸、オール5階建ての板状住棟の、量の時代の典型的なもので、真ん中にきれいな緑道があって、関東だからケヤキが凄くきれいで、環境が緑化しているいい団地なんです。そういうところでの「団環」がはじまるについて、住民の間で――今時どこでもそうだけど、車派と緑派が“チャンチャンバラバラ”やってて（笑）、自治会で数年間はげしい論争をしてきたんですよ。

それであるとき団地内の違反駐車もなくしつつ緑も守るという、わけのわからん、そんなことが果たしてできるのかしらと思うけれど――――実に賢明な方針を提起して、それを全住民投票にかけたら、なんと2200戸の団地で9割の賛同を得たというんです。

これ、凄い団地世論でしょう。

それを背景にして、公団が提起してくる計画に対して住民から緑も車も両立する案をつくりたいというんで計画が始まったら――運悪く、公団がいち早く案を出してきたわけです。

宇治原　運悪くですか（笑）。

延　藤　いや、結果的にはラッキーだったんだけど。というのは出てきた案は、800台ほどの駐車場整備計画でした。

今、公団の団地で車が団地内に溢れているところは、建物の北側のアプローチ道路の縁に置けるところは全て直線的に駐車場にして、「入れ歯型」というか「櫛の歯」か、「ハモニカ型」でもいいですけれども、とにかく直線的に車を置くスペースをつくる案が出てきたわけです。

その案について、住民達が何と言ったかというと、僕が最初行ったとき、この案ではさらに北側の建物と駐車場との間、8米の空間があるのはいいけれど、ここは7ではないか、ここは6よ、せめて7で手を打つべきではないかとか、6か、7か、8かと、いう話をしていた。そこで住民参加の団環計画をやるスタイルとして、そういう話をしているのは全く間違いだと言いました。

たしかにレイアウトをし、設計図を練りあげていく上で、寸法論は大事だけれど最初から何米がいいのかなんていう話をしていたら住み手が計画に参加することの値打ちは何にも見えてこない。住み手が参加する「団環」というのは、何から始めるかというと、さっきの宝物探しの話。団地に20年住んで、思い出の木もあるでしょう好きな木もあるでしょう、そんな話から始めて、それでこの木はぜひ残したいという、そういうくらしレベルのつぶやきから始めましょう、と言った。

そうすると、この木はわたしの長男が生まれた時の記念に種をまいたら、こんなに大きく実のなる木になったとか、あの木にはカブトムシがやってくるのよ、ぜひあれは残したいわねとか。

車が退いたあとは、日だまり空間として子供が遊べるような場所にしたいとか、生活者ならではの柔らかい意見がいっぱい出てきた。

出て来た沢山の意見を持ち帰り、それを参考にして研究室の案を持っていったんです。

その案はコンセプトとして、公団案が仮に「入れ歯型」だとすると住民案は「手のひら型」と称して、直線ではなくやわらかい曲線で車を3台か4台置いたら次には残すべき木がある、「手のひら型」コンセプトの絵をかいた。

それからボンエルフという手法もあるとか、車を置かれる家はかわりに芝生をめくって花壇や菜園にしようとか、階段室の横の入口に小さなフレームをつくりバラの蔦性の緑を這わすとか、そこを生け垣にとか、日曜大工ができるようなワークショップを妻側のコーナーにつくってみようとか、その類のメニューをつめ込んだある街区をモデルにして書いていった。

その案を見たときに住民たちが、こんな非現実的なことを言ってもらっても困ると言われたらどうしょうかと思っていたら……いつも議論の席でむずかしいシニカルなことを言う“おじさん”がいるんですが、その“おじさん”が最初にパッと手を挙げて、この案は公平性ということについてどう考えてるんだと。公団の団地計画では公平性ということが非常に大事なんだと。まるで公団職員が言うような（笑）厳しい質問を問いかけられた。

いや、それは大事なことですね、でも考えて見ましょうよ、昭和40年代の初め、たくさんの人が東京都市圏にやってきて、公団の賃貸住宅に入れるというのは、宝くじにあたるような時代だった。そのときには個性化とか、バラバラのものを作ることはできなかった、隣棟間隔や、住棟まわりの空間も均質につくるという、均質性・平等性の原理というのがあの時代はは大事だった。

でも、20年、25年と住み続けているうちに住棟まわりも、少しづ

つ個性的に変わってきたじゃないですか。

外部空間は本来住民が手をつけられないということになっているけれど、生活というのは家の内から外に向かって表情を織りなしていくという、それが自然の形なんで、好きな木とか実のなる木とか、香りがいい木とかいうものも結構増えてきて、生活の中で住棟まわりに個性ある表情が育ってきた。

この案では、全体にある水準を確保しながら、住棟まわりに居住者が願う個性ある環境づくりをめざし、形式的公平性にはこだわらず、むしろ柔らかい公平性という考え方に立ってまとめたらこんな絵になりました。と言ったら、“おじさん”は「うん。わかったッ」この案はいままでの発想を超える、発想を転換する案だ、おれはこの案に乗ったッ、といってテーブルをドンとたたいた！，ほかの人たちもみんな乗ってしまいましてね(笑)、その結果平成２年度の事業が平成３年11月に完成しました。

そんないきさつもあって「団環祭り」をみんなでしました。

つぎに、緑と車の両立についてですが、技術的に二層式がいいとか、機械式駐車がいいかという研究も必要ですが、住民が知恵を発揮するというか、生活者の柔らかい知恵の働きによって、緑と車の共存とか、あるいは管理のむづかしさについて住民が計画段階で発言し検討した上で、住民たちが責任をもって自主管理し、子供対車の危険性なども配慮しながら自身で環境も管理していくという、自覚的・自立的な環境への態度が住民の計画段階での参加によって生まれてくると思います。

車と緑の共存については、多様な手法が団地ごとに生みだされるということです。

もう一つ面白かったのは、そんな経過の中で昨年末団環の第一年目の事業が完成をした年末のある日。住棟まわりでお母さん方が、“環境がよくなったわね！きれいになったから何かしたいわ！”と立ち話をしていた。25年間団地に住んでるけど門松を見たことがない、子供のころは年末になるとお父さんが門松をつくったものよ。でも、門松ってどうやって作るのかしら！と、そこに隣の階段から“知らないおじさん”が降りてきて、門松はこうして作るんだ、材料はこういうものだ、一緒に行こうといって材料を買いに行った。25年間一度も顔を合わしたこともない“おじさんとおばさん達”は一緒に材料を買いに行き、早速作りましょう、明朝、何時に集まりましょうか？と言ったら、おじさんが、九（苦）の日に門松を作ったらいかん（笑い)、30日にしようと言った。

それも一つだけじゃなく、環境整備された住棟の入口まわり全部に作った、出来上がったらお母さんたち喜んで、おじさん一緒にお茶でもどうですかと言ったら、おじさんは飲みたくないと言って帰っていった（笑)。

住民と公団が一緒になってつくった仕掛け、その仕掛けからまた新しい仕掛けが生まれるという、団環とか建て替えは、車と緑の共存のハードな手法とともに、団地居住のコミュニティづくりの仕掛けを連綿と生み出す重要な場になっているなという気がしますね。

川　村　コミュニティづくりの仕掛けという意味では、私たちの今抱えている建て替え団地にはたくさんの仕掛けがあります。それぞれの団地の要望により先に説明したビール祭りや盆踊りを催す広場、それにゲートボール場をつくる団地もあります。また、お地蔵さんがある団地には祠を新築し、地蔵盆ができるようにしています。結構それぞれの団地特有のしがらみやコミュニティがあり、いろいろ必要になる訳ですから、それらを上手く継承できるようにすることがコミュニティを育む上でも大切です。団地住民のコミュニティも異なるのですから、つくるものも異なるということです。まさに私たちの目指しているアイデンティティーのある団地の設計の手掛かりになっています。

街創り、住まい創り、コミュニティ創り

延　藤　最近面白い調査をしたんです、ユーコートと周辺住宅との比較調査をしました。比較の方法として、写真投影法というのを使ったんです、写真投影法というのは、野田正彰という精神分析学者が提起した手法で、子供たちに今はやりの“写るんです”を渡して自分の周囲の環境を家の内・外から好きなところ、好きなものを撮ってもらう！。ただ、それだけです。

子供の心象風景とか心の中を精神分析するのに、子供の目から見た環境を、いわばこころの中をのぞく手段の一つとして写真投影法と名付けているんですが。

子供の目に写った住まい、環境にどんな質の差異があるかを実証してみようということで、去年の夏、ユーコートの子供、周辺の戸建て、公団・公営の中高層の子供、合計24人にお願いした。

その結果面白かったのは、全体に戸建ての子は、家の中を撮る、中高層の子は、家を出て学校・公園へ行く、それからユーコートの子は、コモン・スペースで中庭とか階段とか、いわゆる中間領域の場をとらえる、空間構成の質をそのまま反映しているわけですね。

写真に撮られた子供達の身近な環境の中での好きなところ、好きなことを見ると、空間の質とかコモンスペースの有る無しが左右している。

あわせて、日頃のコミュニティの質、人間関係の質、大人と子供の交流、子供同士の集団による交流など、子供が孤立した感じに置かれている住宅地と、人間関係に価値を見出そうとした住まい方をしているコミュニティの差異が、子供の心の中を通して見えてきてね。

子供がすくすくと育つ環境とはということで、ユーコートの語るところは、家の中に閉じこもる、塾へ行くという狭い空間の移動を繰り返す現代っ子の多い中で、もっと家の内外、家と家とのすき間空間や、昔の路地空間のような、あるいは遊具によるのではなく、偶発的な仕掛けによる遊びに興ずることのできる、何にもない広場おとなは「ビール広場」と言い、幼児は「小鳥のひろば」と呼ぶような楽しい出会いが生まれる広場空間を介在させることの意味が団地計画、わけても集合住宅計画論として非常に重要だと思います。

そんなハードな面とあわせて、先ほどから強調しているソフトな面ですね、住み手の意識をどう触発するかという、住み手が身近な環境にある、命ある存在としの植物とか動物をどう寄り添わせるのか、————これにはトラブルの発生もあるけれども、トラブルはトラブルとしてむしろこれをネタにしながら、より高いコミュニティづくりに向かっていくという、対立とか乱調とかを恐れず有機的な環境をどうつくっていくかという、住民の意識の呼びさましの仕掛けというのが非常に重要なんだということをユーコートは一面で語っているんじゃないかと思いますね。

宇治原　どうもありがとうございました。

本日は、大変興味深いお話がたくさん披露されましたが、特に団地づくりとコミュニティ形成との関連については、非常に大切な教訓をいただきました。

これからの団地づくりには、よりよい街創り、住まい創り、コミュニティ創り、という観点で努力してまいりたいと思います。

それでは、今日の座談会はこれでお開きにさせていただきます。

住宅・都市整備公団関西支社10周年特集協賛

建築事務所

株式会社 赤松菅野建築設計事務所　大阪市北区西天満5-16-3　06-364-5651

株式会社 遠藤剛生建築設計事務所　大阪市北区紅梅町3-4　06-356-1250

株式会社 大阪雑賀建築事務所　大阪市天王寺区上本町8-3-23　06-772-4426

有限会社 兼高設計事務所　大阪府堺市北花田口町3-1-15 東洋ビル 0722-22-1643

株式会社 環総合設計大阪事務所　大阪市北区西天満5-8-12 高橋ビル北5号館 06-364-1829

株式会社 九段建築研究所　東京都千代田区九段南2-2-5 九段ビル 03-3264-7357

株式会社 小西設計　大阪市西区立売堀1-12-16　06-532-4051

株式会社 坂内建築設計事務所　大阪市西淀川区歌島3-3-2　06-472-0631

株式会社 坂倉建築研究所大阪事務所　大阪市西区京町堀1-15-7　06-443-0021

株式会社 ジャス　大阪府吹田市古江台6-3-1　06-833-6611

株式会社 澁谷建築コンサルタント事務所　大阪市都島区友渕町3-1 高倉第一コーポA-31号　06-922-2446

株式会社 大建設計　大阪市西区京町堀1-13-20　06-449-6800

株式会社 千代田設計　東京都新宿区市谷台町3　03-3353-2361

株式会社 都市・計画・設計研究所　兵庫県神戸市灘区山田町3-1-15 078-821-8761

株式会社 能勢建築構造研究所　大阪市中央区久太郎町3-5-26 谷口悦第2ビル　06-243-5151

株式会社 ヘキサ　大阪市中央区釣鐘町2-1-7　06-946-6112

株式会社 南建築事務所　京都市下京区大宮通高辻下ル高辻大宮町123 075-842-1144

株式会社 類設計室　大阪市淀川区西中島4-2-26 天神第一ビル　06-305-2222

株式会社 鷲尾建築設計事務所　兵庫県姫路市東延末4-104-1　0792-84-1491

建設業・空調衛生設備

明石土建工業 株式会社　兵庫県明石市西新町3-1-12　078-923-0001

株式会社 今西組　大阪市天王寺区上本町6-6-23-309　06-779-3361

株式会社 クマダ（旧株式会社 熊田工務店）　兵庫県神戸市中央区琴緒町5-5-13 078-241-8888

コーナン建設 株式会社　大阪市淀川区十三本町2-4-28　06-308-1551

五洋建設 株式会社 大阪支店　大阪市北区梅田2-2-25 新阪神ビル　06-345-0631

才門建設 株式会社　大阪府岸和田市下野町3-10-25　0724-38-2121

三和建設 株式会社　大阪市淀川区加島1-55-6　06-301-6636

塩谷運輸建設 株式会社　兵庫県高砂市梅井5-4-1　0794-47-0751

大都工業 株式会社 大阪支店　大阪市北区茶屋町6-23 松柏ビル　06-372-3671

大豊建設 株式会社 大阪支店　大阪市北区東天満2-2-5 第二新興ビル 06-358-5931

株式会社 地崎工業　大阪市北区堂島2-1-27 千代田ビル　06-343-0851

株式会社 東和組　大阪市北区西天満4-5-14　06-363-4051

日本建設 株式会社　大阪市中央区備後町1-6-15　06-226-0630

日本ハウズイング 株式会社　大阪市東成区大今里4-26-11　06-976-0623

阪神土木工業 株式会社　大阪市福島区福島5-6-37　06-347-6566

フドウ建研 株式会社 大阪支店　大阪市中央区平野町4-2-16　06-201-3737

不動建設 株式会社　大阪市中央区平野町4-2-16　06-201-1121

福川建設 株式会社　大阪市天王寺区南河堀町6-33　06-779-1515

平安建設 株式会社　京都市西京区上桂三ノ宮町38　075-381-6171

豊國建設 株式会社　大阪市北区天満橋2-3-1　06-353-1001

株式会社 明和工務店　兵庫県神戸市中央区下山手通5-6-6　078-351-0921

株式会社 森組　大阪市中央区道修町4-5-17　06-201-2761

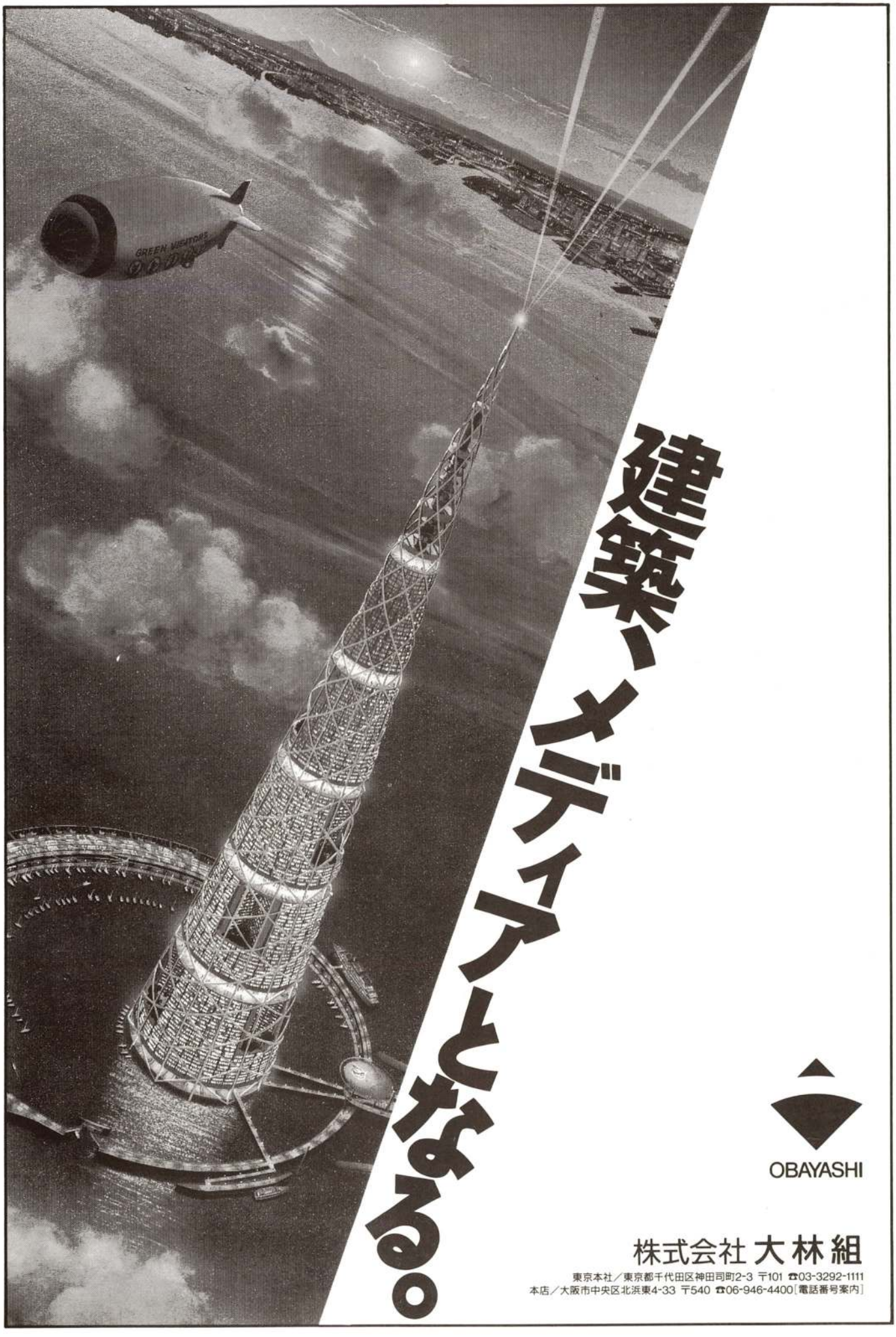
株式会社 森長工務店　大阪市旭区中宮1-1-11　06-952-3331

栗原工業 株式会社　大阪市北区角田町1-1　06-313-1101

株式会社 三晃空調　大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21MIDタワー11F 06-949-1371

ダイダン 株式会社　大阪市西区江戸堀1-9-25　06-441-8231

株式会社 西原衛生工業所　大阪市北区中津6-8-4　06-458-3628



建築、メディアとなる。

OBAYASHI

株式会社 大林組

東京本社／東京都千代田区神田司町2-3 〒101 ☎03-3292-1111
本店／大阪市中央区北浜東4-33 〒540 ☎06-946-4400［電話番号案内］



地球に、学ぶ。

21世紀の私たちの環境を考えるとき、そのキーワードとなるのは"地球"です。建築の企画・設計分野でも、今、地球規模の広い視野が求められています。生態系(エコシステム)の研究をふまえた企画、そして自然の偉大な造形力から発想する設計……環境の再生と創造をめざして、竹中工務店は地球に学び、着々とその成果を上げています。

創業1610年

竹中工務店

お問い合わせは――――総本店広報へ
〒541 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(252)1201
〒104 東京都中央区銀座8丁目21-1 Tel.03(3542)7100

Kubota
クボタハウス

クボタハウス株式会社

〒542 大阪市中央区南船場３－12－12　心斉橋プラザビル　TEL(06)244-1531

セキスイハイム

積水化学工業株式会社

〒530 大阪市北区西天満２－４－４　堂島関電ビル　TEL(06)365-4238

SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社

〒530 大阪市北区梅田１－１－３　大阪駅前第３ビル25Ｆ　TEL(06)341-6881

ダイワハウス

大和ハウス工業株式會社

〒550 大阪市西区阿波座１－５－16　大和ビル　TEL(06)538-5003

National
PanaHome

ナショナル住宅産業株式会社

〒540 大阪市中央区城見１－３－７　松下IMPビル19F　TEL(06)949-1571

MISAWA ミサワホーム

ミサワホーム株式会社

〒530 大阪市北区梅田１－11－４　大阪駅前第４ビル18F　TEL(06)341-3551

人の思いをカタチにしたい。

その最新の成果の一つが西宮・名塩ニュータウン「ソラーナ」です。

〈配置計画〉
明るく、さわやかな生活文化を育む
コミュニティ・モデルの創出

〈ランドプラン〉
地形の高低差を生かした
美しい街並景観の創造

〈住棟計画〉
豊かな眺望を享有する
開放的な分節住棟の採用

〈住戸計画〉
四面採光を確保した
戸建を超える集合住宅の提案



眺望の丘に
高品位生活舞台。

名塩ニュータウン
SOLANA

'91年度住宅・都市整備公団設計コンペ当選作品

住まいから地域開発、商業ビルから各種施設まで
生活産業を目指すユニチカの総合機能が生み出した快適環境の数々。



住都公団高見フローラルタウン(大阪)



米沢ビル(大阪)



大阪府立新東三国小学校(大阪)



シャンポール芦屋川(兵庫)

UNITIKA ユニチカ株式会社 建設事業本部

大阪本社 〒541 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 TEL.06-281-5282
東京本社 〒503 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 TEL.03-246-7648

株式会社 浅沼組

人間にやさしい
環境ってなんだろう。
アサヌマは考えます。



Asanuma

人・都市・自然のシンフォニー

1992年1月20日、おかげさまでアサヌマは創業100周年を迎えました。

本社・大阪本店 〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 TEL.06-768-5222(代表) 東京本店 〒104 東京都中央区築地6丁目19番20号(ニチレイ東銀座ビル) TEL.03-3248-1800(代表)

あしたみる夢。

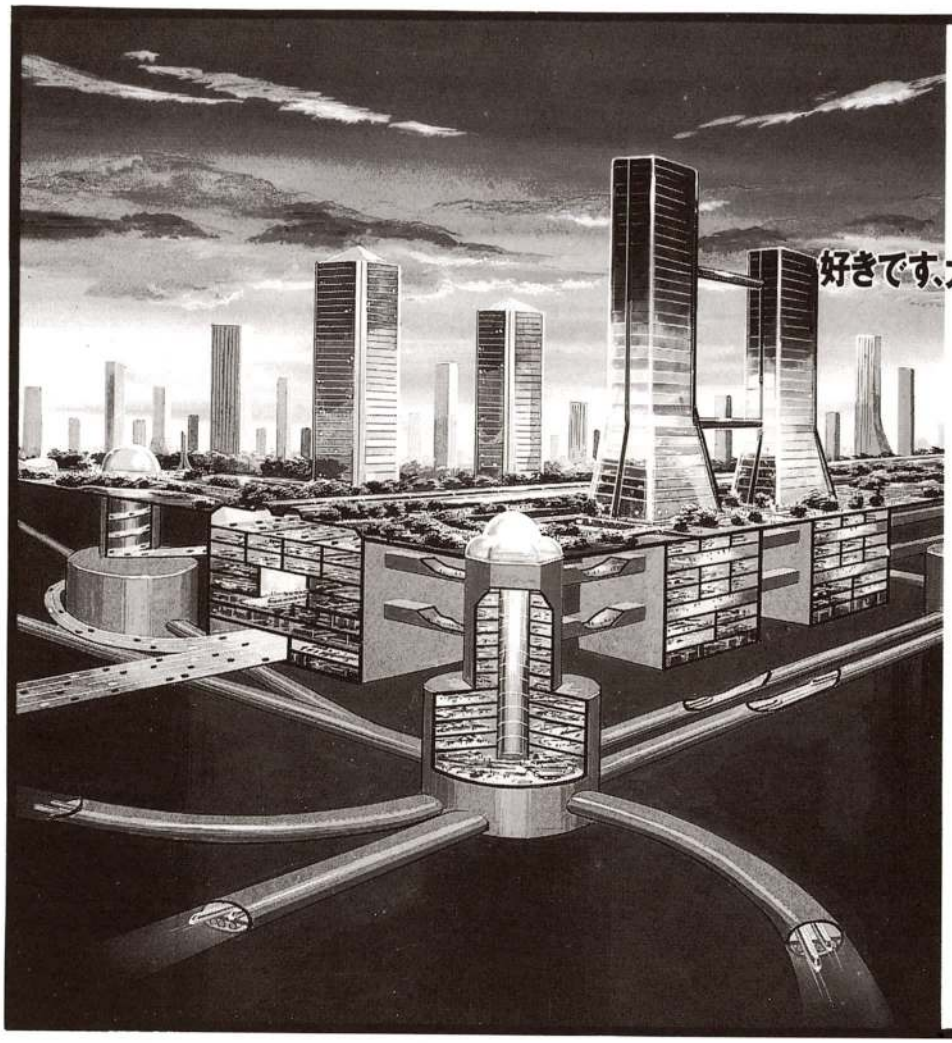
120 SINCE 1873



環境があり、都市があり、
建物があり、
すべての空間にそれぞれ
託された夢があります。
未来はお元気ですか。
明日みる夢はきっと美しい。
明日みる夢はあなたのもの。
私たちは人々の夢を形にする創造集団。
建設・都市・環境クリエイター「ANDO」です。

ANDO 安藤建設

東京都港区芝浦3-12-8 〒108 TEL(03)3457-0111(大代表)



好きです、大地。たいせつに築きます、未来を…

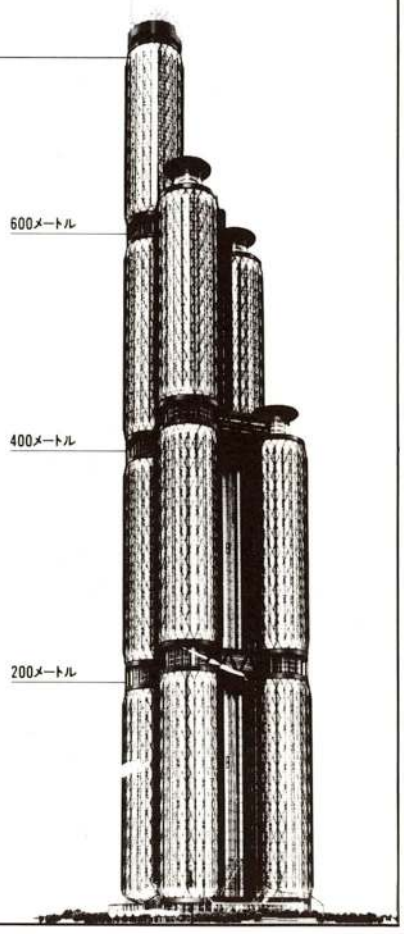
私たちはたくさんの夢を育んでいます。
それをひとつずつ実現していくため、
知恵とテクノロジー、豊かな経験を生かしながら、
奥村組は、新しい提案や試みを
積極的に推進したいと考えています。

奥村組

本　社:大阪市阿倍野区松崎町2-2-2 TEL.06(621)1101
東京本社:東京都港区元赤坂1-3-10 TEL.03(3404)8111

地上800メートル、

DIB(ダイナミック・インテリジェント・ビル)-200

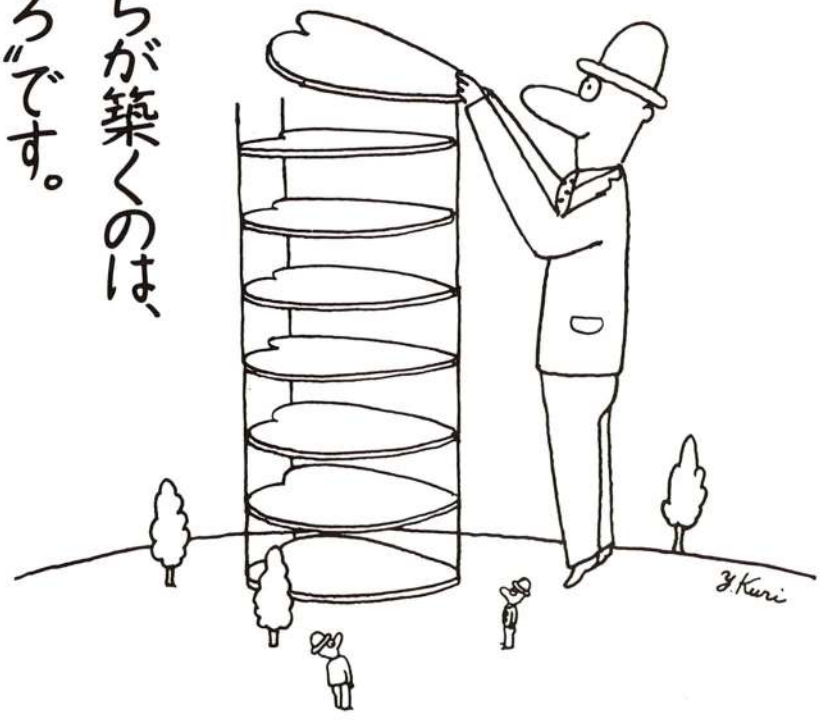


しかし、高さだけでは語れません。

より人間に近い空間を追求した鹿島の超々高層ビル、DIB-200は50階建の超高層ビルをひとつのユニットとして、全体を構成する独自のユニット連結システムを採用。眺望・採光はもとより、オフィス・ホテル・住宅などの複合機能を有機的かつ一体化することで、職・遊・住の近接が図れるなど、都市にさまざまな恩恵をもたらします。また、建物全体の剛性を高めるこのシステムは、優れた制震技術とともに超々高層ビルの安全をしっかり支えます。

鹿島
KAJIMA CORPORATION
本社:〒107 東京都港区元赤坂1-2-7

私たちが築くのは、
〝こころ〟です。



建築物は、機能性だけを考えた
単なる入れ物ではありません。
人と人とをより良い関係で結ぶ創造的空間
それが建築物です。
だから、人のこと、自然のこと、
もっと大きな地球のことを
抜きにしては語れない。
熊谷組は人と自然の結びつきを
大切にしながら
より快適な社会、住みやすい環境づくりを
めざしていきます。

KUMAGAI 熊谷組

本　社●〒162 東京都新宿区津久戸町2-1 ☎03-3260-2111
大阪支店●〒534 大阪市都島区片町2-10-5 ☎ 06-352-1151

ゆたかな空間と文化づくり

CHALLENGE 21

株式会社 鴻池組

取締役社長 鴻池一季

本　社　大阪市中央区北久宝寺町３丁目６番１号
大阪本店　電話 大阪 244局３５００番
東京本店　東京都千代田区神田駿河台２丁目３番地11
　電話 東京 3296局７７００番
支　店　名古屋・広島・福岡・鹿児島・松江・仙台
　高松・札幌・横浜・神戸・京都・金沢

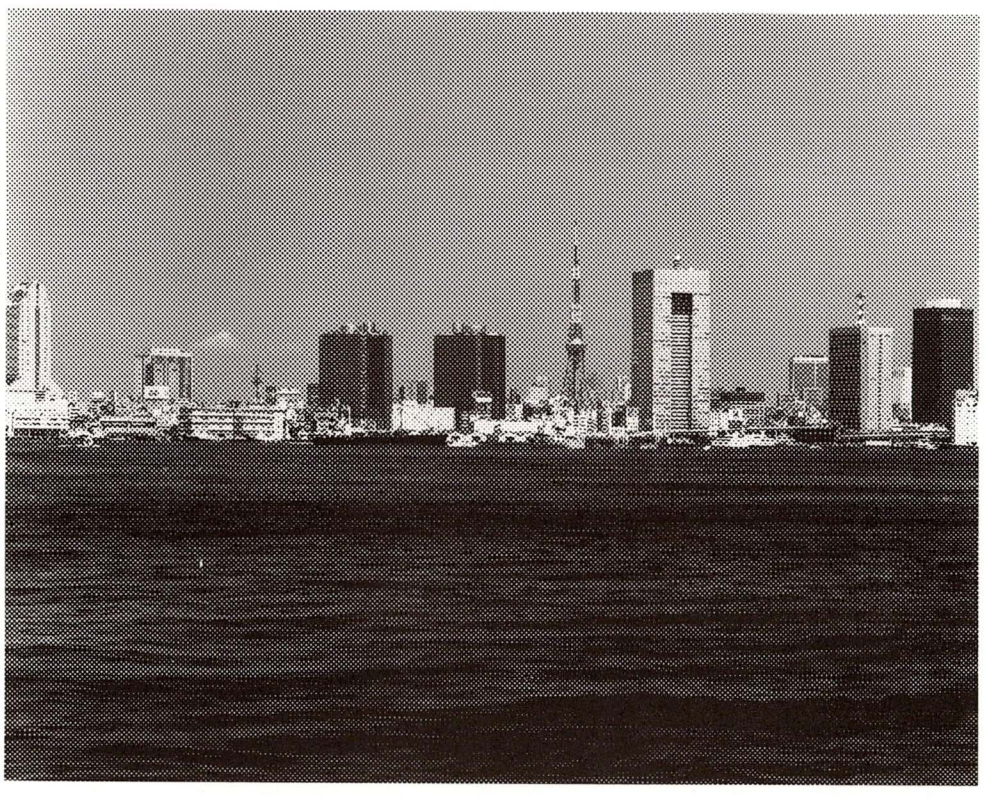
建設品質

私たちがお届けしたいのは
ひとりひとりの、人の気持ちに
サービスできる「満足の品質」です。

総合建設業
佐藤工業
〒103 東京都中央区日本橋本町4-12-20 ☎03-3661-1231

優しさと快適さの未来形。
水と緑と光あふれる環境づくり。

SHMZ



人がつくる、人の場所。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設

技術は人の友だちです。

人と自然、人と情報、人と技術…
さまざまな関係のあり方に
変化の訪れる世紀、21世紀。
住友建設は、先進技術で
しなやか空間づくりをめざします。

住友建設株式会社

本　　社：東京都新宿区荒木町13番地の４　〒160　TEL 03(3353)5111
大阪支店：大阪市中央区北浜4丁目7番28号　〒541　TEL 06 (220) 8712

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長　錢高一善

本　　社　大阪市西区西本町２丁目２番11号
　　大阪 (06) 531－6431
東京本社　東京都千代田区一番町31番地
　　東京 (03)3265－4611
支社・支店　大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉
　　横浜・北陸・名古屋・広島・四国・九州

For a Lively World

人の
いきいき、
創造したい。



新しいTAISEIが、動き始めています。めざすものは、「人がいきいきとする環境の創造」。都市機能の充実や、暮らしのさまざまなステージづくりなど、そこに生きる人びとがはつらつとして生活できる環境づくりがテーマです。今日も、あなたの街にいきいきとした風をおくり続けています。

TAISEI

大成建設株式会社
本社 〒163 東京都新宿区西新宿1-25-1

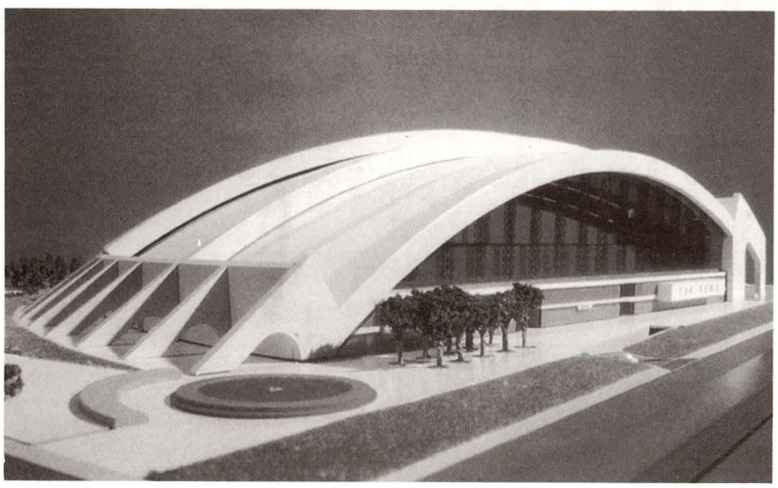
豊かな社会づくりに貢献する総合建設業

大日本土木株式会社

専務取締役　牧野　保
常務取締役
大阪建築支店長　西田　清

東京本社　東京都新宿区市ヶ谷田町2-35　TEL(03)3268-5511(代)
大阪支店　大阪市北区堂島2－2－2　TEL(06) 341-5211(代)
本支店　札幌・仙台・東京・横浜・千葉・名古屋・岐阜・広島・九州

21世紀を　ドキドキさせたい。





TOKAI

東海興業株式会社
大阪支店

専務取締役
支店長　服部　信哉

〒530 大阪市北区堂島浜2-2-8（東洋紡ビル）
☎ (06)348-5602
本社　〒103 東京都中央区八重州1-1-6
支店　札幌・東北・横浜・名古屋・広島・九州

生活に根ざしたトータル・ライフ・エンジニアリングへ

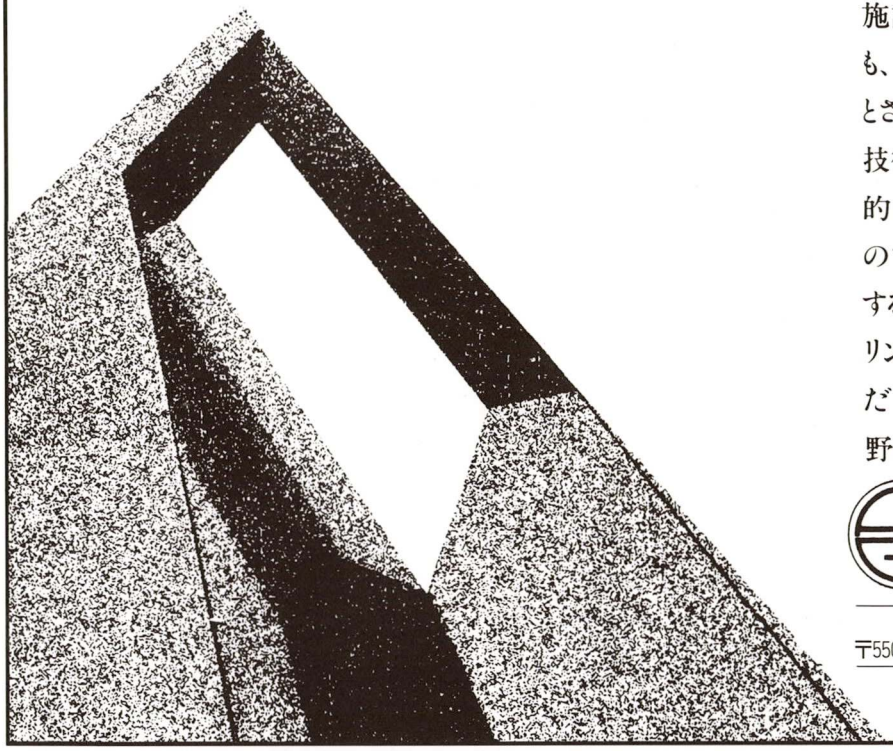
成熟社会にあって、建設業は、単に構造物をつくりあげるだけでなく、将来を見すえながら、社会の必要とするものを描き出し、その実現のために、ソフト・ハードのあらゆるノウハウを集約させなければなりません。さまざまな事業発想に生活者志向を深め、人々のニーズに適応した商品開発をはかることは、業種業態を問わず大切なことです。私たちは、その役割を、「トータル・ライフ・エンジニアリング」の立場から捉えます。



TOTAL LIFE ENGINEERING

21世紀へ 豊かさを深める——とうきゅうグループ
TOKYU CONSTRUCTION 東急建設

新世紀へ、新分野へ、新技術で。



OA化、ニューメディアシステム、省エネルギー施設など…例えばひとつのビルを建設するにも、建築技術だけでなく、様々な分野の技術とさらにそれらを有機的に結びつけるシステム技術が必要です。いま、建設会社にもより総合的な技術力が求められる時代がやって来たのです。戸田建設は、そうした多様化、複雑化する社会的ニーズに応えるため、エンジニアリングコンストラクターとして、建築・土木技術だけでなく、これらに関連する様々な専門分野の技術開発に積極的に取り組んでいます。

戸田建設

本社/〒104 東京都中央区京橋1-7-1 ☎(03)3562-6111

大阪支店

〒550 大阪市西区西本町1-13-47新信濃橋ビル ☎(06)531-6095



毎日ふれあう技術

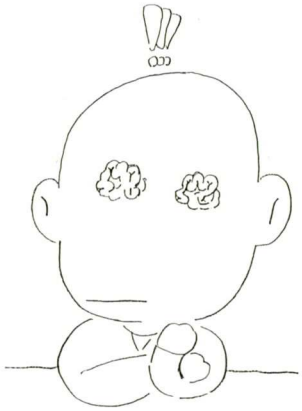
西松建設

〒105 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号 電話03(3502)0211(大代表)

FUJITA

"高"環境づくり フジタ

発想エネルギーは、無限です。



未来へ——安心を創(つく)る

FUJIKI

藤木工務店

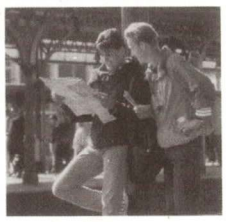
大阪本店　〒550 大阪市西区立売堀1-9-33　㊅ 06- 538-6400
本　　社　〒540 大阪市中央区常盤町1-3-9　㊅ 06- 944-1468(代)
東京本社　〒160 東京都新宿区三栄町23-4　㊅ 03-3357-1600(代)
本 支 店　大阪・東京・倉敷・京都・四国・福岡
営 業 所　埼玉・大宮・多摩・横浜・静岡・名古屋・宇治・泉南・神戸・岡山・広島・徳島・新居浜・松山・長崎・南九州

●●● いろんな笑顔をつくります。











技術が生みだす笑顔は、私たちの誇りです。

MAEDA

前田建設工業株式会社 大阪支店

取締役支店長　吉田　鍾

大阪支店／大阪市都島区東野田町2-4-20　〒534　TEL.06(353)7891(代表)



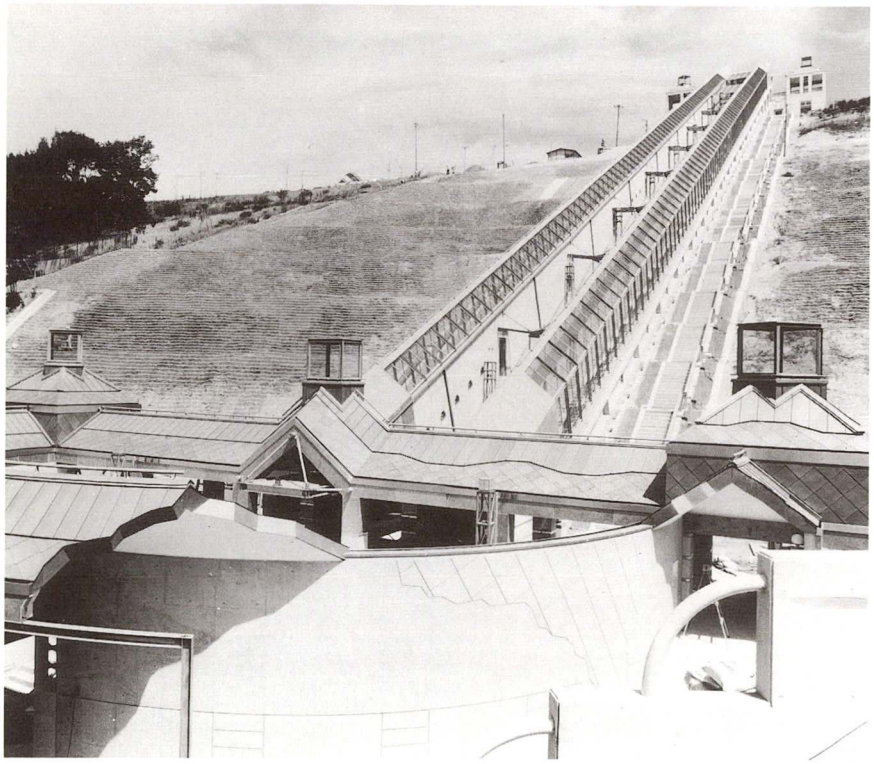
こころと技術の交響楽

技術をこえる何かが
感性が響き合う
テクノロジーとカルチャーの
出会うところ
時代をこえ、
世代をこえ、
さらに拡がる可能性

松村組

大阪市北区天満２－１－33　　電話(06)353－1131
大阪・東京・名古屋・札幌・東北・広島・福岡・神戸・京都

手応えのある内外装材



フッ素樹脂塗装・内外装パネル

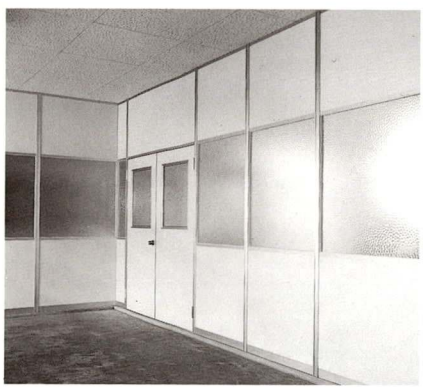
アイスロン

- 高性能フッ素樹脂塗料使用により、抜群の耐候性、耐摩耗性を実現。耐汚染性、耐薬品性にも優れ、メンテナンスが容易。
- ポストコート法により加工キズ等の心配もなく、自由なデザイン加工が可能。
- 軽量で現場での取付作業が簡単なため、工期を大幅に短縮。
- フッ素樹脂塗料用のコーキング剤の使用により、付着性が良く、耐久性も十分。
- 24色の標準色を、スチール、アルミ、ステンレスの3素材に、半艶、ラスター(艶あり)、メタリック3種類の光沢で仕上げました。標準色の他オーダー色もできます。

パーティション

IS-50

- 断熱・遮音効果を考慮した密閉タイプ、エヤコンディショニングと移動性を考慮したオープンタイプの2種類があります。
- パネル表面材には化粧鋼板、ポリエステル化粧合板を使用し、パネル色はクリーム系、木目があります。



トイレブース

IS-40

- パネルはポリエステル化粧合板またはメラミン化粧板を使用していますので耐水性、耐薬品性にすぐれ表面の落書や汚れは簡単に拭きとれます。
- パネルは四周に木芯を入れ、芯材にペーパーコアを使用していますので、十分な強度があり耐久性にすぐれています。



BL アルミニウム手すり

IST-N500

- IST-N500タイプには手すり子タイプとパネルタイプ（アルミ複合板パネル）があります。
- IST-Nシリーズには廊下用として、IST-N30・500、窓用として、IST-N30Mがそろっています。



石倉金属株式会社

金物事業本部　〒577 東大阪市金物町2番14号　☎ 06(723)1131
本　　社　〒542 大阪市中央区島之内1丁目14番14号　☎ 06(261)0271

大阪支店/ 06(723)1133　福岡支店/092(441)0947　岡山営業所/0862(82)1275　神戸出張所/078(242)8205
東京支店/03(3962)8301　札幌営業所/011(783)4751　高松営業所/0878(43)3232　住吉工場/ 06(681)9491
名古屋支店/052(703)2161　土浦営業所/0298(22)3441　新潟出張所/025(241)1621
北陸支店/0766(23)0133　高崎営業所/0273(63)3421　八王子出張所/0426(26)3061
広島支店/082(243)0315　横浜営業所/045(241)4027　金沢出張所/0762(61)5155

住宅・都市整備公団指定資材

セブンFP……室内壁等塗替塗料

フレックスコート……内装用調整仕上塗材



改修例
公団分譲住宅(所在地 千葉)
セブンコートB 49,500㎡ 塗替

改修工事を力強く支える技能集団!!
(関西地区セブンCRシステム会)

	社名	住所	電話
1	㈱エーシー	高石市高師浜	0722－63－0321
2	大阪中央建材㈲	大阪市西区	06－443－6765
3	富士技研興業㈱	大阪市中央区	06－261－5222
4	扶桑化工㈱	大阪市此花区	06－464－6551
5	松美化建工業㈱	茨木市太田	0726－26－6111
6	㈱三木塗装店	大阪市住吉区	06－699－6565
7	㈱小野工建	摂津市千里丘	06－389－2831
8	㈱大阪防水建設社	大阪市天王寺区	06－762－5621
9	大阪工業㈱	大阪市西区	06－531－4814
10	㈱サンキッド	神戸市東灘区	078－811－8881
11	サンプラス建材㈱(阪神営業所)	芦屋市三条町	0797－31－4327
12	セキシュウ技研㈱	大阪市東淀川区	06－326－1088
13	鈴木興業㈱	京都市左京区	075－761－1226
14	竹林塗装工業㈱	大阪市淀川区	06－301－9281
15	㈱特殊技研	大阪市北区	06－315－0700
16	東洋シボデック㈱	大阪市中央区	06－227－1571
17	㈲和研防水工業	和歌山県西牟婁郡	0739－43－1116
18	山岸塗装工業㈱	吹田市内本町	06－319－6136
19	㈱黒崎塗装店	岡山市今	0862－41－8700
20	黒住防水工業㈱	倉敷市連島町	0864－66－0378
21	松岡塗装㈱	倉敷市玉島	08652－2－0968
22	㈲難波塗装店	岡山市岡町	0862－22－2324
23	㈲沖塗装店	倉敷市中島	0864－65－0208
24	大阪工業㈱	広島市南区	082－261－3260

実績に支えられた塗材

★コンクリート保護工法…
「セブンCRシステム」

★吹付タイル面の綜合改修システム…
「フレッシュマスト」

★外装防水化粧材…
「セブンウォール」
(JISA6021～6910認定品)

★防水形複層塗材…「TSコート」

★単層形弾性塗材…「セブンコートB」

建築資材で貢献する
株式会社セブンケミカル

関西地区セブンCRシステム会
事務局 〒547 大阪市平野区長吉六反2-1-3 TEL.06(705)8531 FAX.06(706)4828
本社 〒160 東京都新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル7F TEL.03(3366)2616㈹ FAX.03(3366)2619
大阪事業所 〒547 大阪市平野区長吉六反2-1-3 TEL.06(705)8531 FAX.06(706)4998
埼玉事業所 〒355 埼玉県比企郡滑川町大字都25-43(東松山工業団地内) TEL.0493(56)3195㈹ FAX.0493(56)4238



ハイテックからハイタッチへ、よりヒューマンなインテリジェント都市をめざし、総合設備エンジニアリング事業を展開する「きんでん」。電気・情報通信・環境の各分野で培かった、最先端テクノロジーを統合・活用し、より快適な環境実現に役立ちたいと考えています。

株式会社 きんでん

本店 〒531 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 ☎06(375)6000　東京本社 〒141 東京都品川区東五反田5丁目25番12号 ☎03(3447)3151

MASPRO
衛星共同受信機器

優良住宅部品

住宅・都市整備公団工事指定
電気通信工事
電気工事　建設大臣許可(般-63)第3261号
全日本電気工事業工業組合連合会推奨
建設省等各省庁指定



衛星ブースター



BS-1

衛星アンテナ



BSA-120

屋内用衛星ミキサー



BS-M

屋外用衛星ミキサー



BS-MC

直列ユニット



BS-7F型　BS-77F型

分配器



BS-D2

分岐器



BS-C2

共同受信のことなら,なんでもお気軽にご相談ください。

沖縄	(098)854-2768	高知	(0888)82-0991	福井	(0776)23-8153	郡山	(0249)52-0095
鹿児島	(0992)26-9200	高松	(0878)65-3666	金沢	(0762)49-5301	仙台	(022)237-4521
宮崎	(0985)25-3877	姫路	(0792)34-6669	新潟	(025)287-3155	盛岡	(0196)41-1681
熊本	(096)381-7626	神戸	(078)843-3200			秋田	(0188)62-7523
長崎	(0958)46-6872	大阪ｵ	(06) 632-8811	横浜	(045)784-1422	青森	(0177)42-4227
福岡ｵ	(092)531-3861	近畿CATV	(06) 632-1144	渋谷ｵ	(03)3409-5505		
北九州	(093)941-4026	京都	(075)341-0595	関東CATV	(03)3499-5631		
				秋葉原	(03)3255-7335		
下関	(0832)55-1130	津	(0592)34-0261				
徳山	(0834)32-2954	岐阜	(0582)74-5315	八王子	(0426)37-1699		
広島	(082)230-2351	名古屋ｵ	(052)802-2233	千葉	(043)232-5335		
松江	(0852)21-5341	中部CATV	(052)804-6262	大宮	(048)663-8000		
岡山	(0862)52-7587	豊橋	(0532)52-7161	前橋	(0272)63-3767		
		静岡	(054)283-2220	水戸	(0292)48-3870		
松山	(0899)73-5656	松本	(0263)47-7551	宇都宮	(0286)60-5008		

函館	(0138)53-7355
札幌	(011)782-0711
釧路	(0154)23-8466
旭川	(0166)25-3111
北見	(0157)61-0480

親切・技術・ニューメディアの

マスプロ電工

本社470-01 名古屋市外・愛知郡・日進町・浅田
技術相談　TEL名古屋(052)805-3366
営業　TEL名古屋(052)802-2244

耐雨ガラリレジスター

BL認定NO.VU-0188

耐雨100 No.100(A)BL
耐雨150 No.150(A)BL

外　部



表



裏



内　部

■材質
：耐食アルミ　板厚0.8㎜
● 後部に水返しが付いています。
ブロンズ色・アイボリー色もできます。
■表面仕上
：アルマイト加工

■材質
：耐食アルミ　板厚0.8㎜
● SUS304　16メッシュ防虫網付
■表面仕上
：アルマイト加工

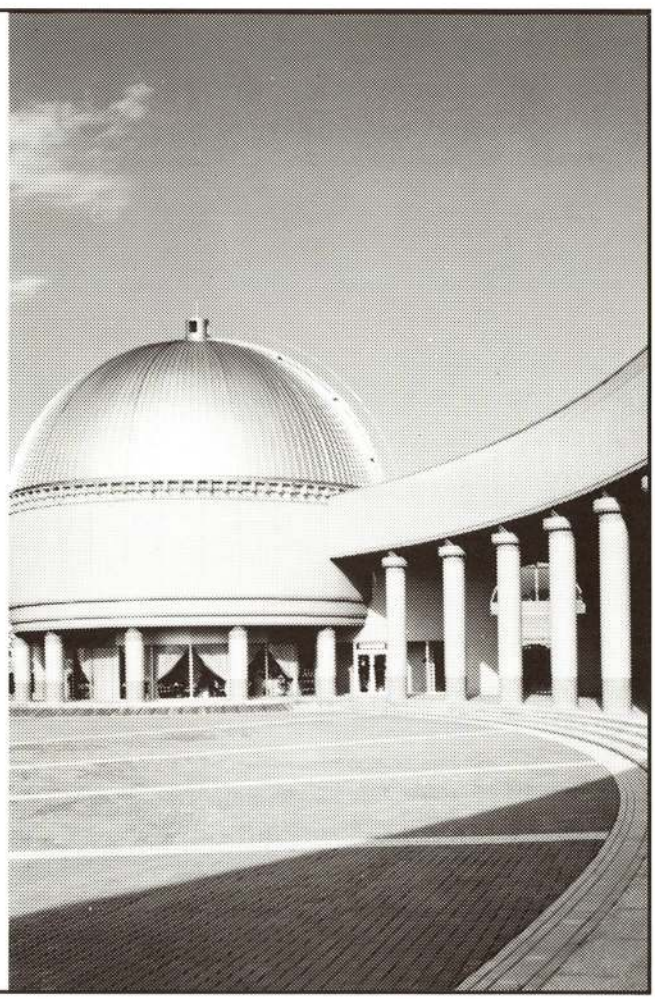
アイエム株式会社

東京　〒116 東京都荒川区西日暮里6-47-9 ＫＳ小宮ビル　TEL.(03)3894-8831(代)
大阪　〒556 大阪市浪速区塩草3－9－4 アイエムビル　TEL.(06)561-3901(代)
福岡　〒812 福岡市博多区比恵町10－15 岩保ビル比恵　TEL.(092)475-6181(代)

INAX

人・間・空・間
たいせつに

INAXが提唱する「環境美」は、都市空間を再構成する都市美、
高質の住まいづくりを推進する生活美、
そして企業イメージを建築物で高める企業美
この3つが柱となっています。
そしてここに共通する基盤は、「セラミック技術」です。
台所、浴室、トイレなど水まわりはもとより、
門、庭園、玄関まわりなどのエクステリアをカバーし、
さらに建築の内外装から街の広場づくりへと、
INAXタイルの世界は大きく未来をひろげつつあります。



株式会社INAX
大阪支店　〒550　大阪市西区新道１－７－１　TEL.06－532－6081
本　　社　〒479　愛知県常滑市鯉江本町5－1　TEL.05693－5－2700

ALESCO



空間の、フォーマルウェア。

自然の風合を大切にした美しさ。
感性のきらめきを表現するデザイン。
そして、繊細にして個性を主張する色彩。
これからの商業空間に求められる美意識を、
全身で表現する高級内装用塗料〈ゾラトーン〉。
その優雅でモダンな表情は、
まさに空間のフォーマルウエアと呼ぶにふさわしい美しさです。

特長
▶優雅、重厚、、ダンなど多彩な高級デザインが選択できます。
▶ワンコート仕上げで多様な彩色ができるマルチカラーコーティング材です。
▶施工時での臭気が弱い。
▶メンテナンスクリーニング性に優れています。
建設省認定防火材料基材同等0001号同等

用途
インテリジェントオフィスビル・ファッションビル・イベントホール・高級ホテル・デパート・病院・学校・ブティックなど高級店舗のインテリア・その他装飾用什器、備品。

高級多彩模様塗料
ZOLATONE®
ゾラトーン

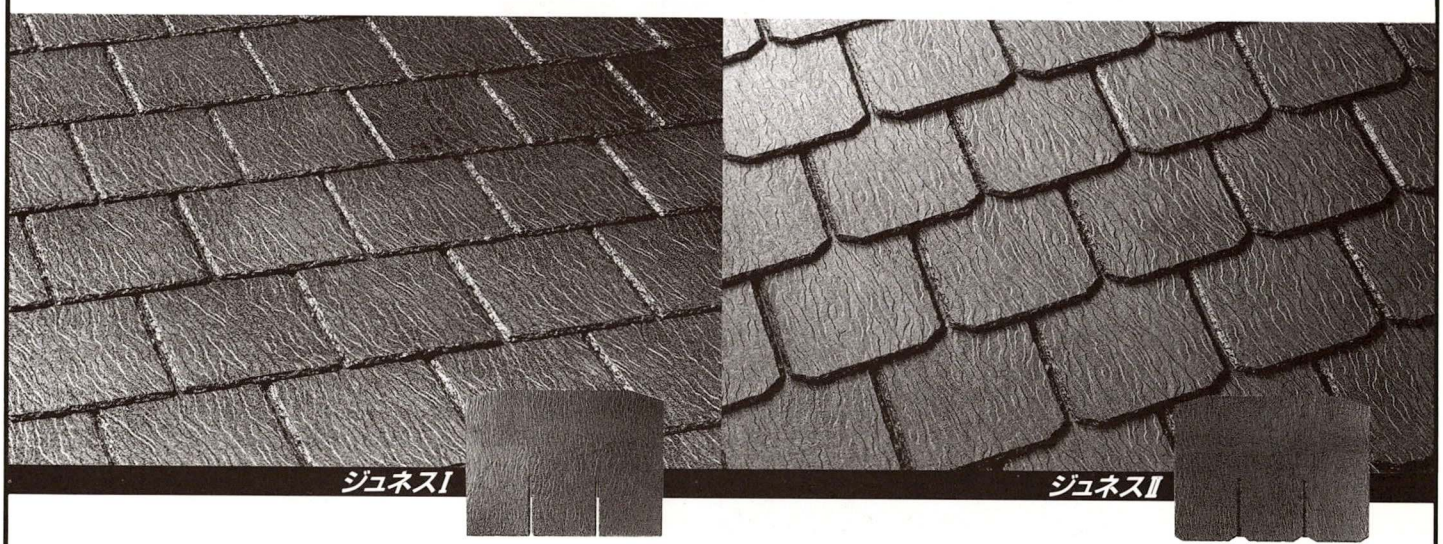
関西ペイント株式会社

東京　〒140 東京都品川区東大井5丁目24番15号 TEL(03)3472-3121 FAX(03)3472-8251
大阪　〒541 大阪市中央区伏見町4丁目3番6号 TEL(06)203-5012 FAX(06)227-5690

Kubota
美しい日本をつくろう。

深い味わいと気品が、屋根に新しい魅力を実現します。

カラーベスト ジュネスは、クボタが長年の実績と先進の技術で開発した高級屋根材。
小割り一文字葺きのジュネスIと貝殻葺き調のジュネスIIの2タイプを揃えています。
両タイプとも、裏表両面塗装のカラースルー仕上げ。深い気品と格調を長期間、保ち続けます。



クボタカラーベスト ジュネス

株式会社クボタ 住宅機材事業本部
本　　社 大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号 〒556 ☎06 (648)3758
東京本社 東京都中央区日本橋室町3丁目1-3 〒103 ☎03(3245)3745



地球サイズの快適と、人間サイズの素敵を。

自然との調和、ライフスタイルの変化へのフレキシブルな対応。さらには、都市の表情を豊かに演出する感性。私たち三協アルミは、これからも、地球・時代・人間を見つめ、快適空間を創造しつづける企業でありたいと思います。そして今回、その思いをより具体的に実現させるために、新たなテーマを掲げました。〝ドリームワーク〟——夢をひとつずつカタチにすること。全国のお客様から寄せられる、さまざまなご要望にお応えするために、私たちは、蓄積されたノウハウのすべてを生かし、このテーマのもとに未来を目指します。



■新湊工場

三協アルミニウム工業株式会社

本　　社：〒933 富山県高岡市早川70　ビル建材本部 TEL.(0766)20-2201
大阪本部：〒550 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館ビル6階　営業推進部 TEL.(06)448-5451

©三協アルミニウム工業株式会社 1991年

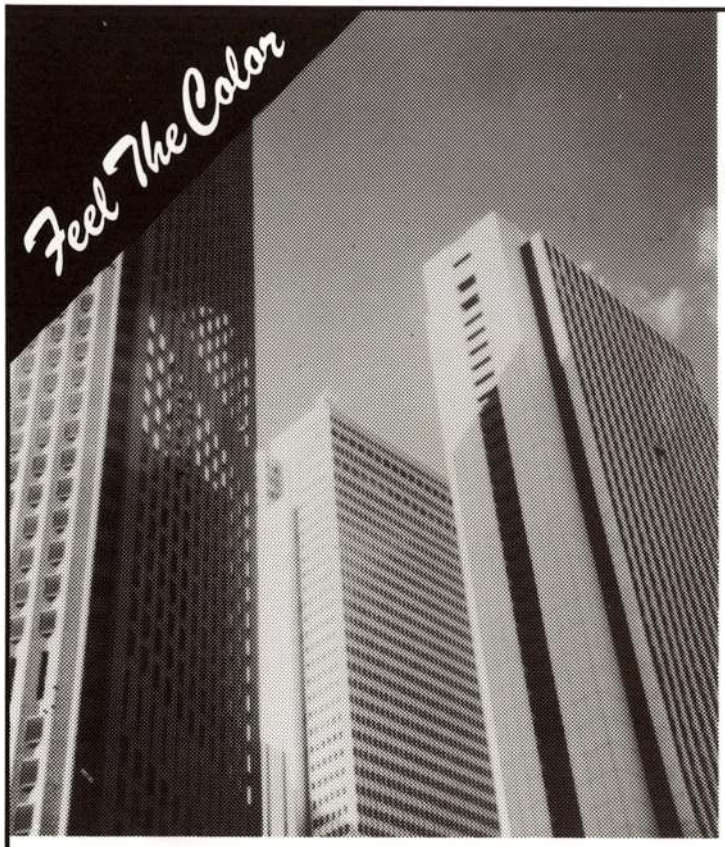


三和シャッター

地球ブランド

「三和から〜New Sanwa」へとたしかなビジョンのもとに、世界に通用する総合建材メーカーとして歩み始めました。

三和シヤッター工業株式会社
営業本部関西営業推進部
〒532 大阪市淀川区宮原4-4-50 真和ビル8F ☎061(396)6871



高機能　高品質　高感性

シントーの外装材シリーズはあらゆるシーンにマッチします。

無機系超耐候性不燃形仕上システム
ムキテックス

アクリルシリコン上塗塗料
ハイデントップ

弾性形アクリルシリコン上塗塗料
ハイデンフレックス

常温乾燥形フッ素樹脂塗料
シントーフロン#200

JISA6910防水形複層仕上塗材
シントーセメロン#200

JISA6910防水形複層仕上塗材(単層形)
ニューラバロン

JISA6910防水形複層仕上塗材
ラバシール

防水形複層仕上塗材
ラバータイル

さわやかな環境の提案
神東塗料
東京 ☎(03)3272-4031　大阪 ☎(06)421-9851

床を創る TAJIMA

人・歩・く

いつからだろう。
人が、歩きはじめたのは。
どうしてだろう。
地球に重力があるのは。
いつからだろう。
人が、靴をはくようになったのは。
どうしてだろう。
屋根の下に、人が暮らすようになったのは。
きっと、これからも
人は、歩きつづける。

●

人が歩きつづける限り
タジマは、これからも床づくりです。



HUMAN WORKS
タジマは、"床づくり"で人と語ります。

株式会社タジマ
■営業本部 〒110 東京都台東区北上野1-6-11ノルドビル ☎03(3866)6101
■東京営業所 〒101 東京都千代田区岩本町3-10-12山源ビル ☎03(3861)3101
■大阪営業所 〒550 大阪市西区京町堀1-10-5 ☎06(441)5951



高性能
DNTの外装用塗料シリーズ
高品質

超耐候性フッ素樹脂塗料
Vフロン

超耐候性・高弾性建築仕上材
Vフロン弾性

アクリル樹脂系強力かび止め塗料
ビルデック

外壁塗り替え用強膜塗料
ビルデックタウン

●くらしを色で演出する●
DNT
大日本塗料

●お問い合わせは
● 大阪 ☎06-466-6616
● 東京 ☎03-3769-2181
● 名古屋☎052-332-1701

TOYO Shutter

光り輝くビジュアル・シャッターが、
閉店後のお店をアピール。

絵や写真、文字を使って自由にデザインされたスクリーンとバックライトを、シャッターに組み込んだ〈アドビジョン〉。浮かびあがる美しいメッセージが、閉店後のお店を、効果的にアピール、夜間でも、あなたのお店を強く印象づけます。〈アドビジョン〉は、今、新しい時代の、新しい扉を開きます。

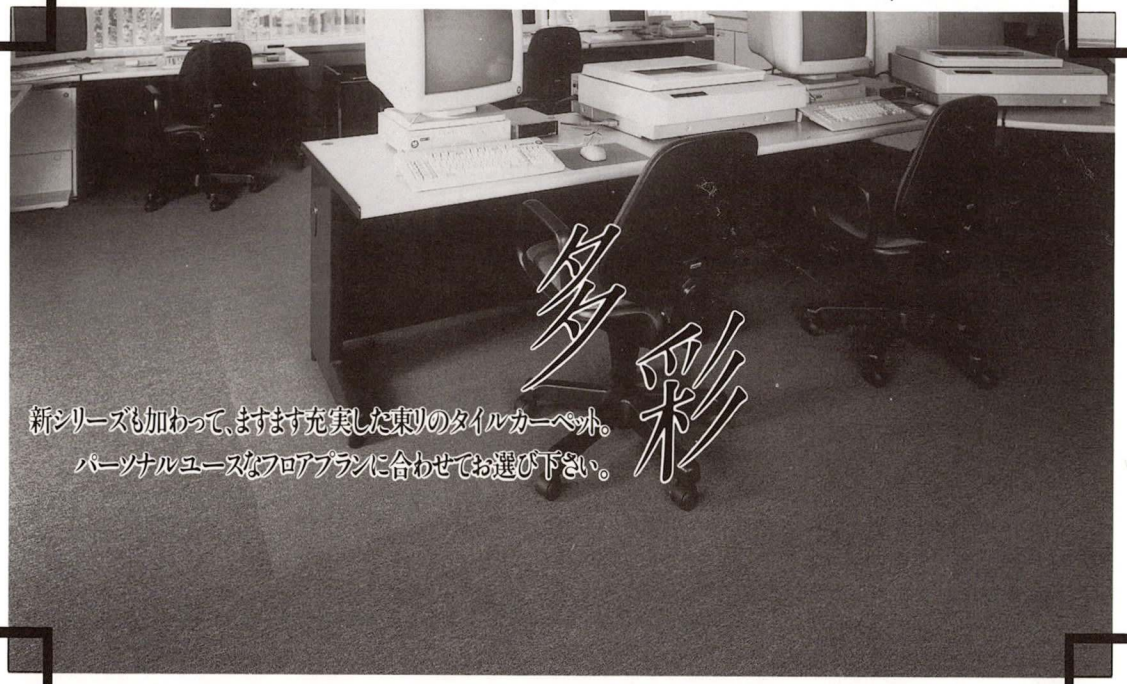


アドビジョン



東洋シヤッター株式会社
本　社／大阪市中央区常盤町1-3-8（日本生命谷町ビル）〒540
TEL. 06-943-6571㈹
東京本社／東京都港区六本木6-3-18（第一地所麻布ビル）〒106
TEL. 03-3479-2911㈹

TOLI TILE CARPETS



多彩

新シリーズも加わって、ますます充実した東リのタイルカーペット。
パーソナルユーズなフロアプランに合わせてお選び下さい。

〈GA・GFの新シリーズが加わりました。〉

東リ

東日本営業開発部 〒105 東京都港区虎ノ門1-12-15 TEL.03(3503)6231
西日本営業開発部 〒540 大阪市中央区大手前1丁目7-31 OMMビル TEL.06(943)1645

21世紀を担う——メルタン21

トーチ工法



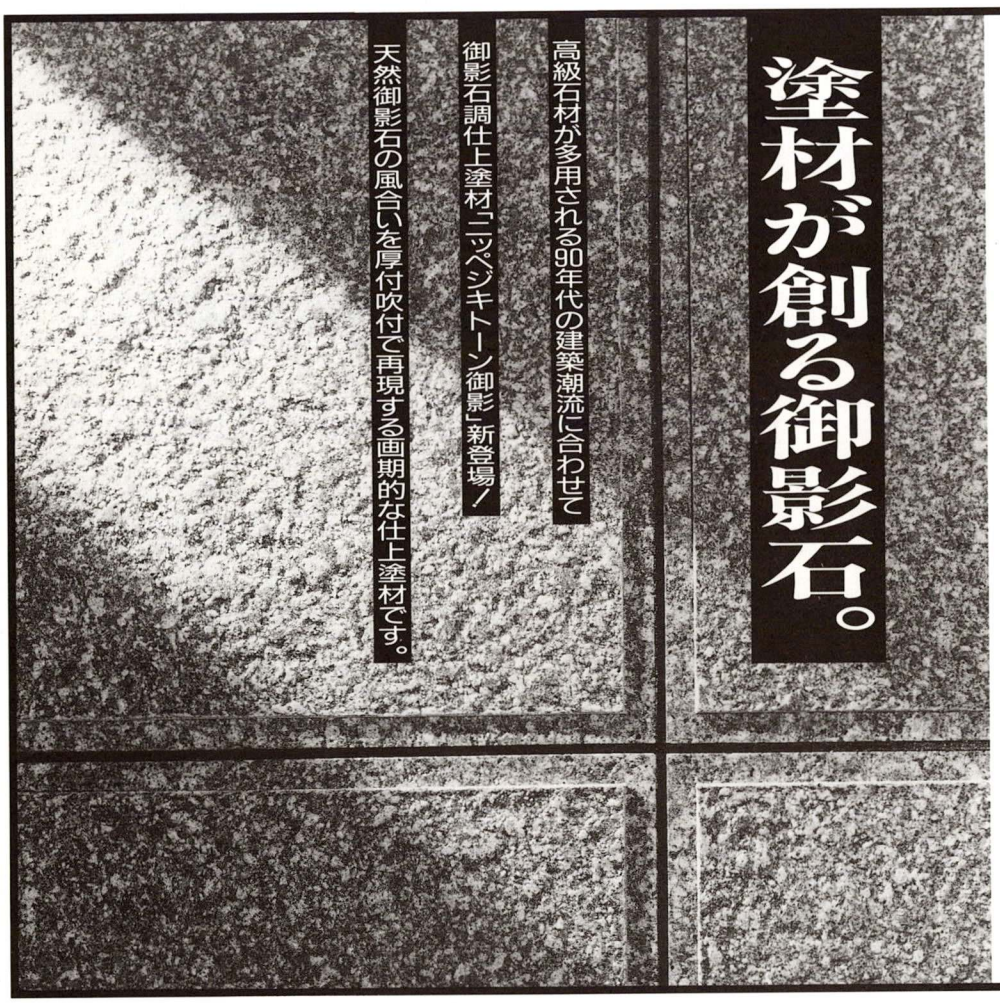
NISSHIN

マルエス 日新

総合防水メーカー

日新工業株式会社

本　社 東京都足立区千住東2－23－4☎03(3882)2424
大阪支店 大阪市西区新町1－12－22☎06(533)3131
●九州　●名古屋　●札幌　●仙台　●広島



塗材が創る御影石。

高級石材が多用される90年代の建築潮流に合わせて

御影石調仕上塗材「ニッペジキトーン御影」新登場！

天然御影石の風合いを厚付吹付で再現する画期的な仕上塗材です。

ニッペ ジキトーン御影 MIKAGE

特長

- ●天然石模様の風格ある仕上がり
- ●厚みのある重厚な仕上がり（厚さ2.5㎜以上）
- ●変色が少なく、優れた光沢保持性・耐水性・耐候性・耐汚染性
- ●ALC下地にも施工可能
- ●湿式工法で自由な目地模様・目地割が可能

用途

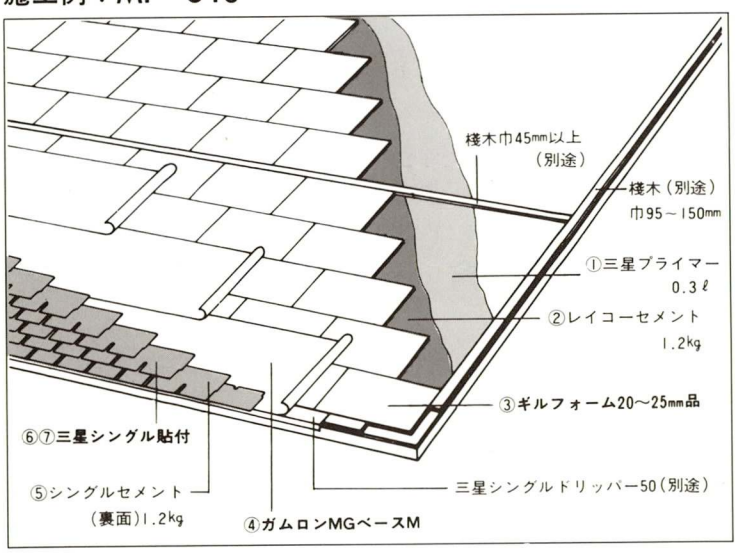
- ●適用下地：
  コンクリート、モルタル、PC板、ALC板、ブロックなど
- ●適用箇所：
  一般内外壁面、玄関、ロビー、応接室、店舗、レジャー施設、門、塀、柱、柱型など

日本ペイント Basic & New

〒531 大阪市北区大淀北2-1-2 ☎06-458-1111
〒140 東京都品川区南品川4-1-15 ☎03-3474-1111

三星シングル WP-35

施工例：MI—510



勾配2/10～3/10

三星シングルの特長

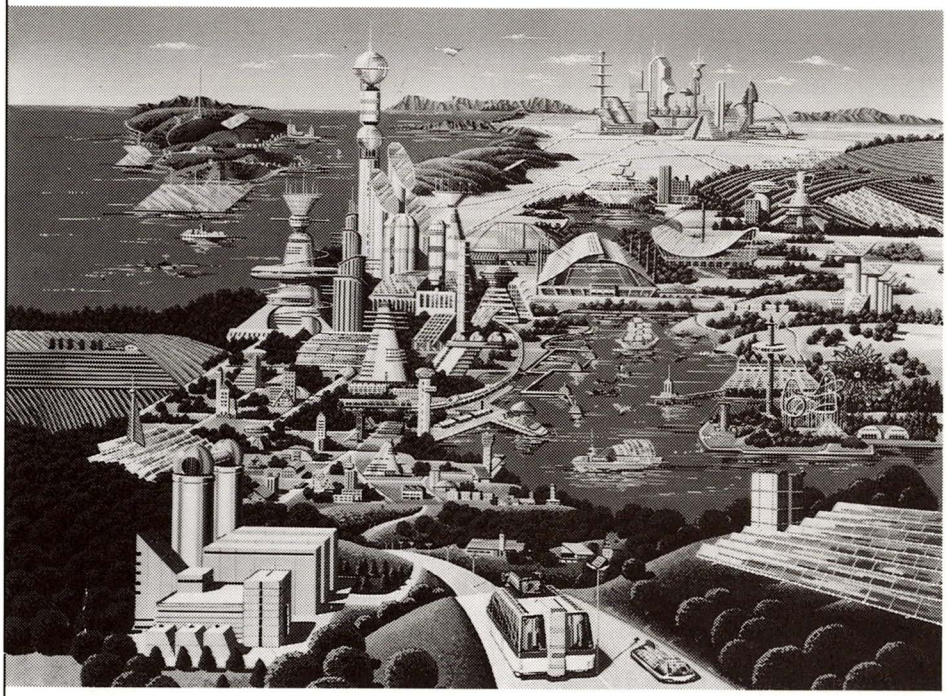
1. 美しく柔かな外観
2. 丈夫で割れない
3. 軽量でなじみが良い
4. すぐれた防水効果
5. 風に強い
6. 居住性向上(断熱工法)

西日本三星シングル工事協同組合
田島ルーフィング株式会社

大阪 〒550 大阪市西区京町堀1－10－5 TEL06(443)0431
広島 〒730 広島市中区西平塚町8-13 立駐広島ビル TEL082(246)8625
福岡 〒810 福岡市中央区港2－1－29 TEL092(712)0800
東京 〒101 東京都千代田区岩本町3－11－14 TEL03(3862)8531

「いま」と「未来」のためのニューテクノロジー

FUJI ELECTRIC



豊かで潤いのある社会づくりを目指しています。

富士電機は、「パワー&エレクトロニクス」技術を基盤とし、上下水道処理設備や工場の生産ラインなどを効率的に制御する「システムコントロール」、燃料電池、太陽電池、地熱発電など環境に優しい「クリーンエネルギー」、UPSなどコンピュータやOA機器を支える「情報機器」など広い分野で、快適な環境づくりにお応えしています。

聞こえてきますか、
技術の鼓動。

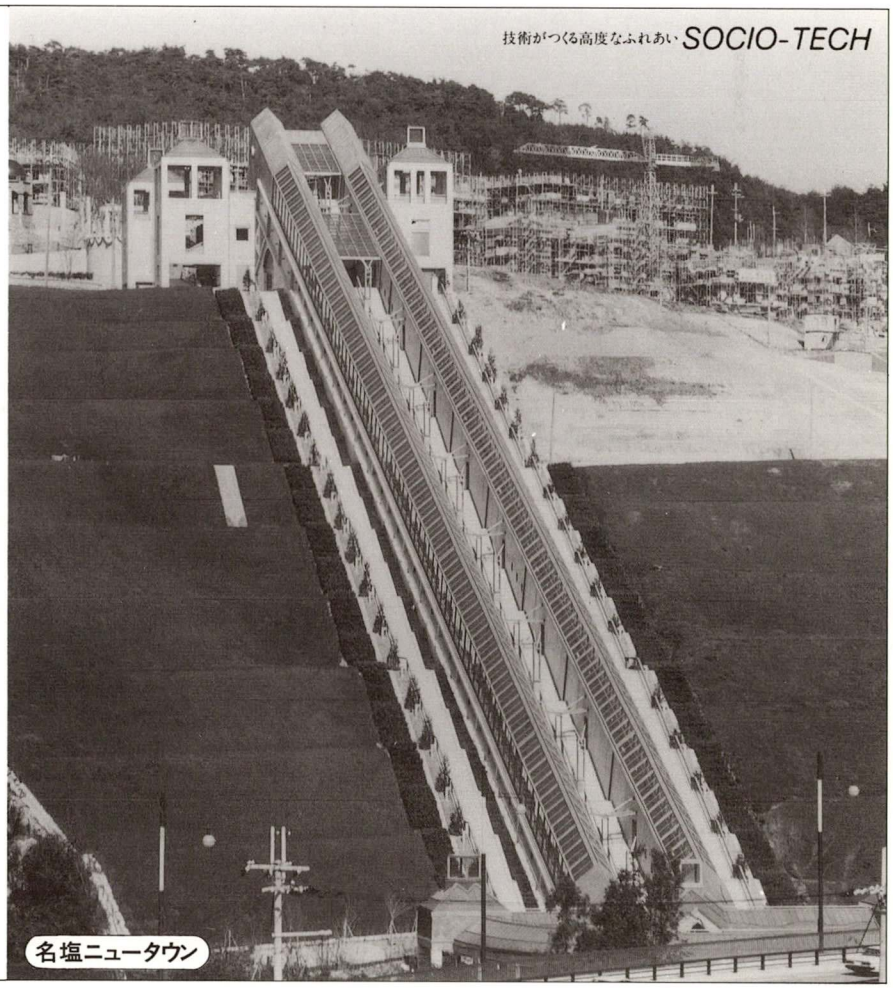
富士電機

富士電機株式会社　本　　社 〒100 東京都千代田区有楽町1-12-1(新有楽町ビル) ☎(03)3211-7111
関西支社 〒553 大阪市福島区鷺洲1-11-19(富士電機大阪ビル) ☎(06)455-3800

MITSUBISHI

三菱斜行エレベーター

技術がつくる高度なふれあい SOCIO-TECH

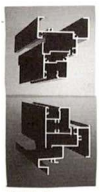


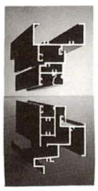
三菱電機株式会社
関西支社ビルシステム部
〒530　大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)
TEL. (06)347-2316

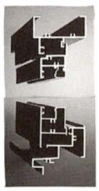
「先駆」の充実。

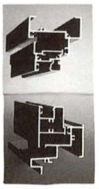
トータル・システムの思想が貫かれたビル用サッシ“進化形”、エクシマ。

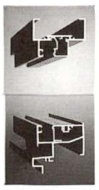
低層から中・高層まで、ひとつのシリーズで多様なビルをカバーするトータル・システム・サッシ「エクシマ」。形材や部品のひとつひとつにいたるまでシステムの思想で貫かれた多彩な製品バリエーションは、いま、ますますその充実度を高めています。工法の違いや、高さによる性能の違いを超え、特殊用途も含めたあらゆる開口部に統一デザインで対応しながら、設計から現場施工までの確かさと合理性も同時に実現したエクシマ。登場いらい、すでに数多くの実績を積み重ねている事実こそ、その優れた機能と性能の何よりの証です。


外倒し窓


内倒し窓


横軸回転窓

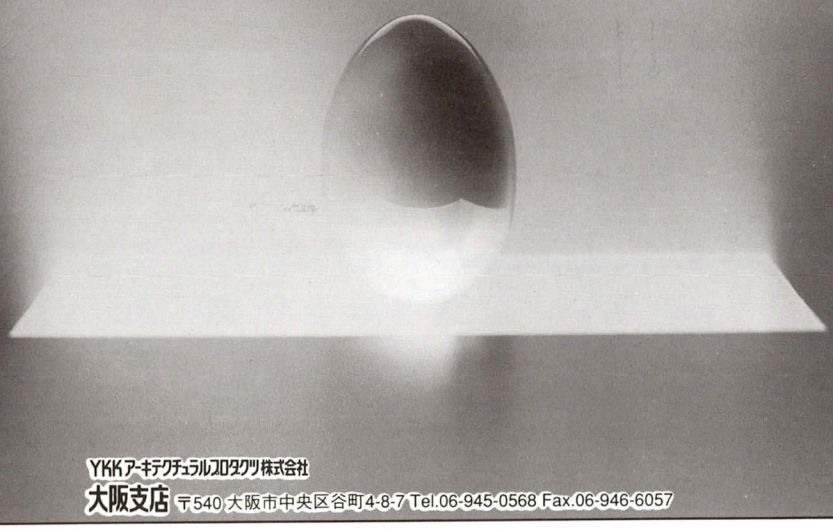

にり出し・突き出し窓


はめ殺し窓

YKK

ビル用システムサッシ

EXIMA エクシマ



YKKアーキテクチュラルプロダクツ株式会社

大阪支店 〒540 大阪市中央区谷町4-8-7 Tel.06-945-0568 Fax.06-946-6057

住宅・都市整備公団関西支社10周年特集

関連広告目次

アイエム㈱……88
㈱淺沼組……74
安藤建設㈱……74
㈱INAX……88
石倉金属㈱……84
大阪ガス㈱……表4
㈱大林組……70
㈱奥村組……75
鹿島建設㈱……75
関西ペイント㈱……89
㈱きんでん……86
㈱クボタ……89
クボタハウス㈱……72
㈱熊谷組……76
㈱鴻池組……76
佐藤工業㈱……77
三協アルミニウム工業㈱……90
三和シヤッター工業㈱……90
清水建設㈱……77
神東塗料㈱……91
住友建設㈱……78
㈱セブンケミカル……85
積水化学工業㈱……72
積水ハウス㈱……72
㈱錢高組……78
㈱タジマ……91
大成建設㈱……79
㈱竹中工務店……71
大日本塗料㈱……92
大日本土木㈱……79
大和ハウス工業㈱……72
戸田建設㈱……81
東海興業㈱……80
東急建設㈱……80
東洋シヤッター㈱……92
東リ㈱……93
ナショナル住宅産業㈱……72
日新工業㈱……93
日本ペイント㈱……94
西松建設㈱……81
西日本三星シングル工事協同組合……94
フクビ化学工業㈱……表2
㈱フジタ……82
㈱藤木工務店……82
富士電機㈱……95
マスプロ電工㈱……87
前田建設工業㈱……83
㈱松村組……83
ミサワホーム㈱……72
三菱電機㈱……95
ユニチカ㈱建設事業本部……73
YKKアーキテクチュラルプロダクツ㈱……96

構造の頁

205 アメリカの建築構造視察

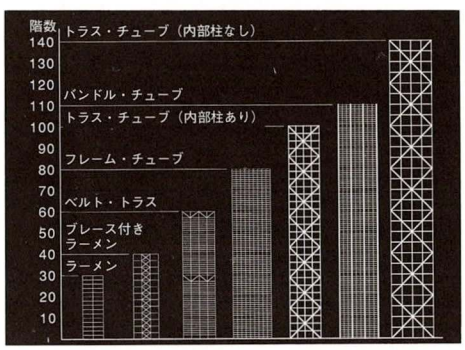
瀬川　輝夫

一昨年末、米国における建築生産技術の現状を調査するため、社内調査団の一員として、同国の構造設計事務所、ゼネコン、ファブリケータや建設現場を訪問・視察する機会を得、ニューヨーク、ボストン、シカゴ等米国の6都市の調査を通じて、設計・施工の進め方、クライアントと建築家および技術者相互の関係等、建築の生産技術に関わるいくつかの重要な知見が得られた。

ここでは、構造設計事務所の訪問、構造技術者とのディスカスから得られた二、三の「構造的私見」について述べてみたい。

超高層建築の構造スタイル

スキッドモア・オウイングス&メリル（SOM）は、設計組織の規範ともいわれる米国最大の総合設計事務所である。1950年代以降の米国モダニズム建築の担い手となったSOM事務所のパートナーであり、構造技術陣のリーダーであったF.カーンは、モダニズム建築とともに世界の超高層建築を席巻した偉大な構造技術者といえよう。建築家B. J.グラハムとの絶妙のコンビによるジョン・ハンコック・センター（シカゴ、100階）やシアーズ・タワー（シカゴ、110階）等の具体例とともに、1970年代に彼が提示した架構システム（**図—1**）は、現在に至るまで世界の超高層建築における構造スタイルのスタンダードとなっている。



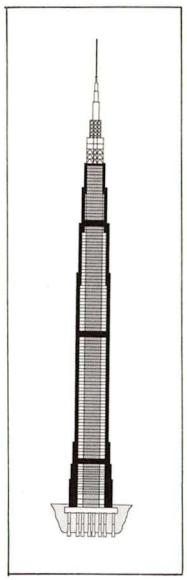
図—1　F.カーンの提示した超高層建築架構システム（S造）

モダニズムの退潮以後、米国の超高層建築は装飾によってヒューマン・アトモスフィアなデザインを復権させたクラシシズム的様式で展開している。このような建築デザインの変化にも関わらず、相変わらず蔓延するチューブのスカイスクレーパーを米国の各都市でみて多分に食傷気味となった筆者の眼には、以下に述べる2事務所のパートナーたちの独特な構造スタイルが新鮮に映った。

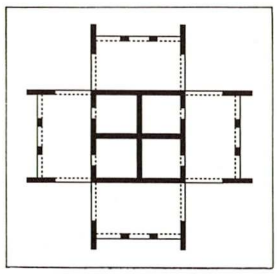
C.ソーントン（レブ・ゼットリン・アソシエイツ、**写真—1**）の最近の代表作であるミグリン・ベイトラー・タワー（建築家C.ペリ、シカゴ、124階、**図—2、3**）は、シアーズ・タワーを上回るRC造の超高層建築であるが、その架構の構造要素は平面中央コア部分のシェア・ウォールと外周の柱8本に集約されている。

W.レメジャー（レメジャー・コンサルタンツ、**写真—2**）のサウスウエスト銀行（建築家マーフィー&ヤーン、ヒューストン、78階、**図—4、5**）では、架構はさらに集約化されて、主要な構造体は外周の柱8本のみとなっている。

ファサード・デザインの自由度を高めるために数少ない柱に力を集中させる彼らの構造スタイルは、均質なチューブで代表されるカーンのそれに比べて単純、強引にもみえる。しかし柱に力を伝達するために巧みに配置されたブレースや、ディテールに対する大胆で細やかな配慮、さらには1,000 kg/cm²クラスの高強度コンクリートの採用等に、彼らの独創的で挑戦的な姿勢をうかがうことができる。



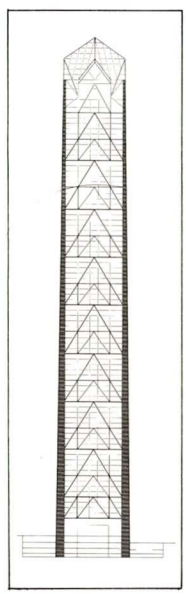
図—2　軸組図



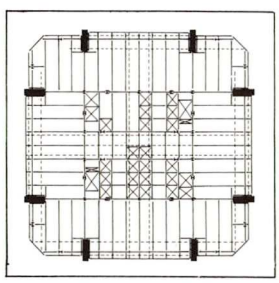
図—3　平面図



写真—1　C.ソーントン



図—4　軸組図



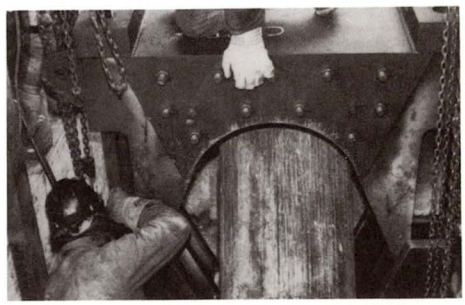
図—5　平面図



写真—2　W.レメジャー

都市のリノベーション

米国では建築の構造設計を専業とする構造設計事務所はむしろ稀であり、多くの事務所は程度に差はあれ建築・土木構造技術コンサルタント的な性格を有している。ワイドリンガー・アソシエイツは、建築構造のほかに土木構造および研究開発の三つの部門を持ち、その総合力で幅広い活動を行っている構造設計事務所である。ヤコブ&ヤビッツ・コンベンション・センター（建築家I.M.ペイ、ニューヨーク）等の著名な建築作品を手がけている同事務所の活動の中で特に印象付けられたのは、マンハッタンに架けられた橋梁（**写真—3**）、地下鉄トンネルおよびビル等のリノベーションに対する積極的な取り組みである。



写真—3　マンハッタン橋（1907）におけるアンカー軸力の再導入

ニューヨーク等の大都市における社会資産の老朽化という問題は、膨張・高密度化し続けるわが国の都市が持つ深刻な今日的課題として、その重要性が認識された。

構造設計事務所のリーダーたち

米国における建設産業は1989年後半から停滞を余儀なくされており、構造技術者たちも現在厳しい環境に置かれている。しかし、米国で訪れた構造設計事務所のリーダーたちが示した誇りと自信に、少なからずわれわれは圧倒された。年齢50～70代の彼らのほとんどは、設計事務所における主要なパートナーであり、また担当する個々のプロジェクトに精通した現役の構造技術者でもある。われわれに対するプレゼンテーションのほとんどすべては彼ら自身によってなされた。そのほとんどが仕事のかたわら大学で教鞭をとる工学者でもある彼らは、設計された作品に、その個性を、また事務所の特質を、強烈にアピールしている。

大空間構造に独特な作風を示した前任者から事務所を引き継ぎ、超高層建築技術で事務所の規模を拡大しつつあるC. ソーントン。“Built Well”（うまく造れるものが大切）と、自己の構造スタイルを熱っぽく語るW.レメジャー。堅実でアカデミックな事務所を支える、多少古風で頑固なP.ワイドリンガー（**写真—4**）等、心に残るリーダーたちであった。



写真—4　P.ワイドリンガー

（せがわ　てるお　株式会社竹中工務店大阪本店設計部
構造担当副部長・工学博士）

設備の頁

206
緊急離着陸場と照明

小浜　孝司

ヘリコプター運用等の規制緩和や、ヘリコプターを使用したコミューター交通構想、また物資輸送・人員輸送・緊急医療など、混雑する陸上交通に代わる交通機関としてのヘリコプターに対する関心が高まってきており、現在、ヘリポートの設置機運が非常に高まっている。

特に、火災時などの緊急救助活動時に、ヘリコプターによる屋上階からの救助および消防活動を目的として、平成元年4月に「超高層建築物などの防災性能向上の推進について」の通知が消防庁より各消防に出されて以来、高層ビル・公共施設・病院などの建設時や改築時において、緊急離着陸場・緊急救助用スペースを設置するように指導がなされており、最近では、それらを設置した建物（**写真―1**）がかなり増えてきている。

これらのヘリポート・緊急離着陸場の運用については、原則として日の出から日没までとされてきたが、地上の夜間照明により位置の確認ができれば、夜間運行も認められるようになった。

ヘリコプターの離着陸場は、現在、運輸省所轄のものと消防庁所轄の大きく2つに分類することができ、これをさらに分類すると**表―1**のように5つに区分される。

航空法上、緊急離着陸場（救助用スペースを含む）は、ヘリポートや場外離着陸場とは認められていないために（**表―2**）、特定機関であっても離着陸訓練を実施する場合は、都度、場外離着陸場として申請し、認可を受ける必要がある。

消防庁におけるヘリコプター離着陸場の設置要請の建築物は、**表―3**の通りである。

そのほかに設置が望まれるものとしては、公共建築物としての市役所・区役所・学校・公会堂・消防署・警察署等や、避難場所に設定されている広場近くの建築物である。

緊急離着陸場（救助用スペースを含む）の照明設計

緊急離着陸場・緊急救助用スペースの設置は、法的に定められたものではないが、消防活動が有効かつ円滑に行えるためにも、努めて指導に従って設置するのが望ましく、それらの夜間照明設備についても同様のことが言える。特に、高層マンション等、夜間に人が多く居るような建物におい

表―1　ヘリコプター離着陸場等の区分

区分		所轄	内容
ヘリポート	公共用	運輸省	公共の用に供するもの
	非公共用		特定機関のみ使用できる専用のもの
場外離着陸場（臨時ヘリポート）		航空局	都度申請で使用できる臨時のもの
緊急離着陸場		建設省、自治省	緊急時の特定機関のみ離着陸できるもの
緊急救助用スペース			緊急時の特定機関のみホバリングできるもの

表―2　航空法での緊急離着陸場等の位置づけ

緊急離着陸場等の分類		航空法の取り扱い
飛行場*1（ヘリポート）	陸上ヘリポート	航空法第38条（飛行場等の設置認可）に基づき、常時飛行場として使用することを目的して設置された場所
	屋上ヘリポート	
飛行場外離着陸場*1	陸上	航空法第79条ただし書き（飛行場以外における離着陸認可）に基づき、使用の都度運輸大臣の許可を受ける場所
緊急離着陸場*2	陸上 屋上	航空法第81条の2（捜索・救助のための特例）に適用される災害活動に際し、緊急用ヘリコプターが離着陸する場所
緊急救助用スペース*2	屋上	航空法第81条の2（捜索・救助のための特例）に適用される災害活動に際し、緊急用ヘリコプターがホバリングする場所

＊1：航空法の適用があり、運輸大臣の許可を要するもの。
＊2：航空法の適用が除外されるため、東京消防庁の基準を適用するもの。

表―3　ヘリコプター離着陸場の設置要請

区分＼対象建物	高さ31m以上100m未満の防火対象物	高さ100m以上の防火対象物	防災関係公共機関	第三次*2医療機関
屋上ヘリポート*1	△	△	△	△
緊急離着陸場	△	○	○	○
緊急救助用スペース	○	□	—	—

△：設置を推奨される。
○：設置を要望される。
□：緊急離着陸場の設置が困難である場合に要望される。

＊1：航空法の適用を受けるもの。
＊2：救命救助センターで、重篤救急患者の医療機関。

表―4　設置灯火

区分＼灯火名称	灯台	境界灯	境界誘導灯	風向灯	着陸区域照明灯	誘導路灯	禁止区域灯	障害灯
緊急離着陸場	○	○*2	□	□	○*2	□*1	□*1	△
緊急救助用スペース	○	○*2	□	□	○*2	□*1	□*1	△

○　：設置を必要とする。
△　：立地条件から、航空機の離着陸の安全を確保するため、必要と認められる場合に設置を心要とする。
□　：特に規定をされていない。

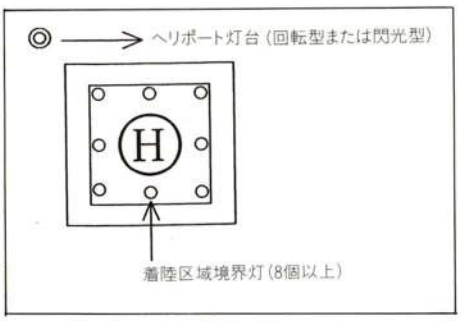
＊1：相当施設がある場合は設置する。　＊2：いずれかを設置すること。

■灯火の設置位置

いずれの灯火も、設置位置は進入表面や、転移表面（1／2）から下で、かつ救助・避難者に影響のない位置となるように取り付ける必要がある。



写真－1　施設例



図－1

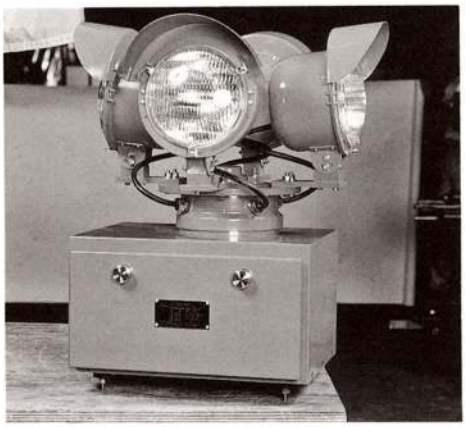


埋込型境界灯



露出型境界灯

写真－2　着陸区域境界灯



写真－3　ヘリポート灯台

ては、少なくとも消防活動に最低限必要な夜間照明を設置することが望まれる。

設置灯火

設置灯火については、**表－4**のものが必要であると指導されている。

使用灯火の規定は特にないが、基本的には運輸省で規定されている灯火を使用する。また、将来、非公共用のヘリポート等への転用をお考えの設置者は、この基準のみでなく、航空法上の基準にも合致する灯火・基準などでの設置をお勧めする。

■着陸区域境界灯

緊急離着陸場必須灯火であり、設置数については、離着陸地帯の境界線の一辺につき3灯の計8灯以上（**図－1**）で、設置場所は境界線上である。

境界灯には埋込型と露出型の2つのタイプがある（**写真－2**）が、露出型の場合、避難・救助時に障害となる恐れがあるため、通常は埋込型を設置する。なお、手摺があり、埋込型を使用すると、それによって遮光され、効果を発揮できないことがある場合や、施工上、埋込型を使用するのが困難な場合は、露出型の境界灯か着陸区域照明灯を使用する。（その際は、地元消防署との打ち合わせが必要である）

■着陸区域照明灯

境界灯が使用できない場合に使用する投光器タイプの照明灯で、設置数は4灯となっている。

設置条件としては、照明時の離着陸地帯の明るさが法線照度で10 lx以上となっているが、この条件では十分な明るさを与えることが不可能であるので、平均水平面照度が30 lx以上となるように設置位置を決める。通常は、離着陸地帯の明るさの均一性を保つため、左右より照明し、制限表面以下に灯器が位置するように設置する。

■ヘリポート灯台

境界灯同様に必須灯火であり、設置数は1台で、設置位置はヘリコプターの進入時に眩しさを与えない制限表面以下の離着陸地帯周辺とする。

灯器は白色、または緑色の回転型となっている（**写真－3**）が、閃光型の軽易なものも認められている。

■航空障害灯

これは高層ビル等に設置されている航空法上のものではなく、離着陸地帯から10m以内で、勾配2分の1の表面から突出した避雷針などの夜間視認が困難な障害物を明示するものである。

灯器は、OM-3A型（低光度航空障害灯）を使用する。ただし、可能であれば、離着陸場を左右にずらすなどして、極力、障害灯を設置しないようにするのが理想である。

このほかに、必要灯火ではないが、スペース・電源などに余裕があれば、風向灯も設置をお勧めする。

現在これらの灯器は、すべて運輸省で規定されている公共用ヘリポート用のものを流用しているため、埋込型の境界灯などは灯器の埋込み深さがあり、ビルの屋上の防水工事を傷つけるとの指摘も多々出てきており、今後の需要増の期待から、施工性のよい小型・薄型灯器の早期開発が望まれる。

その他の設備

非常用電源として、4時間以上これらの灯火に供給可能な自家発電設備か簡易発電機を設置する必要がある。また、電源から灯火までの配線は、耐火電線としなければならない。

電源装置に関しては、特に規定はないが、夜間照明の点灯方式は、防災センターから遠隔操作で点灯できることが条件となっている。また、併せて屋上と防災センター間の通信設備（インターホン）の設置も指導されている。

（こはま たかし　東芝ライテック株式会社特機システム部）

日本建築協会

月間の動き

平成4年4月分

理　事　会

第1回定例理事会

22日　4時～5時10分　於本会会議室

出席者　佐野、市川、金多正副会長ほか23名

議事　(1)定時評議員会議決事項報告の件
(2)役員の会務分掌・常任理事18名選任の件
(3)会員増強の件
(4)定時評議員会、通常総会、定例理事会、常任理事会開催日時決定の件
(5)前年度の引き継ぎ事項承認の件
(6)平成4年度委員会委員委嘱の件
(7)第3回日本建築協会賞実施日程予定の件
(8)協賛名義使用の件
(9)入退会者承認の件
(10)報告事項その他

編　集　委　員　会

第1回作品作風小委員会

2日　6時30分～8時45分　於本会会議室

出席者　荒川委員ほか7名

議事　(1)小委員会担当副委員長、同代行の選出
(2)本年度の小委員会活動について
(3)作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
(4)作品の選定
(5)「Gallery」掲載予定及び今後の担当委員
(6)誌面（「スケッチブック欄」4月号）の作品構成

第1回構造分科会

3日　6時～8時　於本会会議室

出席者　角委員ほか6名

議事　(1)「構造の頁」の経過
(2)新年度分科会委員の交替と増員
(3)構造分科会幹事の件
(4)教育特集の件
(5)7月号「木構造」特集の企画

第1回編集委員会・総会

9日　4時～6時　於本会会議室

出席者　溝神委員長ほか21名

議事　(1)編集委員長の選出と挨拶
(2)各小委員会副委員長及び各分科会幹事の選出と挨拶
(3)編集委員会の構成と「建築と社会」の編集について
(4)その他

総会終了後、懇親会。

第1回法令分科会

9日　2時～4時　於本会会議室

出席者　岩田委員ほか3名

議事　(1)平成4年度法令分科会の構成と幹事の内定
(2)特集の企画
(3)「法令コーナー」の企画

第1回会員企画小委員会

14日　6時30分～9時15分　於本会会議室

出席者　高橋副委員長ほか7名

議事　(1)小委員会担当副委員長、同代行の選出
(2)本年度の小委員会活動について
(3)「シリーズもの」の報告と掲載予定
(4)新しい企画案について
(5)その他

第1回設備分科会

16日　6時～9時　於本会会議室

出席者　伊達委員ほか7名

議事　(1)編集委員会総会の報告
(2)「設備の頁」の企画
(3)設備特集の方向
(4)そのほか

会員企画小委員会「Wシリーズ」座談会

21日　2時～3時30分　於本会会議室

出席者　川上公子氏（大阪府建築部）
山内純子氏（兵庫県都市住宅部）
山添みどり氏（京都府土木建築部）
高田副委員長（司会）、山嵜委員（記録）

第2回構造分科会

27日　5時～7時30分　於本会会議室

出席者　野村幹事ほか8名

議事　(1)新年度の構造分科会
(2)今後の構造特集の企画
(3)7月号「木構造を使ってみませんか―大断面の集成材」（仮称）特集の企画

委員会終了後、懇親会。

事　業　委　員　会

第1回広報小委員会

1日　6時30分～8時

出席者　原見副委員長ほか7名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)第1分科会からの報告と検討
(3)第2分科会からの報告と検討
(4)新年度の副委員長、幹事選任

第1回若い会員の集い小委員会（新旧委員合同）

3日　6時30分～9時30分　於新楽井（鶴橋）

出席者　杉本副委員長ほか16名

議事　(1)事業委員会の報告
(2)新旧委員全員の自己紹介
(3)新年度の副委員長・幹事について
(4)今後の企画について

第1回見学会小委員会（新旧委員合同）

8日　6時～7時30分　於本会会議室

出席者　南副委員長ほか6名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)自己紹介
(3)新年度の副委員長、幹事互選
(4)今後の予定説明
(5)今後の候補について

第1回事業委員会

15日　4時～5時30分　於本会会議室

出席者　多井委員長ほか5名

議事　(1)各小委員会からの報告と検討

第3回音楽と建築分科会

15日　6時30分～8時50分　於本会会議室

出席者　杉本主査ほか4名

議事　「音楽と建築―森のホール・バロック演奏会」について

第2回広報小委員会

24日　6時～7時30分　於きんでん奈良保養所

出席者　多井委員長ほか11名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)第2分科会からの報告と検討
(3)参加費について

第6回東欧建築研修旅行分科会

30日　6時30分～11時　於本会会議室

出席者　岡田特別幹事、米井主査ほか4名

議事　(1)問い合わせ・申込者の状況報告
(2)5月15日申込締切後の発送書類について
(3)見学資料集の作成について
(4)今後のスケジュールについて

出　版　委　員　会

第1回委員会

16日　5時～6時30分　於本会会議室

出席者　山田副委員長ほか9名

議事　(1)平成4年度委員長、副委員長の選出
(2)＜プロのノウハウ＞と特装本の経過報告
(3)「プロのノウハウ」講座シリーズ

教　育　委　員　会

第1回委員会

21日　6時～7時30分　於本会会議室

出席者　片倉委員長ほか16名

議事　(1)平成4年度正・副委員長及び幹事の選出
(2)本年度の事業企画について

建　築　ク　ラ　ブ

第240回朝食会

14日　8時～9時30分　於大阪グランドホテル

演題　「日本文化史からみた人権」

講師　岩国久弥氏（日本文化史研究所長）

参加者　57名

4月の入会者（敬称略）

〔団体会員2社〕

三栄電気工業㈱　　渡部電設㈱

〔個人会員17名〕

浅井　惇介（レッド工房 ASAI）
上田　淳一（野村建設工業）
今村　健一（中央電気工業）
笑迫　順三（フジタ）
蔭山　利夫（乃村工藝社）
片渕　喜郎（多田建設）
川島　浩（彦坂建設）
白水　秀俊（フジタ）
杉山　隆彦（創元設計）
高橋　重雄（サントリー）
遠山　健（東西建築サービス）
中原　秀雄（花豊造園）
林　松吉（林工務）
福西美穂子（共同建築事務所）
真辻　普三（中央電気工業）
森本　幸治（近畿日本鉄道）
森　正志（松村組京都支店）

〔准会員1名〕

澤田　健司（大阪工業大学）

◀会員の訃報

〔正会員〕

佐藤　善弘（58歳）　平成3年8月死亡

「病院建築のルネッサンス展―聖路加国際病院のこころみ―」

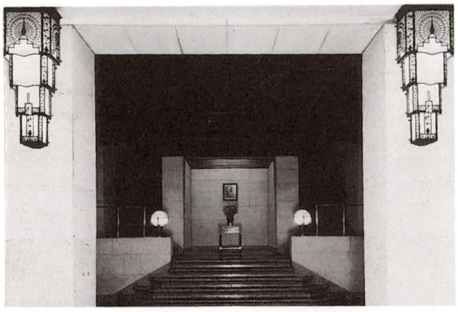
昭和８年、東京・築地明石町に完成した聖路加国際病院は、信仰と一体化したホスピタリティの実践が続けられてきた。外観にミッション風デザインを取り入れ、内部のインテリアにもアールデコ調を用いた建物は、Ｊ.W.バーガミニの設計によるもので、当初、設計はアントニン・レーモンドに依頼されたものの、創立者のルドルフ・トイスラー宣教医師の考え方と対立して、バーガミニに引き継がれたという話が残されている。

今年５月には新病院が開業し、完全個室制の導入、オープンなナースステーション、産婦人科のＬＤＲシステムの採用などのこころみが見られる。

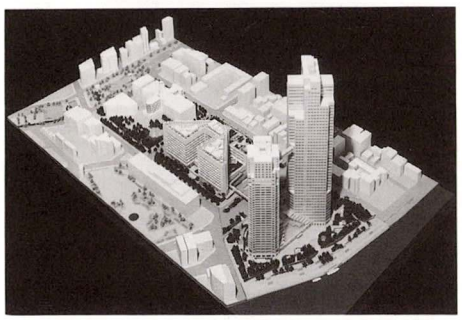
今回の展示では、聖路加国際病院のシンボルマーク（医術の祖・聖人ルカの象徴）や家具を展示するとともに、ステンドグラスに彩られたチャペルや、ホールに残る装飾などを写真パネルと解説で紹介する。また、新旧病院の対比を、図面、写真、ＣＧによるプリントで示そうとするものである。入場無料。

７月15日㈬午後６時から、長沢泰氏（東京大学助教授）による「病院建築の未来」と題する講演会も、INAX 大阪支店８階会議室で予定されている。入場無料。先着100名。

会　期　1992年 **7** 月 **10** 日㈮～ **8** 月 **27** 日㈭
10：00～18：00　休館日８月９日～16日
場　所　INAX 大阪ショールーム２階
（大阪市西区新町　TEL06-532-1956）



旧病院１階ホールへの入口



新しくなる聖路加国際病院の全容

平成4年度「大阪市ハウジングデザイン賞」推薦募集

昭和62年４月１日～平成４年５月31日に大阪市内に完成した民間の集合住宅で、設計・構造・設備・管理などの面から総合的に優れた建物の推薦を、大阪市都市整備局指導助成課（〒530大阪市北区中之島1-3-20　TEL208-9225）ではハガキで受け付けている。所要事項を記入して６月30日まで。

「環境の色彩」―京都の都市景観の在り方を探るパネル展とトーク―

■「公共の色彩賞―環境色彩10選」パネル展

会　期　1992年 **6** 月 **30** 日㈫～ **7** 月 **11** 日㈯
日曜休館日　10：00～17：00
会　場　佛教大学四条センター　〈入場無料〉
（京都・四条烏丸角・三井ビル４階）
主　催　公共の色彩を考える会
後　援　建設省、文化庁、朝日新聞社、ＮＨＫ他

■「京都・色彩トーク」―みんなで話そう京都の街の色―

日　時　1992年 **7** 月 **4** 日㈯　14：00～17：00
テーマ　「京都の街の色」
会　場　佛教大学四条センター　〈参加無料〉
トーク　島　久洋（桃山学院大学・社会心理学）
小泉雅子（京都芸術短期大学・サインデザイン）
藤本英子（京都市立芸術大学・公共空間デザイン）
小林正和（小林テキスタイルスタジオ・ファイバーアート）
吉村篤一（建築環境研究所・建築設計）
主　催　街の色研究会・京都、佛教大学四条センター

上記パネル展の催しと、そのイベントとして行われる色彩トークの詳細は、街の色研究会・京都（TEL075-561-6241）へ問い合わせられたい。

AQUA-HUMANIA'92

会　期　1992年 **7** 月 **8** 日㈬～ **7** 月 **11** 日㈯
10：00～18：00（最終日16：00）
会　場　大阪城ホール（大阪市中央区城見）

日本建築協会会告

松田至弘専務理事辞任

本会専務理事兼事務局長・松田至弘氏は、平成４年６月４日付で専務理事を辞任されました。

顧みますれば同氏は、昭和62年４月１日協会専務理事に就任されて以来、５年２ヵ月の間、協会の事務事業の円滑な推進に努められ、諸種の改革、改善を図られました。

氏は６月５日付をもって大阪府吹田市の監査委員（常勤）に就任され、今後は地方行政の推進に専念されることとなりました。氏の協会に対するご尽力に対し、誌上をもって感謝の意を表しますとともに、今後のご活躍を祈念します。

社団法人　日本建築協会

◀第12回大阪まちなみ賞（大阪都市景観建築賞）推薦募集
―日本建築協会協賛―と併設行事「大阪港めぐりと海遊館」

個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺環境の向上に資し、景観上優れた建物やまちなみを表彰する「大阪まちなみ賞」は、大阪府域内の建物（昭和62年８月～平成３年７月末に完成）、あるいは建物を中心としたまちなみ（平成３年７月末までに完成）の推薦を募集しています。応募要領は下記のとおりです。

受付期間　1992年 **7** 月 **1** 日㈬～ **7** 月 **31** 日㈮
推薦方法　推薦用ハガキ（官製ハガキも可）に、推薦物件名称、所在地、完成時期、推薦理由、推薦者名、連絡先住所・電話番号を記入して、大阪都市景観建築賞運営委員会（〒540大阪市中央区常盤町1-2-17　大阪府建築士会内、TEL06-947-1961）へ。
応募資格　問わず。一人何点でも推薦可。
審査委員　15名
発　表　平成４年10月下旬
表彰式　1992年 **10** 月 **29** 日㈭　建設交流館
記念講演　新宮　晋（彫刻家）氏

入賞該当物件を推薦した方には、特製テレホンカードが進呈される。（多数の場合は抽選）

「第12回大阪まちなみ賞」の併設行事として、大阪のまちなみや都市景観への理解を深める目的の〝大阪港めぐりと海遊館の見学〟が下記要領で開催されます。

と　き　1992年 **8** 月 **20** 日㈭
内　容　『水都』（大阪市広報船）に乗って大阪港めぐりをしたあと、『海遊館』を見学。
募集人数　ペア150組300人を招待
（応募者多数の場合は抽選）
応募資格　小学生以上で、大阪府下に居住または通勤・通学している人に限る。
応募方法　官製往復ハガキ１枚に、１組２名分の住所・氏名・年齢・勤務先（学校名）・電話電号を記入して送付すること。ただし小学生は必ず保護者とペアで応募すること。
締　切　平成４年７月24日㈮　当日消印有効
発　表　当選発表は参加証発送をもってかえる。
送付先　〒540 大阪市中央区常盤町1-2-17
大阪府建築士会内・大阪まちなみ賞見学会係　TEL06-947-1961

室谷

内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市中央区三宮町3−7−6(神戸フクトクビル5階)
電話　神戸(331) 0881〜3
支店　大阪市北区西天満2丁目6番8号(堂ビル5階)
電話　大阪(364) 2031〜4
倉庫　神戸市東灘区御影石町4丁目（電話811-3610)

OM

テトカッパー防水層

カッパー防水帯——コーパータイト／オクロン防水帯

資料をご請求下さい。

奥山化工業株式会社

本　社 東京都中央区銀座8-4-9 奥山ビル　TEL03(3571)2703㈹ FAX03(3571)0264
大阪事務所 TEL06(391)1081〜2 FAX 06(395)2109　名古屋出張所 TEL052(811)3660
横浜営業所 TEL045(320)4832　FAX045(320)4765　厚木出張所 TEL0462(21)1761 FAX0462(23)1341
埼玉営業所 TEL048(774)2845　茨城出張所 TEL0292(28)0878 FAX0292(28)2614

新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1−3−8（日本生命谷町ビル）
TEL(06)943−6571(代)
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市

学校建築のトータルアドバイザー

二葉工業株式会社

黒　板・掲示板・家　具
電動黒板装置・サイン・スクリーン

〒547 大阪市平野区加美北3−4−5
TEL 06(792) 5858　FAX 06(792) 2810

＊奉仕感謝の店

タイル及び規格石一式施工

株式会社 川岸窯業商店

本　社　大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06−532−0461(代表)
FAX.06−535−5181
天理営業所　天理市丹波市新町49

ND
JAPAN ELECTRIC TYPESETTING CO.,LTD.

■情報処理　■編集・企画　■印刷・製本

日本電植株式会社

〒530 大阪市北区天満1-7-23
TEL.06(357)1803㈹　FAX.06(357)4950



奥郷屋敷(四国高松市)
㈱竹中工務店施工

〒556 大阪市浪速区塩草二丁目二番三号
ファックス　五六一〜七四五四
五六一〜七四一六

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話(3434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話(302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社

大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－3344－1851(大代)　大阪本社☎06－448－3603(代)
大阪支社　☎06－448－5851(代)　名古屋支店　☎052－211－1535(代)　中国支店　☎082－247－5541
九州支店　☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒650 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03-3211-8511(代表)

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2－2－21　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(3502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話(352)1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2—22　電話(3667)3431(大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給・排水・衛生・消火・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市北区中津6丁目8番4号　**電話大阪(458)3628番**
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03－3344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満4丁目6番18号　電話 06－363－1371
支　店　仙台・横浜・名古屋・神戸・広島・福岡
営業所　札幌・京都・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101～5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話 (06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)

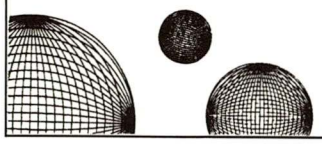
空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1　2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031　代表
メンテナンス部　電話　大阪(06) 768－1651　代表
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7階)
郵便番号112　電話(03) 5689－2351代表

大規模空間（天井金属パネル）に
地球を入れることはできませんが
地球規模の夢を入れることはできます

内外装創作パネル・システム天井



OKUJU

スペース　クリエイター

本　社
大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530
TEL(06)312-4131　FAX(06)312-7998
東京・九州・横浜・名古屋・仙台・宮崎

株式会社 オクジュー

さわやかに心豊かな生活空間つくり。



— 電気・計装・空調・土木 —

K栗原工業株式会社

本社／〒530 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル)
TEL.06(313)1101 FAX.06(315)0050
東京・東関東・横浜・名古屋・大阪南・神戸・広島・四国・九州・シンガポール

Carrier 冷暖房はCARRIER キャリア

東洋キャリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所 吹田市豊津町40番38号
電話 大阪 (384) 1201～7

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 土井敏裕

本社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル5階)
電話 06(361)3671(代)
支店 東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電話 03(3666)1478(代)
営業所 堺・泉州・泉南・滋賀

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目 設計・施工・監理

●電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装

●空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム

●プラント
プラント計装
システムエンジニアリング

●情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム

●電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

まちに豊かにあふれるクリエイティブカンパニーをめざす。

住友電設株式会社 大阪本社 〒550 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06) 537-3400
東京本社 〒105 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

電気設備・計装制御設備・空調設備・クリーンルーム設備・プラント設備
給排水衛生設備・エネルギー集中監視システム…設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納秀一

本社 〒530 大阪市北区西天満2-6-8(堂ビル) TEL 06(364)1471・FAX 06(364)5533
東京支社 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL03(3504)0231・FAX 03(504)0268
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城3-12-14 TEL052(991)5131・FAX052(914)7535
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL078(881)5571・FAX078(871)6261
堺研究所 〒590 大阪府堺市三宝町七丁369 TEL0722(27)8408・FAX0722(27)1424

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本貴士

本社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06(385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(3574)0665 福岡出張所 TEL 福岡092(771)6168

特殊壁装材製造販売 和室に最適

●聚楽壁紙 ●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610

工場 〒580 大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一 〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二 〒597 大阪府貝塚市王子501

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

関西支社

支社長 馬田栄

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号 電話 大阪(202)0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支社 北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・中部・九州

営業種目

●防水工事 塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法 各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事 各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事 シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事 アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可 大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員

大阪市北区末広町3－21
星和地所扇町ビル201S
TEL06(315)0701

(株)特殊技研

Construction chemistry for the future.

コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材

Master Builders Technologies

株式会社 エヌエムビー
株式会社 ポゾリス物産

本社：東京都港区六本木3－16－26
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル)
TEL06-202-3294

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号 TEL(06)351－5428(代)
FAX(06)351－5299

省エネルギー時代の断熱用シート防水材

日立バイナリーシートP

日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。

日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー!

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
・鋼板製オリエンタルフネンシングル
・オリエンタルオリセラム
・オリエンタルエターノコアー(ETC-F)



大和郡山市九条スポーツセンター屋根　エターノコアーF

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置(モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制))
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログをご請求下さい。

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660 尼崎市昭和南通り３―26　電話大阪(06)412―5131㈹
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・姫路
東京本社及工場　〒335 蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42―3115㈹
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充塡モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート軀体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・綱野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）3272－8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381
TEL 大阪（06）877－1581

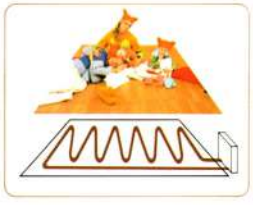
Day by Day——きっといい明日
大阪ガス

建築と社会
第73輯第6号



日なたぼっこに よーく似てます。

(気持ちよさが似てるぞ。)あったかさのヒミツは、お日さまと同じ遠赤外線。からだの芯までヌクヌクになり、しかも空気も汚れず乾燥しない、健康的な暖房だ。
(安あがりが似てるぞ。)日なたぼっこも経済的だが、ガス温水床暖房も燃費が安あがり。室温をあまりあげなくても十分あったかい、輻射熱ならではの特長だ。



Traditional & New
NOOK
Floor Heating for Amenity Life

ガス温水床暖房 ヌック

●お問い合わせは…大阪市中央区平野町4-1-2 大阪ガス㈱ 都市リビング営業部 営業技術チーム TEL.06(205)-4662まで。

社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2100 電話大阪06(348)0635 FAX06(348)0634

振替口座大阪一三九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九八〇円(本体九五一円 消費税二九円 送料共)

雑誌 03379-6